

解説 (午前問題)

午前問題				午後問題			
No.	解答	出題基準	科目	No.	解答	出題基準	科目
1	c	2	解剖学	56	b	6	小児歯科学
2	b	1	解剖学	57	a c	6	小児歯科学
3	a	2	解剖学	58	a b	6	小児歯科学
4	c	2	解剖学	59	b	6	高齢者・障害者
5	b	1	生化学	60	c d	6	高齢者・障害者
6	b	2	生理学	61	c d	6	高齢者・障害者
7	c	1	生理学	62	b d	6	高齢者・障害者
8	c	1	生理学	63	c	7	歯科予防処置
9	d	3	病理学	64	d	7	歯科予防処置
10	d	3	病理学	65	c d	7	歯科予防処置
11	a	3	微生物学	66	b c	7	歯科予防処置
12	a	3	微生物学	67	a d	7	歯科予防処置
13	b	3	微生物学	68	b c	7	歯科予防処置
14	d	3	薬理学	69	c	7	歯科予防処置
15	b	3	薬理学	70	b d	7	歯科予防処置
16	c	4	口腔衛生学	71	b c	7	歯科予防処置
17	d	4	口腔衛生学	72	c	7	歯科予防処置
18	c	4	口腔衛生学	73	c d	7	歯科予防処置
19	a	4	口腔衛生学	74	b d	7	歯科予防処置
20	b	4	口腔衛生学	75	c	7	歯科予防処置
21	d	4	口腔衛生学	76	b	7	歯科予防処置
22	c	4	口腔衛生学	77	b d	7	歯科予防処置
23	a b	4	衛生・公衆衛生学	78	a b	8	歯科保健指導
24	a c	4	衛生・公衆衛生学	79	d	8	歯科保健指導
25	d	4	衛生・公衆衛生学	80	a d	8	歯科保健指導
26	b	4	衛生・公衆衛生学	81	a c	8	歯科保健指導
27	b c	4	衛生・公衆衛生学	82	b	8	歯科保健指導
28	a	4	衛生・公衆衛生学	83	c d	8	歯科保健指導
29	a d	4	衛生・公衆衛生学	84	a d	8	歯科保健指導
30	c	4	衛生・公衆衛生学	85	b c	8	歯科保健指導
31	b d	5	歯科衛生士概論	86	a	8	歯科保健指導
32	d	5	歯科衛生士概論	87	b d	8	歯科保健指導
33	d	5	歯科衛生士概論	88	a c	8	歯科保健指導
34	b d	5	歯科衛生士概論	89	a c	8	歯科保健指導
35	a	6	臨床歯科総論	90	a b	8	歯科保健指導
36	b d	6	臨床歯科総論	91	c	8	歯科保健指導
37	b c	6	臨床歯科総論	92	c	8	歯科保健指導
38	a c	6	保存修復学	93	b d	8	歯科保健指導
39	b	6	保存修復学	94	b d	8	歯科保健指導
40	a	6	保存修復学	95	a d	8	歯科保健指導
41	c	6	歯内療法	96	a c	9	歯科診療補助
42	b c	6	歯内療法	97	b d	9	歯科診療補助
43	b	6	歯内療法	98	a d	9	歯科診療補助
44	a d	6	歯内療法	99	b c	9	歯科診療補助
45	a c	6	歯内療法	100	c d	9	歯科診療補助
46	d	6	歯科補綴学	101	b c	9	歯科診療補助
47	a	6	歯科補綴学	102	c d	9	歯科診療補助
48	c	6	歯科補綴学	103	d	9	歯科診療補助
49	d	6	口腔外科学	104	b	9	歯科診療補助
50	a c	6	口腔外科学	105	a b	9	歯科診療補助
51	b d	6	口腔外科学	106	a c	9	歯科診療補助
52	b d	6	口腔外科学	107	b d	9	歯科診療補助
53	d	6	矯正歯科学	108	a	9	歯科診療補助
54	c	6	矯正歯科学	109	a b	9	歯科診療補助
55	b	6	矯正歯科学	110	b	9	歯科診療補助

※出題基準

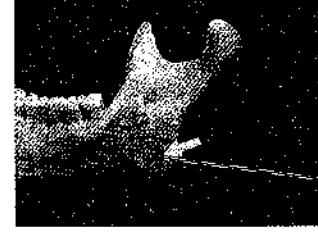
1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能	5 歯科衛生士概論	8 歯科保健指導論
2 歯・口腔の構造と機能	6 臨床歯科医学	9 歯科診療補助論
3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進	7 歯科予防処置論	
4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み		

(問題 1) 下顎骨の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。矢印が示す部位に付着している筋はどれか。1つ選べ。
 a 咬筋
 b 側頭筋
 c 内側翼突筋
 d 外側翼突筋

別冊 午前 No.1 写真

選択肢考察

答え c



翼突筋粗面

- × a 咬筋の起始は頬骨弓、停止は下顎枝外面(咬筋粗面)である。
- × b 側頭筋の起始は側頭窩、停止は筋突起である。
- c 矢印が示すのは下顎枝内面の翼突筋粗面で、内側翼突筋の停止である。起始は蝶形骨翼状突起の翼突窩である。
- × d 外側翼突筋の起始は蝶形骨大翼および蝶形骨翼状突起外側板、停止は関節円板および関節突起(翼突筋窩)である。

ポイント

<咀嚼筋の起始と停止、作用>

咀嚼筋	起始	停止	作用
咬筋	頬骨弓	下顎枝外面(咬筋粗面)	閉口運動
側頭筋	側頭窩	筋突起	閉口運動、 下顎の後方運動、 側方運動
内側翼突筋	蝶形骨翼状突起の翼突窩	下顎枝内面(翼突筋粗面)	閉口運動
外側翼突筋	上頭:蝶形骨大翼 下頭:蝶形骨翼状突起外側板	関節円板 関節突起(翼突筋窩)	閉口運動、 下顎の前方運動、 側方運動

(問題 2) 痛覚の受容器はどれか。1つ選べ。
 a 有毛細胞
 b 自由神経終末
 c ルフィニ小体
 d マイスナー小体

選択肢考察

答え b

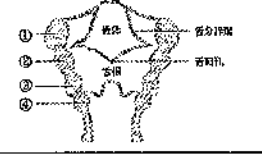
- × a 有毛細胞は聴覚、平衡感覚の受容器である。
- b 自由神経終末は痛覚、触覚、圧覚、温覚、冷覚の受容器である。
- × c ルフィニ小体は触覚、圧覚、温覚の受容器である。
- × d マイスナー小体は触覚の受容器である。

ポイント

<皮膚の感覚受容器>

自由神経終末	痛覚、触覚、圧覚、温覚、冷覚
有毛細胞	聴覚、平衡感覚
ルフィニ小体	触覚、圧覚、温覚
マイスナー小体	触覚
ファーター・パチニ小体	深部圧覚、振動
クラウゼ小体	機械的刺激
ゴルジ・マツツォニ小体	機械的刺激

(問題 3) 胎生5か月の鰓弓の模式図を示す。下顎の発生に関係するのはどれか。1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④



選択肢考察

答え a

- a ①は第一鰓弓である。第一鰓弓からは上顎突起と下顎突起が形成される。上顎突起からは上顎骨が発生し、下顎突起からは下顎骨が発生する。第一鰓弓由来のものは三叉神経支配である。
- × b ②は第二鰓弓である。第二鰓弓からは舌骨が形成される。第二鰓弓由来のものは顔面神経支配である。
- × c ③は第三鰓弓である。第三鰓弓からは茎突咽頭筋、舌骨大角、舌骨体下部が形成される。第三鰓弓由来のものは舌咽神経支配である。
- × d ④は第四鰓弓である。第四鰓弓からは甲状軟骨、喉頭蓋軟骨、口蓋帆挙筋、咽頭収縮筋などが形成される。第四鰓弓由来のものは迷走神経支配である。

ポイント

<鰓弓>

鰓弓	神経	筋	骨格
第一鰓弓	三叉神経	咀嚼筋、顎舌骨筋、顎二腹筋前腹、口蓋帆挙筋	上顎骨、下顎骨、メッセル軟骨
第二鰓弓	顔面神経	表情筋、顎二腹筋、茎突舌骨筋、アブミ骨筋	茎状突起、舌骨小角、舌骨体上部、ライヘルト軟骨
第三鰓弓	舌咽神経	茎突咽頭筋	舌骨大角、舌骨体下部
第四鰓弓	迷走神経	輪状甲状筋、口蓋帆挙筋、咽頭収縮筋	甲状軟骨、喉頭蓋軟骨

(問題 4) 顎動脈の枝はどれか。1つ選べ。
 a 舌動脈
 b 下唇動脈
 c 下歯槽動脈
 d オトガイ下動脈

選択肢考察

答え c

- × a 舌動脈は外頸動脈の枝である。
- × b 下唇動脈は顔面動脈の枝である。
- c 下歯槽動脈は顎動脈の枝である。
- × d オトガイ下動脈は顔面動脈の枝である。

ポイント

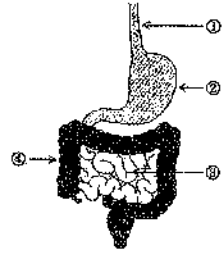
<顎動脈>

深耳動脈、前鼓室動脈、中硬膜動脈、下歯槽動脈、深側頭動脈、咬筋動脈、翼突筋枝、後上歯槽動脈、中上歯槽動脈、前上歯槽動脈、眼窩下動脈、下行口蓋動脈、頬動脈、大口蓋動脈、小口蓋神経、オトガイ動脈、蝶口蓋動脈、翼突管動脈など。

(問題 5) 消化器系の模式図を示す。

ペプシンを含む消化液が分泌されるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え b

- × a ①の食道では消化液がそもそも分泌されない。
- b ②の胃で分泌される胃液のタンパク質分解酵素がペプシンである。
- × c ③の小腸で分泌されるのはジペプチダーゼである。
- × d ④の大腸では消化酵素が分泌されず、吸収だけが行われる。その吸収物は主に水である。

ポイント

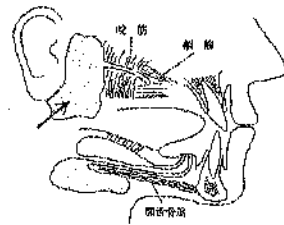
<タンパク質分解酵素>

- ・胃液：ペプシン
- ・膵液：トリプシン

(問題 6) 大唾液腺を模式図に示す。

矢印で示す腺を支配しているのはどれか。1つ選べ。

- a 顔面神経
- b 舌咽神経
- c 舌下神経
- d 迷走神経



選択肢考察

答え b

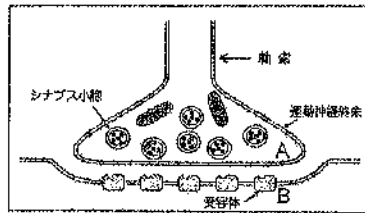
- × a 顔面神経は顎下腺、舌下腺の唾液分泌神経である。
- b 舌咽神経は耳下腺の唾液分泌神経である。矢印は耳下腺である。
- × c 舌下神経は舌筋、オトガイ舌骨筋の運動神経である。
- × d 迷走神経は喉頭・咽頭上部の筋の運動神経、喉頭蓋の味覚神経である。

ポイント

<3大唾液腺>

唾液腺	唾液の性状	開口部位	発生由来
耳下腺	純漿液腺	耳下腺乳頭	外胚葉
顎下腺	混合腺(漿液性>粘液性)	舌下小丘	内胚葉
舌下腺	混合腺(漿液性<粘液性)	舌下小丘 舌下ヒダ	内胚葉

(問題 7) シナプスの図を別に示す。



A-B間を伝えるのはどれか。1つ選べ。

- a セロトニン
- b アドレナリン
- c アセチルコリン
- d ノルアドレナリン

選択肢考察

答え c

- × a, × b セロトニン、ドーパミン、ノルアドレナリン、アドレナリン、アセチルコリン、γアミノ酪酸(GABA)、グルタミン酸などはいずれも中枢神経系の神経伝達物質である。
- c, × d アセチルコリンは中枢神経系の神経伝達物質であるが、末梢神経系の神経伝達物質でもある。末梢神経系の神経伝達物質には、交感神経のノルアドレナリン、副交感神経、交感および副交感神経節、運動神経のアセチルコリンがある。図は運動神経なので放出されるのはアセチルコリンである。

ポイント

<神経伝達物質>

末梢神経系	運動神経	アセチルコリン
	自律神経	交感神経: アセチルコリン、ノルアドレナリン
	副交感神経	アセチルコリン
中枢神経系		アセチルコリン、ノルアドレナリン、アドレナリン、セロトニン、ドーパミン、γアミノ酪酸(GABA)、グルタミン酸

(問題 8) 体温調節で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 体温調節中枢は脊髄にある。
- b 発汗は副交感神経の興奮で起こる。
- c 環境温が低くなると骨格筋のふるえが起こる。
- d 激しい運動時の体熱放散では呼吸の割合が多い。

選択肢考察

答え c

- × a 体温調節中枢は視床下部に存在する。
- × b 発汗は交感神経の興奮で起こる。
- c 環境温が低くなると骨格筋は衝動的に収縮してふるえが起こる。
- × d 激しい運動時の体熱放散で高い割合を占めるのは水分の蒸発(=発汗)である。

ポイント

<体熱放散>

- ・体熱は皮膚から放射、伝導、水分の蒸発によって放散される。
- ・高温環境や激しい運動時には、水分の蒸発(=発汗)によって放散される。

(問題 9) 歯髄疾患がみられる下顎左側第一大臼歯の口腔内写真(別冊午前 No.2)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄壊疽
- b 急性漿液性歯髄炎
- c 慢性潰瘍性歯髄炎
- d 慢性増殖性歯髄炎

別冊 午前 No.2 写真

選択肢考察

答え d



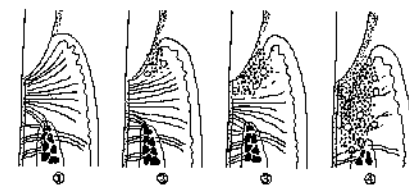
- × a 歯髄壊疽とは、壊死に陥った歯髄に嫌気性腐敗菌の感染が起き、腐敗発酵した状態である。自発痛、誘発痛はなく、電気診にも反応しない。う窩開拓時に強い悪臭(腐敗臭)がする。
- × b 急性漿液性歯髄炎(急性単純性歯髄炎)では鈍い自発痛があり、多くは限局性、間歇性である。冷刺激、甘味、酸味などの刺激あるいはう窩への食片圧入によって数分間持続する誘発痛が起こる。
- × c 慢性潰瘍性歯髄炎では、う窩内は暗赤色の肉芽組織で満たされおらず、大きなう窩(潰瘍の状態)となっている。
- d 慢性増殖性歯髄炎では、自発痛はなく、温度診に反応は乏しい。う窩内は暗赤色の肉芽組織で満たされている。この肉芽組織を歯髄ポリープ(歯髄息肉)ともよぶ。写真から歯髄がポリープ状に増殖しているのがわかる。

ポイント

<慢性増殖性歯髄炎>

- ・自発痛はなく、温度診に反応は乏しい。
- ・歯髄ポリープ(歯髄息肉)がみられる→う窩内は暗赤色の肉芽組織で満たされている。

(問題 10) 歯周組織の模式図を示す。



辺縁性歯周炎を示しているのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

選択肢考察

答え d

- × a ①は健康な歯肉の状態を表している。
- × b, × c ②、③はともに歯槽骨の破壊はなく、仮性ポケットのみが形成されている。つまり、歯肉炎の状態を表している。
- d ④は歯槽骨が破壊されており、真性ポケットが形成されている。つまり、辺縁性歯周炎を表している。

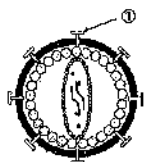
ポイント

- ・歯肉炎：歯槽骨吸収がみられない。
- ・辺縁性歯周炎：歯槽骨吸収がみられる。

(問題 11) ヒト免疫不全ウイルスを模式図に示す。

①で示すのはどれか。1つ選べ。

- a gp120
- b HBs 抗原
- c カプシド
- d ノイラミニダーゼ(NA)



選択肢考察

答え a

- a gp41 と gp120 はヒト免疫不全ウイルス(HIV)のエンベロープ表面に存在する糖タンパク質である。
- × b HBs 抗原とはB型肝炎ウイルス(HBV)のエンベロープ表面に存在する糖タンパク質である。
- × c カプシドとはウイルス核酸を覆っているタンパク質の殻である。
- × d ノイラミニダーゼ(NA)とはA型インフルエンザウイルス表面のスパイク状糖タンパク質である。

ポイント

<ヒト免疫不全ウイルス(HIV)>

エンベロープ	gp41, gp120
カプシド	p24
マトリックス	p24
インテグラーゼ	p32

(問題 12) 生ワクチンが有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 麻疹
- b B型肝炎
- c 日本脳炎
- d インフルエンザ

選択肢考察

答え a

- a 生ワクチンでは、弱毒化した(感染力や毒性を減少させた)微生物で免疫を導入させる。
- × b, × c, × d 微生物の死骸で免疫を導入させる不活化ワクチンである。

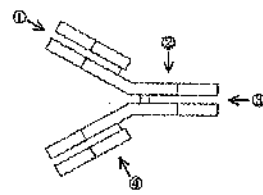
ポイント

<ワクチンの種類>

生ワクチン	弱毒化した(感染力や毒性を減少させた)微生物で免疫を導入させる。	麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、結核
不活化ワクチン	微生物の死骸で免疫を導入させる。	B型肝炎、日本脳炎、ポリオ、インフルエンザ、狂犬病
トキシイド	トキシイド(細菌の出す毒素にホルマリンを結合させたもの)で免疫を導入させる。	ジフテリア、百日咳、破傷風

(問題 13) 抗体 (IgG) の基本構造の模式図を示す。補体と結合する部位はどれか。1 つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



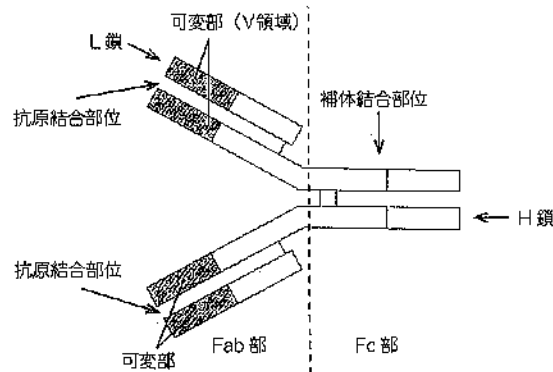
選択肢考察

答え b

- × a ①は Fab 部の抗原結合部位である。
- b ②は Fc 部の補体結合部位である。
- × c ③は Fc 部の H 鎖である。
- × d ④は Fab 部の L 鎖である。

ポイント

<抗体の構造>



(問題 14) 炎症のケミカルメディエーターはどれか。1 つ選べ。

- a プロカイン
- b プロピトカイン
- c プロゲステロン
- d プロスタグランジン

選択肢考察

答え d

- × a プロカインはエステル型の局所麻酔薬である。
- × b プロピトカインはアミド型の局所麻酔薬である。
- × c プロゲステロンは黄体ホルモンである。
- d プロスタグランジンは、血管を拡張させたり、体温調節中枢に作用して、体温を上昇させたり、骨吸収作用などをもつ炎症のケミカルメディエーターである。

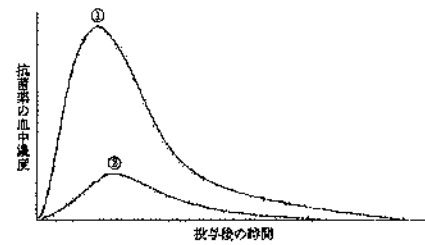
ポイント

<炎症のケミカルメディエーター>

炎症性刺激に応じて産生される生理活性物質。

ヒスタミン	血管透過性亢進、血管拡張、気管支平滑筋収縮
ブラジキニン	内因性発痛物質、血管透過性亢進、血管拡張
プロスタグランジン	ブラジキニンの発痛作用の増強、血管拡張、体温上昇、胃粘膜保護、骨吸収
ロイコトリエン	好中球の遊走活性、気管支平滑筋収縮

(問題 15) 抗菌薬を経口投与した場合の血中薬物濃度-時間曲線を図に示す。曲線①の抗菌薬単独投与に対し、抗菌薬と Mg²⁺ 含有制酸薬を併用すると曲線②のように変化した。



この抗菌薬はどれか。1 つ選べ。

- a アンピシリン (ペニシリン系)
- b ミノサイクリン (テトラサイクリン系)
- c クラリスロマイシン (マクロライド系)
- d ストレプトマイシン (アミノグリコシド系)

選択肢考察

答え b

- × a アンピシリン (ペニシリン系) は Mg²⁺ 含有制酸薬併用による影響はない。
- b ミノサイクリン (テトラサイクリン系) は Mg²⁺ 含有制酸薬を併用すると抗菌薬の血中薬物濃度が低下する。
- × c クラリスロマイシン (マクロライド系) は Mg²⁺ 含有制酸薬併用による影響はない。
- × d ストレプトマイシン (アミノグリコシド系) は Mg²⁺ 含有制酸薬併用による影響はない。

ポイント

テトラサイクリン系抗菌薬、ニューキノロン系抗菌薬は金属イオンと結合しやすいため、Al、Mg、Fe、Ca 含有製剤や牛乳と同時に服用すると、抗菌薬の血中薬物濃度が低下する。

(問題 16) 健康日本 21 (第二次) の目標項目はどれか。1 つ選べ。

- a 1 歳 6 か月児でう蝕がない者の割合
- b 学齢期における 1 日 3 回歯を磨く者の割合
- c 60 歳代における咀嚼良好者の割合
- d 80 歳で喪失歯のない者の割合

選択肢考察

答え c

- × a、× b、○ c、× d 60 歳代における咀嚼良好者の割合は健康日本 21 (第二次) の目標項目である。

ポイント

<健康日本 21 (第二次) の目標項目>

- ・口腔機能の維持・向上 (60 歳代における咀嚼良好者の割合の増加)
- ・歯の喪失防止
- ・歯周病を有する者の割合の減少
- ・乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加
- ・過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合の増加

(問題 17) 1 歳 6 か月児歯科健康診査における診査項目で「異常なし・あり」と記載するのはどれか。1 つ選べ。

- a 歯の状態
- b 歯の汚れ
- c かみ合わせ
- d 歯肉・粘膜

選択肢考察

答え d

- × a 歯の状態の欄に記号 (生歯: /または連続線 (一部でも萌出してれば生歯とする)、う蝕: C) で状態を記入する。
- × b 歯の汚れは上顎 4 前歯唇面を診査し、ないときは「きれい」に、歯面の 1/3 以下のときは「少ない」に、それ以上のときは「多い」に○を付ける。最も多い部分の状態を記入する。
- × c かみ合わせではその状態を診査し、異常がなければ「よい」に○を付ける。顕著な歯列不正や不正咬合で、将来咬合異常が懸念されるときは「経過観察」に○を付ける。
- d 歯肉や粘膜では、軟組織の疾病や異常を診査し、歯肉、舌、口腔粘膜、舌小帯、上唇小帯などに異常がなければ「異常なし」に○を付ける。疾病や異常が認められたときにはその内容をカッコ内に記入する。

ポイント

<1 歳 6 か月児歯科健康診査>

幼児の心身発育の状態を考慮して、恐怖を起こさせないように、保護者がイスに腰掛けて、幼児の頭部を支えて健診者と対面する。仰向けにした幼児の頭部を健診者の膝の上で保持し、保護者が幼児の脚と身体を支える。

(問題 18) 学校歯科健康診断で正しいのはどれか。1 つ選べ。

- a 保健教育の活動である。
- b 毎年 7 月 20 日までに実施する。
- c 健康診断票の保存期間は 5 年間である。
- d 保健調査は定期健康診断後に実施する。

選択肢考察

答え c

- × a 学校歯科健康診断は保健管理領域の活動である。
- × b 学校歯科健康診断は毎年 6 月 30 日までに実施する。
- c 健康診断票の保存期間は 5 年間である。
- × d 保健調査は定期健康診断前に実施する。

ポイント

<学校歯科健康診断>

- ・健康診断を的確かつ円滑に実施するために、保健調査を活用する。
- ・あらかじめ子どもの健康情報を得ておき、健康状態を総合的に評価すること。

(問題 19) 正常分娩で出生した生後 3 日の男児の保護者から、公費医療について質問があった。初診時の顔貌写真 (別冊午前 No.3) を別に示す。

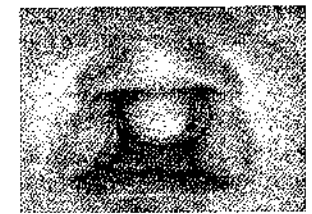
説明すべきなのはどれか。1 つ選べ。

- a 育成医療
- b 更生医療
- c 養育医療
- d 療育医療

別冊 午前 No.3 写真

選択肢考察

答え a



唇裂

- a 唇顎口蓋裂は「障害者総合支援法」に基づく自立支援医療の対象であり、育成医療は身体に障害を有する児童 (「児童福祉法」に規定する障害児) で、その障害を除去・軽減する手術などの治療により確実に効果が期待できる者 (18 歳未満) が対象である。
- × b 更生医療は「障害者総合支援法」に基づく自立支援医療の対象であり、「身体障害者福祉法」に基づき身体障害者手帳の交付を受けた者で、その障害を除去・軽減する手術などの治療により確実に効果が期待できる者 (18 歳以上) が対象である。
- × c 養育医療は「母子保健法」に基づき行われる。
- × d 療育医療は「児童福祉法」に基づき行われる。

ポイント

<自立支援医療>

- ・育成医療
- ・更生医療
- ・精神通院医療

(問題 20) う蝕予防において費用対効果の高い順で正しいのはどれか。1 つ選べ。

- | | | |
|---|-------------------------------|---|
| | 高 | 低 |
| a | 水道水フッ化物添加 > フッ化物歯面塗布 > フッ化物洗口 | |
| b | 水道水フッ化物添加 > フッ化物洗口 > フッ化物歯面塗布 | |
| c | フッ化物歯面塗布 > 水道水フッ化物添加 > フッ化物洗口 | |
| d | フッ化物歯面塗布 > フッ化物洗口 > 水道水フッ化物添加 | |

選択肢考察

答え b

- × a、○ b、× c、× d 費用対効果が高いのは安価で効果があるもののため、(高) 水道水フッ化物添加 > フッ化物洗口 > フッ化物歯面塗布 (低) の順となる。

ポイント

費用対効果はコストパフォーマンスのため、安価で効果があるものが高くなる。

(問題 21) 下顎右側中切歯を評価するのはどれか。1つ選べ。

- a Gingival Index
- b Oral Hygiene Index-Simplified
- c Patient Hygiene Performance
- d Periodontal Disease Index

選択肢考察 答え d

- × a GIの診査対象部位は12、16、24、32、36、44である。
- × b、× c OHI-SやPHPの診査対象部位は11、16、26、31、36、46である。
- d PDIの診査対象部位は16、21、24、36、41、44である。下顎右側中切歯は41のため、PDIで評価する。

ポイント

< Ramfjord's PDI (Periodontal Disease Index) >
歯周疾患の評価を特定6歯で全口腔を代表させる方法である。

(問題 22) フッ化物洗口法を実施しているA小学校と実施していないB小学校における1年時と6年時の1人平均DMF歯数を表に示す。

	1年時のDMF歯数	6年時のDMF歯数
A小学校	0.3	1.9
B小学校	0.2	3.0

フッ化物洗口法によるう蝕抑制率はどれか。1つ選べ。

- a 16%
- b 28%
- c 43%
- d 57%

選択肢考察 答え c

- × a、× b、○ c、× d
- A小学校のDMF歯数の増加数は1.9 - 0.3 = 1.6
- B小学校のDMF歯数の増加数は3.0 - 0.2 = 2.8
- フッ化物洗口法によるう蝕抑制率
= (1.6 - 2.8) / 2.8 × 100 = -42.8... ≈ 43 (%)

ポイント

<う蝕抑制率>
・う蝕予防処置を施した集団のう蝕増加数をΔT、対象集団のう蝕増加数をΔCとする。
・う蝕抑制率 = (ΔT - ΔC) / ΔC × 100 (%) で表される。

(問題 23) 地域保健法で規定しているのはどれか。2つ選べ。

- a 保健所の整備
- b 人材確保支援計画の制定
- c 地域医療支援病院の承認
- d 地域包括支援センターの設置

選択肢考察 答え a b

- a 保健所の整備は「地域保健法」で規定されている。
- b 人材確保支援計画の制定は「地域保健法」で規定されている。

- × c 地域医療支援病院の承認は「医療法」で規定されている。
- × d 地域包括支援センターの設置は「介護保険法」で規定されている。

ポイント

<地域保健法で規定されているもの>
・地域保健対策の推進の基本的な方向
・保健所および市町村保健センターの整備、運営に関する基本的事項
・医療、介護、福祉などの関連施策との連携強化
・地域保健対策にかかわる人材の確保および資質の向上
・地域保健対策にかかわる人材確保の支援に関する計画の策定に関する基本的事項(人材確保支援計画)
・地域保健に関する調査および研究に関する基本的事項

(問題 24) 災害医療について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 医療計画に示されている。
- b 災害拠点病院は市町村が指定する。
- c 災害拠点病院は24時間対応可能である。
- d 医師以外はトリアージを行うことができない。

選択肢考察 答え a c

- a 災害医療は医療計画に示されている。
- × b 災害拠点病院は都道府県が指定する。
- c 災害拠点病院は24時間対応可能である。
- × d 医師以外も訓練を受ければトリアージを行うことができる。

ポイント

<災害現場での歯科治療>
歯科医療救護所を開設し応急歯科診療を行うとともに、避難所を巡回し歯ブラシなどの支援物資を配布しながら、被災者に口腔ケアや口腔衛生の重要性をよびかける啓発活動を行い、必要な高齢者や幼児、学童には口腔ケアを行う。

(問題 25) 健やか親子21における歯科保健指標はどれか。1つ選べ。

- a 12歳児のDMFT
- b 乳歯のう蝕有病状況
- c 永久歯のう蝕有病状況
- d 歯肉に炎症がある10代の割合

選択肢考察 答え d

- × a、× b、× c 12歳児のDMFTや乳歯のう蝕有病状況、永久歯のう蝕有病状況はWHOのデータバンクに登録されている。
- d 歯肉に炎症がある10代の割合は健やか親子21(学童期、思春期から成人期に向けた保健対策)における歯科保健指標である。

ポイント

<健やか親子21>
*基盤課題
A: 切れ目のない妊産婦、乳幼児への保健対策
B: 学童期、思春期から成人期に向けた保健対策
C: 子どもの健やかな成長を見守り育て地域づくり

*重点課題

- 1. 育てにくさを感じる親に寄り添う支援
- 2. 妊娠期からの児童虐待防止対策

(問題 26) 疾病及び関連保健問題の国際統計分類(ICD)を定めているのはどれか。1つ選べ。

- a ILO
- b WHO
- c ICRC
- d JICA

選択肢考察 答え b

- × a ILO(国際労働機関)は労働者の健康保護の勧告を行っている。
- b WHO(世界保健機関)はICDを定めている。
- × c ICRC(赤十字国際委員会)は人道的保護と支援を行う公平中立・独立の機関である。
- × d JICA(国際協力機構)は開発途上国が抱えるさまざまな課題解決に取り組んでいる。

ポイント

<WHO(世界保健機関)>
国際連合の専門機関(国際連合機関)の1つであり、人間の健康を基本的人権の1つととらえ、その達成を目的として1948年に設立された。

(問題 27) 我が国の人口統計で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 老年化指数が300を超えている。
- b 7人に1人が75歳以上人口である。
- c 男女ともに平均寿命が80年を超えている。
- d 生産年齢人口割合は経年的に増加している。

選択肢考察 答え b c

- × a 老年化指数は235.9(令和元年)であり、300は超えていない。
- b 75歳以上人口が14.7%(令和元年)であり、7人に1人が75歳以上人口である。
- c 男女ともに平均寿命が80年を超えている。
- × d 生産年齢人口割合は経年的に減少している。

ポイント

<我が国の人口統計>
・65歳以上人口が年少人口の2倍を超えた。
・75歳以上人口の割合は14.7%を超え、7人に1人が75歳以上人口となった。
・75歳以上人口が15歳未満人口を上回っている。
・日本は老年化指数が200を超える国となっている。

(問題 28) 地域医療構想の策定を規定しているのはどれか。1つ選べ。

- a 医療法
- b 健康増進法
- c 地域保健法
- d 高齢者の医療の確保に関する法律

選択肢考察 答え a

- a 地域医療構想の策定は「医療法」で規定されている。

- × b 「健康増進法」は健康日本21などについて規定されている。
- × c 「地域保健法」は保健所や市町村保健センターの業務などについて規定されている。
- × d 「高齢者の医療の確保に関する法律」は後期高齢者医療制度や特定健康診査・特定保健指導などについて規定されている。

ポイント

<地域医療構想の策定>
都道府県は、地域の医療需要の将来推計や報告された情報等を活用して、構想区域ごとの各医療機能の将来必要量を含めた「地域医療構想」を策定し、医療計画に新たに盛り込み、医療機関のさらなる機能分化を推進する。

(問題 29) 国民医療費に含まれる費用はどれか。2つ選べ。

- a 禁煙治療
- b 歯の漂白
- c 訪問介護
- d 傷病手当金

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 禁煙治療や傷病手当金は国民医療費に含まれる。
- × b 歯の漂白は傷病の治療ではないため、国民医療費に含まれない。
- × c 訪問介護は介護保険であり医療保険ではないため、国民医療費に含まれない。

ポイント

<国民医療費>
医療機関などにおける傷病の治療に要する費用を推計したものである。

(問題 30) 32歳の女性。ある日の食事内容における食事バランスガイドの評価を表に示す。

主食	5つ
副菜	4つ
主菜	5つ
牛乳・乳製品	2つ
果物	2つ

摂取することでバランスが向上するのはどれか。1つ選べ。

- a 冷奴
- b 魚の天ぷら
- c ひじきの煮物
- d 鶏肉のから揚げ

選択肢考察 答え c

- × a 冷奴は主菜である。
- × b 魚の天ぷらは主菜である。
- c 食事バランスガイドの評価では副菜が4つで不足している。ひじきの煮物は副菜である。
- × d 鶏肉のから揚げは主菜である。

ポイント

- <副 菜>
- ・野菜
- ・きのこ
- ・いも
- ・海藻料理

(問題 31) 医療現場におけるヒヤリハットレポートの目的はどれか。2つ選べ。

- a 裁判の資料
- b 事故発生の防止
- c 保健所への報告
- d メタ認知能力の育成

選択肢考察 答え b d

- × a 事故(アクシデント)発生前の状況報告なので裁判とは無関係である。
- b 事故発生の防止に役立つ資料となる。
- × c 保健所への報告は医療現場におけるヒヤリハットレポート(インシデント報告書)の目的ではない。
- d メタ認知能力(自分自身の認知行動を把握することができる能力)の育成は医療現場におけるヒヤリハットレポートの目的である。

ポイント
ヒヤリハットレポート(インシデント報告書)といった情報を共有、蓄積し、医療施設内のシステムを改善していくことは医療事故防止のための有効な方法である。

(問題 32) 患者の感染症の有無に関わらず、すべての患者に実施するのはどれか。1つ選べ。

- a バリアフリー
- b フェールセーフ
- c ハイリスクアプローチ
- d スタンダード・プレコーション

選択肢考察 答え d

- × a バリアフリーとは、障がい者でも健常者と同じように生活できるような工夫である。
- × b フェールセーフとは、医療機器を誤って操作した場合に緊急停止する安全制御システムのことである。
- × c ハイリスクアプローチとは、地域住民に対するヘルスプロモーションのためのはたらきかけの方法である。
- d スタンダード・プレコーションとは、すべての患者の湿性物質(汗を除く血液・体液など)を感染源とみなした感染予防策である。これらの物質に触れた後は手洗いを励行し、あらかじめ触れるおそれのあるときは、手袋、エプロン、マスクなどを着用するというのがその基本である。この予防策は特定の感染症を対象とするのではなく、すべての患者に適用される。

ポイント
<スタンダード・プレコーション(標準予防策)>
・患者の血液・体液や患者から分泌排泄される尿・痰・便・膿などのすべての湿性物質(汗を除く)は何らかの病原体を含んでいる可能性があることを前提とした感染予防策である。

・手袋、エプロン、マスクなどの着用が基本 → すべての患者に適用される。

(問題 33) 65歳の男性。口腔癌と診断された。病状の問い合わせに回答してもよい相手はどれか。1つ選べ。

- a 患者の両親
- b 患者の子ども
- c 患者の配偶者
- d 患者が承諾した人

選択肢考察 答え d

- × a, × b, × c 本人に判断能力がある場合は、家族(両親、配偶者、子ども)であっても、本人の承諾なしに診療情報を提供してはならない。
- d 患者の承諾は第三者への診療情報提供の絶対条件である。

ポイント
<歯科衛生士が患者の承諾を得ずに第三者に診療情報を提供した場合>
・歯科衛生士法上の守秘義務違反に該当する。
・歯科医療施設として個人情報保護法違反に該当する。

(問題 34) 歯科衛生士が署名できるのはどれか。2つ選べ。

- a 処方せん
- b 業務記録
- c 歯科技工指示書
- d 産業廃棄物管理票

選択肢考察 答え b d

- × a 処方せんは医師、歯科医師が作成し、署名する。
- b 業務記録は歯科衛生士が作成し、署名する。
- × c 歯科技工指示書は医師、歯科医師が作成し、署名する。
- d 産業廃棄物管理票(マニフェスト)には、医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士などが署名できる。

ポイント
<産業廃棄物管理票>
・感染性廃棄物の処理を業者に委託する場合、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を記載する。
・7枚複写になっている。
・5年間の保存義務がある。

(問題 35) 口臭検査に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 官能検査
- b パッチテスト
- c サクソントンテスト
- d 濾紙ディスク法

選択肢考察 答え a

- a 口臭検査として官能検査がある。
- × b パッチテストは金属アレルギーの検査に用いられる。
- × c サクソントンテストは刺激時唾液分泌試験である。
- × d 濾紙ディスク法は味覚検査に用いられる。

ポイント

- <口臭検査に用いるもの>
- ・官能検査
- ・簡易口臭測定機器
- ・ガスクロマトグラフィ

(問題 36) 不顕性誤嚥のスクリーニングテストに用いるのはどれか。2つ選べ。

- a プリン
- b クエン酸
- c バリウム
- d 生理食塩液

選択肢考察 答え b d

- × a プリンはフードテストに用いる。不顕性誤嚥のスクリーニングテストは用いない。
- b, ○ d 不顕性誤嚥のスクリーニングテストには、1%濃度のクエン酸生理食塩水溶液を用いた咳テストが行われる。
- × c バリウムは造影剤であり、精密検査として行う嚥下造影検査に用いる。

ポイント
<咳テスト>
1%濃度のクエン酸生理食塩水溶液をネブライザーで噴霧し、咳が出現するかにより不顕性誤嚥のスクリーニングを行うテストである。

(問題 37) 画像検査と利用するものの組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a MRI ————— エックス線
- b 造影CT ————— ヨード製剤
- c 超音波断層検査 ————— 反射波
- d 口内法エックス線撮影 ————— 増感紙

選択肢考察 答え b c

- × a MRIは電磁波を利用している。エックス線は利用しない。
- b 造影CTはヨード製剤を静脈経由で注入して撮影する。
- c 超音波断層検査は超音波の反射波を計測することで画像を形成する。
- × d 口内法エックス線撮影は増感紙を使用していない。

ポイント
<エックス線フィルムと増感紙>
・増感紙はエックス線を光に変換してフィルムを感光させる役割があり、感度が上昇する。
・パノラマエックス線撮影などに用いられる。

(問題 38) 酸蝕症の原因はどれか。2つ選べ。

- a 習慣性嘔吐
- b ブラキシズム
- c 酸性食品の過剰摂取
- d プラーク中の酸産生菌

選択肢考察 答え a c

- a 習慣性嘔吐は酸蝕症の原因となる。
- × b ブラキシズムは咬耗やアブフラクションの原因となる。
- c 酸性食品の過剰摂取は酸蝕症の原因となる。
- × d プラーク中の酸産生菌はう蝕の原因となる。

ポイント
<酸蝕症>
・習慣性嘔吐や胃食道逆流症などによる胃酸が原因で生じる。
・炭酸飲料や食酢、柑橘類などの酸性食品の過剰摂取も原因となる。

(問題 39) 上顎左側第一大臼歯に接着性レジンセメントを用いて修復物を装着することになった。製作された修復物の写真(別冊午前 No.4)を別に示す。まず行うのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合調整
- b 隣接接触関係の調整
- c リムーバルノブの除去
- d インレー体の内面処理

別冊 午前 No.4 写真

選択肢考察 答え b



× a, ○ b, × c, × d 2級メタルインレーを装着するには、まず隣接接触関係の調整を行う必要がある。その後、辺縁や内面の適合を確認したら咬合調整を行い、リムーバルノブの除去を行う。仕上げ研磨後にインレー体の内面処理を行って接着性レジンセメントを用いて装着する。

ポイント
<接着性レジンセメント>
・歯質や金属、陶材などに強固に接着するセメントである。
・装着前に歯面や修復物被着面の処理を行う。

(問題 40) 21歳の女性。上顎左側第一小臼歯と第二小臼歯との冷水痛を主訴として来院した。コンポジットレジン修復を行うことになった。う蝕除去中の口腔内写真(別冊午前 No.5)を別に示す。矢印で示す器具を除去する時期で正しいのはどれか。1つ選べ。

別冊 午前 No.5 写真

- a 隔壁挿入直前
- b 歯面処理直前
- c レジン研磨直前
- d レジン填入直前

選択肢考察

答え a



隣接面のう蝕除去中にウェッジが挿入されている

- a 隣接面う蝕であるため、レジン充填前に隔壁を挿入する必要があるが、ウェッジが挿入されたままでは隔壁が挿入できない。したがって、隔壁挿入直前にウェッジを除去する。
- ×b、×c、×d 歯面処理やレジンの填入、レジン研磨は隔壁挿入以降に行う。

ポイント

<2級コンポジットレジン修復時のウェッジの目的>
 歯間離開や乳頭歯肉の保護のため、窩洞形成前に挿入しておくことよ。
 また、レジン充填前にマトリックス（隔壁）を固定するためにも用いられる。

〔問題 41〕 歯髄鎮痛消炎療法に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a MTA セメント
- b 水酸化カルシウム製剤
- c 酸化亜鉛ユージノールセメント
- d HY 剤配合カルボキシレートセメント

選択肢考察

答え c

- ×a MTA セメントは直接覆髄や逆根管充填などに用いる。歯髄鎮痛消炎療法には用いられない。
- ×b 水酸化カルシウム製剤は覆髄や根管粘薬などに用いる。歯髄鎮痛消炎療法には用いられない。
- c 酸化亜鉛ユージノールセメントは歯髄鎮痛消炎療法に用いられる。
- ×d HY 剤配合カルボキシレートセメントは IPC など に用いる。歯髄鎮痛消炎療法には用いられない。

ポイント

<歯髄鎮痛消炎療法>
 ・歯髄充血や可逆性の急性単純性歯髄炎に用いられる。
 ・フェノールカンフルや酸化亜鉛ユージノールセメントなどが用いられる。

〔問題 42〕 45歳の男性。下顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。根管治療を行うことになった。処置中の口腔内写真（別冊午前 No.6）を別に示す。この状態で生じるリスクはどれか。2つ選べ。

- a 皮下気腫
- b 薬液の漏出
- c 施術野の汚染
- d リーマーの誤飲

別冊 午前 No.6 写真

選択肢考察

答え bc



ラバーシートが歯頸部に密着していない

- ×a 皮下気腫は根尖孔外に空気が滲出することで生じる。この状態で生じるとは考えにくい。
- b、○c ラバーシートがクランプ翼部から外れておらず、歯頸部を括約していない。したがって、この状態では薬液の漏出や施術野の汚染のリスクがある。
- ×d ラバーシートが歯質に密着していないが、リーマーの誤飲を生じるとは考えにくい。

ポイント

<ラバーダム防湿の目的>
 ・器具の誤飲や誤嚥防止
 ・軟組織の排除による術野の明示
 ・唾液の侵入阻止による無菌的処置
 ・薬液や器具などからの軟組織の保護

〔問題 43〕 65歳の女性。上顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。数日前から冷水痛が強くなり、昨夜からは自発痛があるという。⑥は歯髄電気診に反応がみられた。初診時のエックス線画像（別冊午前 No.7）を別に示す。初診時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。考えられるのはどれか。1つ選べ。

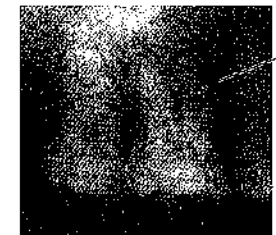
初診時		①			②		
歯位	PPD(mm)	1	2	3	4	5	6
上顎	1	0	0	0	0	0	0
下顎	1	0	0	0	0	0	0
別紙表 (Millerの分類)							1

○印：ブローピング時の出血

別冊 午前 No.7 写真

選択肢考察

答え b



近心部に根尖に及ぶ歯槽骨吸収がみられる

- ×a 歯髄充血では自発痛はみられない。
- b 冷水痛と自発痛を訴えているが、歯周ポケットが深く、根尖に及ぶ骨吸収がみられることから上行性歯髄炎が考えられる。
- ×c 急性根尖性歯周炎では歯髄電気診に反応はみられない。
- ×d 象牙質知覚過敏症では自発痛は生じない。

ポイント

<上行性歯髄炎>
 ・深い歯周ポケットから歯髄へ細菌が侵入することが原因で生じることが多い。
 ・自発痛や温度痛などがみられる。
 ・麻酔抜髄の適応である。

〔問題 44〕 新付着の獲得を目的とする歯周外科治療はどれか。2つ選べ。

- a GTR 法
- b 新付着術
- c 歯周形成手術
- d エムドゲインの応用

選択肢考察

答え ad

- a GTR 法はセメント質の新生による新付着の獲得を目的とした歯周組織再生療法である。
- ×b 新付着術では新付着の獲得は期待できない。
- ×c 歯周形成手術は歯肉歯槽粘膜部の形態を修正することを目的としている。
- d エムドゲインの応用はセメント質の新生による新付着の獲得を目的とした歯周組織再生療法である。

ポイント

<新付着>
 アタッチメントロスを生じた歯根面にセメント質が新生され、新しい結合組織性付着が生じることであり、GTR 法などの歯周組織再生療法で期待される治療である。

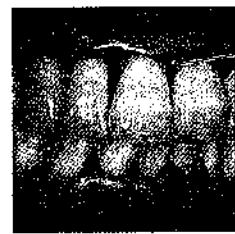
〔問題 45〕 37歳の男性。上顎右側中切歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。歯周炎と診断され、ブラッシング指導と歯肉縁上スケーリングを行うこととなった。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.8）を別に示す。次回来院時に減少している可能性が高いのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉出血量
- b 歯根露出量
- c ブローピング深さ
- d アタッチメントレベル

別冊 午前 No.8 写真

選択肢考察

答え ac



歯肉の発赤

- a ブラッシング指導と歯肉縁上スケーリングを行うと、歯肉の炎症が軽減し歯肉出血量が減少することが考えられる。
- ×b、○c ブラッシング指導と歯肉縁上スケーリングにより歯肉の炎症が軽減することで歯肉が退縮し、

歯根露出量の増加やブローピング深さの減少が生じる可能性が高い。
 ×d アタッチメントレベルの減少はアタッチメントゲインともいい、歯肉縁下スケーリング・ルートプレーニングなどにより付着が増加することで生じる。ブラッシング指導と歯肉縁上スケーリングだけでアタッチメントレベルの減少が生じる可能性は低い。

ポイント

<歯周基本治療後の歯肉退縮>
 歯肉の炎症が軽減することにより、歯肉退縮が生じやすい。ブローピング深さが減少するが、審美障害や象牙質知覚過敏症などのリスクもあるため、術前に患者に説明しておくことよ。

〔問題 46〕 正常咬合者の下顎限界運動路の図を示す。①はどれか。1つ選べ。

- a 中心位
- b 下顎安静位
- c 切端咬合位
- d 中心咬合位

選択肢考察

答え d

- ×a 中心位は下顎が上顎に対して無理なく最後方位であり、蝶番運動のできる位置である。中心位は歯ではなく顎関節で決定される下顎位である。
- ×b ②が下顎安静位である。安静時の下顎位で、直立または正しい姿勢で腰をかけた状態で前方を直視したときの頭蓋に対する下顎の位置のことである。口唇は閉じているが、上下顎の歯の間には咬合接触がなく、2～3mmの空隙がある。これを安静空隙（フリーウェイスペース）という。
- ×c 切端咬合位とは、上下顎前歯の切端で咬合接触している咬合位である。
- d ①は中心咬合位である。形態的、機能的に正常な咬頭嵌合の状態にあるときの位置である。正常者では中心咬合位と咬頭嵌合位は一致し、咬合接触がみられる。

ポイント

<下顎限界運動路>

下顎切歯（点）の可動範囲

- 1：最後方位
- 2：咬頭嵌合位
- 3：切端咬合位
- 4：下顎切歯が上顎切歯を咬合蓋するよう前方咬合位
- 5：最前方位
- 6：下顎安静位
- 7：唇舌性運動路（通常の閉鎖経路）
- 8：終末葉群運動路
- 9：終末葉群運動からさらに後方への開口運動
- 10：最大開口位

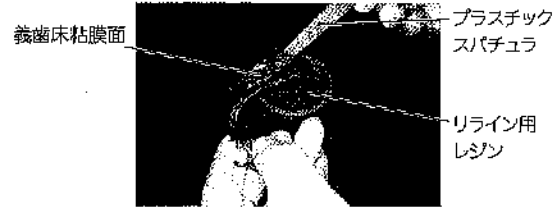
(問題 47) 59歳の女性。下顎部分床義歯の不適合による咀嚼困難を主訴として来院した。使用中の義歯は8年前に製作し、1か月前から義歯床下に食渣が入りやすくなったという。主訴改善のために行う操作を行った。操作中の写真(別冊午前No.9)を別に示す。行った操作はどれか。1つ選べ。

- a リライン
- b サベイング
- c ボクシング
- d リマウント

別冊 午前 No.9 写真

選択肢考察

答え a



- a リライン(裏装)とは、義歯床粘膜面の1層だけを新しい義歯床用材料に置き換し、床下粘膜との適合を図るために行う操作である。写真は直接法で、口腔内に義歯を挿入する直前である。
- ×b サベイングとはサベヤーを用いる一連の技工操作のことである。なお、サベヤーは部分床義歯を設計する際に必要な平行測定装置である。
- ×c ボクシングとは棒状と板状のワックスを用いて印象体の辺縁外周に沿って箱枠をつくる操作のことである。
- ×d リマウントとは模型を咬合器に再装着することをいう。一方、マウントとは模型を咬合器に装着することである。

ポイント

- <リライン(裏装)>
 - ・義歯床粘膜面の1層だけを新しい義歯床用材料に置き換し、床下粘膜との適合を図るために行う。
 - ・直接法(口腔内で直接行う方法)と間接法(模型上で行う方法)とがある。

(問題 48) インプラントの基本構造で骨との生体親和性を最も要求されるのはどれか。1つ選べ。

- a 上部構造
- b アバットメント
- c インプラント体
- d サージカルステント

選択肢考察

答え c

- ×a 上部構造はインプラント体に装着する補綴装置のことである。骨との生体親和性が要求される部分ではない。
- ×b アバットメントは支台に相当する部分なので、骨との生体親和性が要求されるわけではない。
- c インプラント体は顎骨内に埋入する部分である。この部分は所要性質として骨との生体親和性に優れている必要がある。したがって、チタンが使用されている。

×d サージカルステントとは、診断時や手術時にインプラントの植立位置の決定、確認のために用いるものである。インプラントの基本構造ではない。もちろん、骨との生体親和性が要求されるわけではない。

ポイント

- <インプラントの基本構造>
 - ①歯根 : インプラント体
 - ②支台 : アバットメント
 - ③補綴装置 : 上部構造

(問題 49) 34歳の男性。右側頬粘膜炎の黄色斑を主訴として来院した。特に自覚症状はない。初診時の口腔内写真(別冊午前No.10)を別に示す。

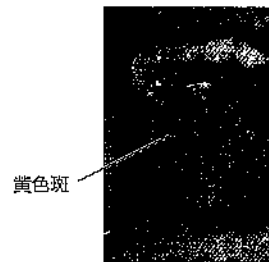
考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a カンジダ症
- b 褥瘡性潰瘍
- c コプリック斑
- d フォーダイス斑

別冊 午前 No.10 写真

選択肢考察

答え d



- ×a 体力の低下した人やHIV感染者(AIDS患者)に発症する。原因は真菌(カンジダ・アルビカンズ)による感染である。抗菌薬や含嗽薬を処方する。
- ×b 機械的刺激によってできる潰瘍である。不適合な義歯による潰瘍の場合は、義歯の調整や新製が必要になる。
- ×c 麻疹(はしか)ウイルスに感染した場合に、前駆症状として頬粘膜炎に生じる。
- d 自覚症状はなく、わずかな隆起がみられる頬粘膜炎の黄色斑ということからフォーダイス斑と考えられる。異所性の皮脂腺で、頬粘膜炎や口唇粘膜にみられる粟粒大の斑点で、病的な意味はない。特に治療を必要としない。

ポイント

- <フォーダイス斑>
 - 異所性の皮脂腺。頬粘膜炎や口唇粘膜にみられる粟粒大の斑点。治療は不要。

(問題 50) 顎骨骨折で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 骨体部骨折は下顎に多い。
- b 歯槽骨骨折は臼歯部に多い。
- c 関節突起部では介達骨折が多い。
- d 骨体部骨折では味覚異常が起こる。

選択肢考察

答え a c

- a 骨体部骨折は下顎に多い。
- ×b 歯槽骨骨折は上顎前歯部に多い。
- c 介達骨折とは、外力の作用部位から離れた部位の骨折で、下顎正中部に外力が加わったときに起こる関節突起部(下顎頸部)の骨折がその代表例である。
- ×d 骨体部骨折では味覚異常は生じないが、咬合異常が起こる。

ポイント

- <顎骨骨折の好発部位>
 - ・下顎骨骨折>上顎骨骨折
 - ・下顎では前歯部(オトガイ部)、顎角部、関節突起部(下顎頸部)に多い。
 - ・上顎では、ル・フォーのI型、II型、III型が多い。
 - ・歯槽骨骨折は上顎前歯部に多い。

(問題 51) 三叉神経痛で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 若年者に多い。
- b 片側に発症する。
- c 唾液分泌障害がみられる。
- d 激しい発作性疼痛がみられる。

選択肢考察

答え b d

- ×a 40歳以上の女性に多い。
- b 片側に発症する。
- ×c 唾液分泌障害はみられない。顔面神経麻痺では味覚障害や唾液分泌障害がみられる。
- d 2~3分間の激しい発作性疼痛(電撃様疼痛)がみられる。

ポイント

- <三叉神経痛>
 - ・パトリックの発痛帯(口唇、前額部、側頭部)がみられる。
 - ・パレーの圧痛点(眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔の圧痛)がみられる。

(問題 52) 周術期の口腔衛生管理により期待されるのはどれか。2つ選べ。

- a 原発病巣の縮小
- b 創部感染の予防
- c がん性疼痛の予防
- d 放射線治療中の口内炎の改善

選択肢考察

答え b d

- ×a 口腔衛生管理を行っても原発病巣は縮小しない。
- b 口腔衛生管理が不良な場合、二次感染のリスクが高くなる。したがって、歯科衛生士が行う口腔衛生管理によって創部感染が予防できる。
- ×c がん性疼痛には鎮痛薬を使用し、口腔衛生管理で予防できるものではない。
- d 口内炎は放射線治療の開始後2~3週間で出現する。抗悪性腫瘍薬の併用や細菌感染があると口内炎が悪化するので、口内炎の改善を期待して周術期の口腔衛生管理を行う。

ポイント

- <周術期の口腔衛生管理により期待される効果>
 - ・創部感染の予防

- ・入院期間の短縮
- ・術後誤嚥性肺炎の予防
- ・放射線治療中の口内炎の改善

(問題 53) 下顎左側第一大臼歯の咬合面観の写真(別冊午前No.11)を別に示す。

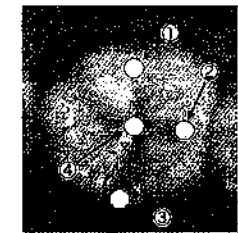
正常咬合で上顎左側第一大臼歯の近心舌側咬頭頂が接触するのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.11 写真

選択肢考察

答え d



- ×a、×b、×c、○d 正常咬合で上顎左側第一大臼歯の近心舌側咬頭頂が接触するのは、下顎左側第一大臼歯の中央窩である。したがって、図の④が正しい。

ポイント

- <第一大臼歯の咬合関係>
 - ・上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭頂
 - 下顎第一大臼歯の中央窩と接触
 - ・上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭三角隆線
 - 下顎第一大臼歯の頬面溝と接触

(問題 54) リンガルアーチ製作中の写真(別冊午前No.12)を別に示す。

この操作の目的はどれか。1つ選べ。

- a 歯間分離
- b 豊隆調整
- c バンドの撤去
- d ワイヤの切断

別冊 午前 No.12 写真

選択肢考察

答え c



- ×a 歯間分離はセパレーティングプライヤーでエラストックセパレーターを装着することで行う。
- ×b 豊隆調整は口腔外でバンドコンタリングプライヤーを用いて行う。
- c 写真からバンドリムービングプライヤーで口腔内のバンドの撤去を行っているかと判断できる。

× d マルチブラケット装置では、ディスタルエンドカッターを用いて口腔内でワイヤーの切断を行うことがある。

ポイント

<リンガルアーチの構造>

- ・主線
- ・補助弾線
- ・維持装置
- ・維持バンド

(問題 55) ある矯正装置を装着した口腔内写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

期待できる治療効果はどれか。1つ選べ。

- a 舌突出癖の防止
- b 上顎歯列の側方拡大
- c 上顎前歯の唇側移動
- d 上顎骨の前方成長促進

別冊 午前 No.13 写真

選択肢考察

答え b



クワドヘリックス

- × a 舌突出癖の防止はタングクリップなどを用いる。
- b クワドヘリックスは上顎歯列の側方拡大に用いる。
- × c 上顎前歯の唇側移動はリンガルアーチなどを用いる。
- × d 上顎骨の前方成長促進は上顎前方牽引装置を用いる。

ポイント

<クワドヘリックス>

- ・持続的な矯正力を発揮する。
- ・主に臼歯部を傾側へ傾斜移動させることで上顎歯列弓を拡大させる。

(問題 56) 10歳の女兒。保護者が歯の形を気にして来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.14)を別に示す。

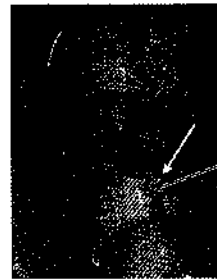
矢印が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 臼傍結節
- b 中心結節
- c カラベリー結節
- d プロトスタイリッド

別冊 午前 No.14 写真

選択肢考察

答え b



下顎第一小臼歯咬合面の結節

- × a 臼傍結節は乳臼歯や大臼歯の頰側面に出現する結節である。
- b 矢印は下顎第一小臼歯の咬合面にみられる結節を示しており、中心結節である。
- × c カラベリー結節は上顎の乳臼歯や大臼歯の近心口蓋咬頭の口蓋側に出現する結節である。
- × d プロトスタイリッドは下顎の乳臼歯や大臼歯の近心頰側に出現する結節である。

ポイント

<中心結節>

- ・臼歯部、とくに下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。
- ・中心結節の咬耗や破折により、歯髄へ細菌感染が生じて歯髄炎を発症する。歯髄炎が進行し、根尖性歯周炎を発症することもある。

(問題 57) 哺乳ピンう蝕が好発するのはどれか。2つ選べ。

- a 上顎乳前歯
- b 下顎乳前歯
- c 上顎第一乳臼歯
- d 下顎第二乳臼歯

選択肢考察

答え a c

- a 哺乳ピンう蝕は上顎乳前歯に好発する。
- × b 下顎乳前歯はう蝕になりにくく、また、哺乳ピンう蝕は好発しない。
- c 哺乳ピンう蝕は上顎第一乳臼歯に好発する。
- × d 下顎第二乳臼歯はう蝕になりやすいが、哺乳ピンう蝕は好発しない。

ポイント

<哺乳ピンう蝕>

- ・上顎乳前歯唇側面や舌側面、上顎第一乳臼歯頰側面に好発する。
- ・哺乳ピンの使用時期などにより、上顎第二乳臼歯は影響を受けにくい。

(問題 58) 7歳の男児。上顎左側第二乳臼歯の咀嚼時痛を主訴として来院した。診査の結果、バンドループ保険装置を装着することとなった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

装置の装着前に行われるのはどれか。2つ選べ。

- a 抜歯
- b 印象採得
- c 支台歯形成
- d 感染根管処置

別冊 午前 No.15 写真

選択肢考察

答え a b



う蝕で歯冠部が崩壊している

- a バンドループ保険装置は乳臼歯の1歯中間欠損に用いられる。E は歯冠の崩壊が著しく咀嚼時痛もみられるため、バンドループ保険装置の装着前に抜歯を行うと考えられる。
- b バンドループ保険装置の製作を行うためには、印象採得が必要である。
- × c クラウンループ保険装置は支台歯形成を必要とするが、バンドループ保険装置では支台歯形成は行わない。
- × d 感染根管処置は歯を保存するために行うものであり、バンドループ保険装置を装着する場合に行うとは考えられない。

ポイント

<クラウン(バンド)ループ保険装置>

- ・片側性の乳臼歯の1歯中間欠損に用いられる。そのため、第一大臼歯萌出前は第一乳臼歯の1歯欠損のみに用いられるが、第一大臼歯萌出後は第二乳臼歯の1歯欠損にも用いられる。
- ・クラウンループ保険装置は支台歯形成を必要とするが、バンドループ保険装置は支台歯形成を必要としない。

(問題 59) ある指標の評価項目を表に示す。

セルフケア	食事、整容、清拭、更衣(上半身)、更衣(下半身)、トイレ動作
排泄	排尿コントロール、排便コントロール
移乗	ベッド・いす・車いす、トイレ、浴槽・シャワー
移動	歩行・車いす、階段
コミュニケーション	理解、表出(言語・非言語)
社会認識	社会的交流、問題解決、記憶

この評価法はどれか。1つ選べ。

- a BI (Barthel Index)
- b FIM (Functional Independence Measure)
- c IADL (Instrumental Activity of Daily Living)
- d GOHAI (General Oral Health Assessment Index)

選択肢考察

答え b

- × a BI (Barthel Index) は10項目を点数化しADLを評価する。
- b FIM (Functional Independence Measure) はADL評価法のなかで妥当性が高い評価法である。運動ADL13項目と認知ADL5項目から構成されている。
- × c IADL (Instrumental Activity of Daily Living) は買物や家事、服薬管理などより高次な手段の日常生活動作の評価に用いる。
- × d GOHAI (General Oral Health Assessment Index) は口腔に関連した疾患特異的QOL尺度である。

ポイント

<FIM(機能的自立度評価表)>

セルフケア、排泄、移乗、移動の項目に挙げられた13の運動項目とコミュニケーション、社会認識の項目に挙げられた5つの認知項目について、おのおの1~7点の7段階で採点することで必要な介護量が数値化される。

(問題 60) Functional assessment staging (FAST) について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 5つのステージに区分する。
- b 質問紙法認知機能評価である。
- c 対象者の協力がなくても実施可能である。
- d Alzheimer型認知症の重症度判定を目的とする。

選択肢考察

答え c d

- × a FASTは7つのステージに区分する。
- × b FASTは観察法認知機能評価である。
- c FASTは観察法認知機能評価のため、対象者の協力がなくても実施可能である。
- d FASTはAlzheimer型認知症の重症度判定を目的とする。

ポイント

<Functional assessment staging (FAST)>

- ・Alzheimer型認知症の重症度判定を目的とする。
- ・重症化する各ステージで生じる問題をADLの障害を基準として判定する評価法である。
- ・初期から終末期までの評価が可能である。

(問題 61) Alzheimer型認知症と比較したLewy小体型認知症の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 緩徐進行性である。
- b 神経変性疾患である。
- c 嚥下の咽頭期の障害が多い。
- d パーキンソンニズムがみられる。

選択肢考察

答え c d

- × a Alzheimer型認知症もLewy小体型認知症も緩徐進行性のため比較した特徴ではない。
- × b Alzheimer型認知症もLewy小体型認知症も神経変性疾患のため比較した特徴ではない。
- c Alzheimer型認知症は嚥下の先行期の障害が多いが、Lewy小体型認知症は嚥下の咽頭期の障害が多い。

○d Alzheimer 型認知症ではパーキンソニズムはみられないが、Lewy 小体型認知症ではパーキンソニズムがみられる。

ポイント

< Lewy 小体型認知症 >

- ・幻視がみられる。
・覚醒レベルの変動がみられる。
・口腔期や咽頭期の障害が多い。
・発症早期には記憶力障害は目立たない。

【問題 62】 小児自閉症の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 女兒に多い。
b 反響言語を使用する。
c 抽象的に思考できる。
d 同一傾向を保持する。

選択肢考察

答え b d

- × a 自閉症は男児に多い。
○ b 自閉症児は反響言語を使用する。
× c 自閉症児は抽象的にものごとを思考することができない。
○ d 自閉症児は同一傾向を保持する。

ポイント

< 自閉症児に歯科治療の手順を説明するのに有効なもの >
・TEACCH 法
・Tell-Show-Do 法

【問題 63】 形成に細菌が関与しない口腔内の付着物・沈着物は何ですか。1つ選べ。

- a ステイン
b プラーク
c ペリクル
d 歯肉縁下歯石

選択肢考察

答え c

- a ステインの形成には、色素産生細菌が産生した色素性物質などが関与している。
○ b プラークの形成には細菌が関与している。
× c ペリクルは唾液中に含まれる糖タンパク質が歯面に吸着して形成される。形成に細菌は関与しない。
○ d プラークが石灰化したものが歯石である。歯肉ポケット内の歯周病原細菌が局所の pH を上げることで歯肉縁下歯石が形成されるとされている。

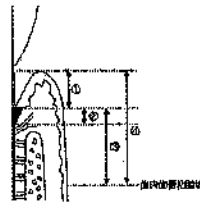
ポイント

< ペリクル >
歯面の物理的保護作用、脱灰抑制・再石灰化促進作用といった利点がある。
しかし、細菌を付着させることで歯面へのプラーク蓄積を誘導するという欠点がある。

【問題 64】 歯周組織の模式図を示す。

角化歯肉はどれか。1つ選べ。

- a ①
b ②
c ③
d ④



選択肢考察

答え d

- × a ①は歯肉縁線からポケット底までの距離であり、ポケット深さを示している。
× b ②は付着上皮（接合上皮）を示している。
× c ③はポケット底から歯肉歯槽粘膜境までの距離であり、臨床的付着歯肉幅を示している。
○ d 角化歯肉は歯肉縁線から歯肉歯槽粘膜境までであり、模式図の④である。

ポイント

< 角化歯肉 >

- ・歯肉と歯槽粘膜の境を歯肉歯槽粘膜境という。
・歯肉の表面は角化しており、ヨード製剤に不染である。機械的刺激に抵抗性がある。
・歯槽粘膜は角化しておらず、ヨード製剤に染色される。

【問題 65】 唾液分泌量の減少が生じるリスクが高いのはどれか。2つ選べ。

- a エナメル上皮腫
b ペーチェット病
c シェーグレン症候群
d 頭頸部の放射線治療

選択肢考察

答え c d

- × a エナメル上皮腫によって唾液分泌量の減少が生じるリスクは考えにくい。
× b ペーチェット病によって唾液分泌量の減少が生じるリスクは考えにくい。
○ c シェーグレン症候群は唾液分泌量の減少が生じ、口腔乾燥などを訴える。
○ d 頭頸部の放射線治療では唾液分泌量の減少や口内炎などが生じる。

ポイント

< 唾液分泌量の減少 >

- ・加齢変化やシェーグレン症候群、頭頸部の放射線治療などで唾液分泌量が減少する。
・唾液分泌量の減少により味覚障害や多発性う蝕などが生じるリスクが高まる。

【問題 66】 ポケットプローピングで確認できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺度
b 歯周組織の破壊程度
c ポケットの易出血性
d 歯根膜腔の拡大の程度

選択肢考察

答え b c

- × a 歯の動揺度は動揺度検査で判断する。
○ b 歯周組織の破壊程度はアタッチメントレベルで表されるが、アタッチメントレベルはポケットプローピングで確認できる。
○ c ポケットの易出血性はポケットプローピングで確認できる。
× d 歯根膜腔の拡大の程度はエックス線画像で判断する。

ポイント

< ポケットプローピングで確認できること >

- ・BOP
・歯根の形態
・ポケットの深さ、形態
・アタッチメントレベル
・根分岐部病変の有無や程度
・歯肉縁下歯石の有無や程度

【問題 67】 歯周病のリスクファクターで環境因子はどれか。2つ選べ。

- a 喫煙
b 歯石
c 糖尿病
d ストレス

選択肢考察

答え a d

- a 喫煙は歯周病の環境因子である。
× b 歯石は歯周病の宿主因子（局所性修飾因子）である。
× c 糖尿病は歯周病の宿主因子（全身性修飾因子）である。
○ d ストレスは歯周病の環境因子である。

ポイント

< 歯周病のリスクファクター >

- ・細菌因子：プラーク中の歯周病原細菌
・宿主因子：局所性修飾因子（歯石、歯列不正、外傷性咬合など）
全身性修飾因子（年齢や性別、全身疾患など）
・環境因子：喫煙、ストレス、薬物、栄養障害など

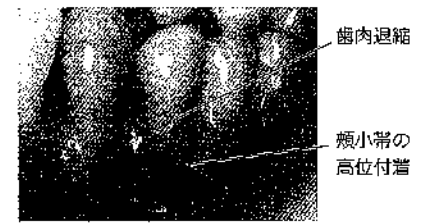
【問題 68】 51歳の女性。下顎左側第一小臼歯部のブラッシング時の歯肉疼痛を主訴として来院した。数年前から自覚していたという。初診時の口腔内写真（別冊午前 No.16）を別に示す。

- 主訴の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。
a う蝕
b 歯肉退縮
c 小帯の付着異常
d 象牙質知覚過敏症

別冊 午前 No.16 写真

選択肢考察

答え b c



歯肉退縮
頬小帯の高位付着

- × a 写真から明らかなう蝕はみられず、また、う蝕によりブラッシング時の歯肉疼痛が生じるとは考えにくい。
○ b 写真をみると、歯肉退縮によって角化歯肉幅が減少したことでブラッシング時の歯肉疼痛が生じていると考えられる。
○ c 写真をみると、小帯の高位付着によってブラッシング時の歯肉疼痛が生じていると考えられる。
× d 象牙質知覚過敏症はブラッシング時に歯の痛みを生じる原因となるが、歯肉疼痛が生じるとは考えにくい。

ポイント

< 歯肉退縮の主な原因 >

- ・外傷性咬合
・歯周炎の進行
・不適切なブラッシング

【問題 69】 47歳の男性。①下の歯の汚れが気になることを訴えて来院した。②毎日5本ほど喫煙しているという。③下顎舌側面に歯肉縁上歯石が認められた。④超音波スクレーラーでのスクレーリングを行うことになった。

Objective data はどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え c

- × a ①は対象者から聴取した主観的情報であるため、Subjective data である。
× b ②は対象者から聴取した主観的情報であるため、Subjective data である。
○ c ③は対象者から得られた客観的情報であるため、Objective data である。
× d ④は治療計画であるため、Plan である。

ポイント

< SOAP >

- ・ Subjective data：主観的情報
・ Objective data：客観的情報
・ Assessment：評価
・ Plan：計画

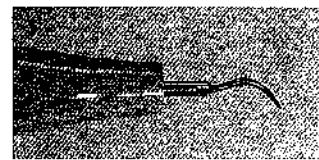
【問題 70】 器具の写真（別冊午前 No.17）を別に示す。この器具の使用を控えたほうがよいのはどれか。2つ選べ。

- a 動揺歯
b 歯根露出歯
c 歯冠周囲炎罹患歯
d セラミッククラウン装着歯

別冊 午前 No.17 写真

選択肢考察

答え b d



超音波スクレーラー

- × a 超音波スクレーラーは動揺歯に使用できる。
- b メタルチップの超音波スクレーラーは歯根露出歯への使用を控えたほうがよい。
- × c 超音波スクレーラーは歯冠周囲炎症罹患歯に使用できる。
- d メタルチップの超音波スクレーラーはセラミッククラウン装着歯への使用を控えたほうがよい。

ポイント

<超音波スクレーラー>

セラミック(陶材)の辺縁部やインプラントの周囲ではそれらの損傷に注意する必要がある。また、歯根露出部や象牙質知覚過敏症を起こしている歯には不快感を与える場合がある。これらにはメタルチップの使用は避けてプラスチックチップなどの使用を考慮する。

(問題 71) う蝕活動性試験の結果の写真(別冊午前 No. 18)を別に示す。

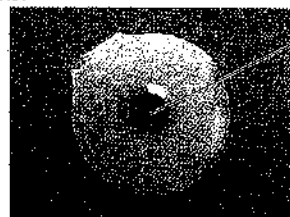
正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 恒温槽を用いる。
- b 唾液を検体とする。
- c 検査当日に判定できる。
- d Low リスクと判定される。

別冊 午前 No.18 写真

選択肢考察

答え b c



ピンク色に変色した RD テスト®

- × a RD テスト®は上腕内側に貼付し、体温で保温する。
- b RD テスト®は唾液を検体とする。
- c RD テスト®は 15 分間保温後に判定できる。
- × d ピンク色に変化しているため、High リスクと判定される。

ポイント

<RD テスト®>

- ・唾液中のレサズリン還元性細菌数を評価する。
- ・色調変化によってリスクを判定する。
- ・青色：Low、紫色：Middle、ピンク色：High

(問題 72) グレーシータイプキュレットの写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

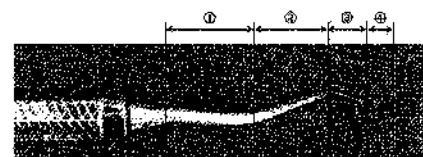
歯肉線下での操作時に歯根面と平行になるのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.19 写真

選択肢考察

答え c



- × a、× b、○ c、× d グレーシータイプキュレットの歯肉線下での操作時には、スクレーラーの第1シャンクを歯根面と平行にするのが基本である。したがって、第1シャンクに相当する③が正しい。

ポイント

<グレーシータイプキュレットの操作時の角度>

グレーシータイプキュレットの操作角度は、刃部内面と歯根面が70°となるのが基本である。歯肉線下スクレーリング時は、第1シャンクと歯根面を平行となるようにして操作するのがよい。

(問題 73) Axelsson の PMTC で使用する器材の写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

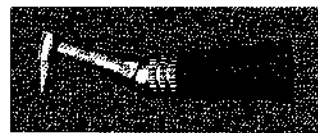
この器材について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 回転運動で用いる。
- b 小窩裂溝の清掃に用いる。
- c フッ化物配合ペーストを併用する。
- d ポイントカップに先立って使用する。

別冊 午前 No.20 写真

選択肢考察

答え c d



エバチップハンドピース

- × a エバチップは前後運動で用いる。
- × b エバチップは歯間部の清掃に用いる。
- c フッ化物配合ペーストを併用して歯面清掃を行う。
- d 歯間部の清掃は一般的に困難であるため、頬舌側面・咬合面の清掃に用いるポイントカップに先立って使用する。

ポイント

<Axelsson の PMTC >

エバチップハンドピースとフッ化物配合ペーストを用いて、歯間部を含めすべての歯面の歯肉線上下および歯肉線下1~3mmのプラークを機械的に除去するものである。

プラークの染め出し後、フッ化物配合ペーストを用いて歯間部を清掃し、続いて頬舌側面・咬合面の清掃を行う。口腔内を洗浄後にフッ化物歯面塗布を行う。

(問題 74) レジン系小窩裂溝充填法の術式に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a パーニッシュ
- b ラバーダム防湿
- c コンタクトゲージ
- d ポリッシングブラシ

選択肢考察

答え b d

- × a パーニッシュはグラスアイノマーセメント系小窩裂溝充填法の術式に用いる。
- b レジン系小窩裂溝充填法ではラバーダム防湿を用いる。
- × c 小窩裂溝充填法の術式にコンタクトゲージは用いない。
- d 小窩裂溝充填法ではポリッシングブラシによる歯面清掃を行う。

ポイント

<小窩裂溝充填法の適応>

- ・癒合歯の裂溝
- ・上顎前歯口蓋側の盲孔
- ・臼歯咬合面や頬側面の小窩や裂溝
- ・中心結節などの異常結節により生じる溝

(問題 75) う蝕予防処置に用いる器材・器具の写真(別冊午前 No.21)を別に示す。

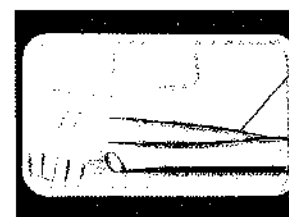
行うのはどれか。1つ選べ。

- a 小窩裂溝充填
- b フッ化物洗口
- c フッ化物歯面塗布
- d フッ化物配合歯磨剤の利用

別冊 午前 No.21 写真

選択肢考察

答え c



トレーの上にミラーやピンセット、綿球、ロール綿などが準備されている

- × a 小窩裂溝充填には探針や咬合紙なども準備する必要がある。
- × b フッ化物洗口に綿球やロール綿は必要ない。
- c 綿球やロール綿、フッ化物を準備する容器などがあるためフッ化物歯面塗布を行うと判断できる。
- × d フッ化物配合歯磨剤の利用に綿球やロールワッテは必要ない。

ポイント

<フッ化物歯面塗布法>

- ・トレー法
- ・綿球塗布法
- ・イオン導入法
- ・歯ブラシ法

次の文を読み、(問題 76)、(問題 77)に答えよ。小学校低学年の児童を対象にフッ化物洗口(週1回法)を実施することになり、教職員へ説明することとなった。

(問題 76) 使用するフッ化物洗口液のフッ素イオン濃度はどれか。1つ選べ。

- a 450ppm
- b 900ppm
- c 1,500ppm
- d 9,000ppm

選択肢考察

答え b

- × a フッ素イオン濃度450ppmのフッ化物を用いるのはフッ化物洗口(毎日法)である。
- b フッ化物洗口(週1回法)のフッ素イオン濃度は900ppmである。
- × c フッ素イオン濃度1,500ppmのフッ化物を用いるのはフッ化物配合歯磨剤である。
- × d フッ素イオン濃度9,000ppmのフッ化物を用いるのはフッ化物歯面塗布である。

(問題 77) 教職員への説明内容で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 洗口液は児童に調整させてください。
- b 5mLの洗口液を使用させてください。
- c ガラス容器に洗口液を分注してください。
- d 洗口液を1回量誤って飲んだとしても急性中毒の心配はありません。

選択肢考察

答え b d

- × a 学校での洗口液の調整は専門家が行う。
- b 1回の洗口液量は一人当たり5~10mLが目安である。
- × c フッ化物はガラス容器を侵蝕しやすいため使用しない。
- d 洗口液を1回量誤って飲んだとしても急性中毒の心配がないことを説明するのがよい。

ポイント

<フッ化物洗口に用いるフッ素イオン濃度>

- ・週1回法：900ppm
- ・毎日法、週5回法：226~450ppm

(問題 78) EBM に利用できる確実な情報源はどれか。2つ選べ。

- a 原著論文
- b 歯科疾患実態調査
- c テレビの健康番組
- d 歯科医院のホームページ

選択肢考察

答え a b

- a 原著論文などの専門的な学術誌は、科学的根拠に基づいた研究論文が掲載されているので、EBMに利用できる情報源となる。
- b 歯科疾患実態調査などの疫学調査報告書は、科学的根拠に基づいた論文や報告であるため、EBMに利用できる情報源となる。

× c、× d テレビの健康番組やインターネット上のホームページは、必ずしも科学的根拠に基づいた内容を伝えてはいるので、EBMに利用できる情報源とはならない。

ポイント

EBM(根拠に基づいた医療)は論文などの科学的根拠に基づいた情報源を利用しなければならない。

(問題 79) LeavellとClarkの予防概念の特異的予防でポピュレーションアプローチはどれか。1つ選べ。

- a 集団検診
b 予防填塞
c フッ化物歯面塗布
d 水道水へのフッ化物添加

選択肢考察

答え d

× a 集団検診は二次予防の早期発見・即時治療である。
× b、× c これらは第一次予防の特異的予防に含まれるが、ポピュレーションアプローチではない。
○ d 水道水へのフッ化物添加は第一次予防の特異的予防に含まれ、ポピュレーションアプローチである。

ポイント

<ポピュレーションアプローチ>

対象を一部に限定しないで集団全体へアプローチすることで、全体として健康レベルを上昇していこうという手法である。

(問題 80) Mini Mental State Examination (MMSE)で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 指示通りに紙を折る。
b アナログ時計を描く。
c 5つの物品を記録する。
d 2つの重なり合う五角形の図を模写する。

選択肢考察

答え a d

○ a Mini Mental State Examination (MMSE)では指示通りに紙を折らせる。
× b 時計描写テストではアナログ時計を描く。
× c 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)では5つの物品を記録する。
○ d Mini Mental State Examination (MMSE)では2つの重なり合う五角形の図を模写する。

ポイント

<Mini Mental State Examination (MMSE)>

・知的機能を評価する質問項目である「見当識(時間・場所)」、「短期記憶」、「計算・注意力」、「遅延再生」、「呼称」、「文章理解」、「読み書き」、「図形模写(構成能力)」などの11項目で構成され、それぞれ正解すると得点が加算され、すべて正解すると合計30点となる。
・文章を書いたり、指示通りに紙を折ったり、2つの重なり合う五角形の図を模写する。

(問題 81) Tongue Coating Index (TCI)で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 舌表面を9分割する。
b 4段階のスコアで評価する。
c 舌苔の付着程度の評価法である。
d TCIは80%以上を衛生状態不良とする。

選択肢考察

答え a c

○ a 舌表面を9分割する。
× b 舌苔の付着程度を3段階のスコアで評価する。
○ c 舌苔の付着程度の評価法である。
× d TCIは50%以上を口腔衛生状態不良とする。

ポイント

<Tongue Coating Index (TCI)>

・舌苔の付着程度の評価法である。
・舌表面を9分割、それぞれのエリアに対して舌苔の付着程度を3段階(スコア0、1または2)で評価し、合計スコアを算出する。
・TCIが50%以上(合計スコアが9点以上)ならば口腔衛生状態不良とする。

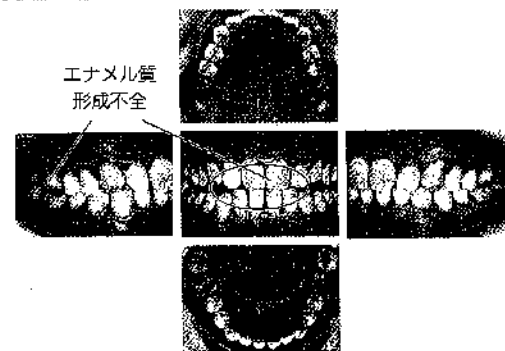
(問題 82) 18歳の男性。上顎中切歯の粗造と着色を主訴として来院した。上顎両側中切歯にコンポジットレジン修復を行った後の口腔内写真(別冊午前No.22)を別に示す。3歳まで家族全員が井戸水を飲用していたという。既往歴に特記事項はない。

- 考えられるのはどれか。1つ選べ。
a う蝕
b 歯のフッ素症
c 象牙質形成不全症
d テトラサイクリンの副作用

別冊 午前 No.22 写真

選択肢考察

答え b



× a 口腔内写真からエナメル質形成不全はみられるが、う蝕はみられない。
○ b 3歳まで家族全員が井戸水を飲用しており、前歯部以外にも第一大臼歯にエナメル質形成不全がみられること、3歳以降に石灰化が開始する歯にはエナメル質形成不全がみられないことから、歯のフッ素症が考えられる。
× c 象牙質形成不全症では全顎にわたりオパール色の歯の変色が見られる。
× d テトラサイクリンの副作用では帯状で褐色の歯の変色がみられる。

ポイント

<歯のフッ素症>
歯の形成期に許容量以上のフッ化物を含む飲料水の長期摂取により生じるエナメル質形成不全である。

(問題 83) 歯肉のマッサージを目的としたブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a フォーンズ法
b スクラビング法
c スティルマン法
d チャーターズ法

選択肢考察

答え c d

× a、× b 毛先で歯面のプラークを除去するブラッシング法である。
○ c 毛先を根尖方向に向けて歯ブラシを歯頸部に当て、歯頸部歯肉を圧迫しマッサージするブラッシング法である。
○ d 毛先を切縁方向に向けて歯ブラシを歯頸部に当て、歯間乳頭歯肉を圧迫しマッサージするブラッシング法である。

ポイント

<歯肉のマッサージを目的としたブラッシング法>

- ・スティルマン法
・チャーターズ法

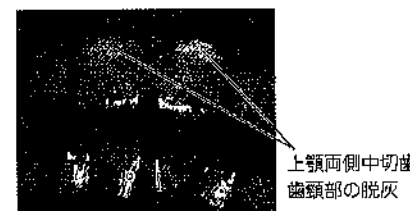
(問題 84) 8歳の男児。上顎前歯の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.23)を別に示す。

- 適切な対応はどれか。2つ選べ。
a ブラッシング指導
b エナメル質表面層の研磨
c フッ化ジアンミン銀溶液塗布
d フッ化物溶液による洗口指導

別冊 午前 No.23 写真

選択肢考察

答え a d



○ a 上顎両側中切歯歯頸部に初期脱灰がみられるため、まずはブラッシング指導を行う必要がある。
× b 初期脱灰に対して割合研磨はしない。
× c 永久前歯に対して黒く着色するフッ化ジアンミン銀溶液は塗布しない。
○ d 再石灰化することを期待してフッ化物溶液による洗口指導を行う。

ポイント

初期脱灰は再石灰化する可能性があるため、ブラッシング指導を行った後にフッ化物の応用を推奨する。

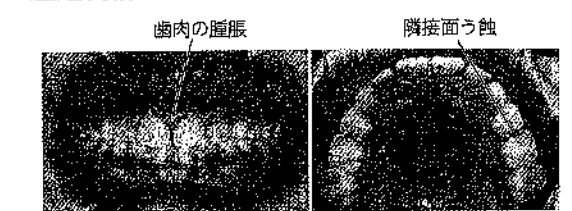
(問題 85) 9歳の男児。歯科健康診査を希望して来院した。既往歴と服薬歴に特記すべきことはない。初診時の口腔内写真(別冊午前No.24)を別に示す。

- 考慮すべき所見はどれか。2つ選べ。
a 過蓋咬合
b 歯肉の炎症
c 隣接面う蝕
d 歯の萌出遅延

別冊 午前 No.24 写真

選択肢考察

答え b c



- × a 過蓋咬合はみられない。
○ b 上顎両側中切歯歯肉に腫脹がみられる。
○ c 上顎左側第一乳臼歯遠心部にう蝕がみられる。
× d 9歳という年齢から歯の萌出遅延はみられない。

ポイント

所見問題ではう蝕、歯周疾患、咬合関係の3つを確認すること。

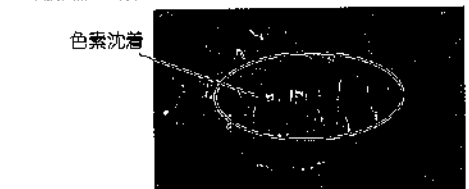
(問題 86) 55歳の男性。職場の歯科健康診断で歯の着色を指摘されて来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.25)を別に示す。

- 考えられる原因はどれか。1つ選べ。
a 喫煙
b カドミウム
c 色素産生菌
d 硫酸ミスト

別冊 午前 No.25 写真

選択肢考察

答え a



○ a 口腔内写真から茶褐色の歯の着色がみられるため、喫煙が原因と考えられる。
× b 口腔内写真からカドミウムリングはみられない。
× c 色素産生菌による歯の着色は歯頸部に沿ってみられることが多い。口腔内写真では歯の着色が切縁部までみられるため考えにくい。
× d 硫酸ミストにより酸蝕症がみられることはあるが、茶褐色の歯の着色の原因とは考えにくい。

ポイント

喫煙や飲食物(コーヒーや紅茶など)は歯の着色の原因となる。

(問題 87) 自宅療養している慢性閉塞性肺疾患の高齢患者から訪問歯科診療の依頼があった。患者は鼻孔カニューレを用いて呼吸管理が行われている。歯科治療中に継続的に使用するべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 脳血流計
- b モニタ心電図
- c スパイロメータ
- d パルスオキシメータ

選択肢考察 答え b d

- × a 脳血流計は脳血管疾患の既往がある患者などの歯科治療中に用いられるが、慢性閉塞性肺疾患患者に対して用いる必要はない。
- b モニタ心電図では心拍数や動脈血酸素飽和度がわかるため、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など）患者の歯科治療中に継続的に使用するべきである。
- × c スパイロメータは肺機能検査が行えるため慢性閉塞性肺疾患患者に対して用いられるが、肺機能検査は歯科治療を行う前段階で行うべきであり、歯科治療中に継続的に行うものではない。
- d パルスオキシメータは脈拍数や動脈血酸素飽和度の測定に用いられ、慢性閉塞性肺疾患患者の歯科治療中に継続的に使用するべきである。

ポイント

<慢性閉塞性肺疾患 (COPD: chronic obstructive pulmonary disease)>
慢性気管支炎や肺気腫とよばれてきた疾患の総称で、喫煙を主体とする有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患である。最大の原因は喫煙であり、喫煙者の15~20%がCOPDを発症するといわれている。タバコの煙を吸入することで肺の中の気管支に炎症が生じ、咳や痰が出たり、気管支が細くなったりすることで空気の流れが低下する。また、肺泡が破壊され肺気腫になると、酸素の取り込みや二酸化炭素を排出する機能が低下する。

(問題 88) WHO が示した開発途上国における口腔保健戦略はどれか。2つ選べ。

- a 歯科健康教育
- b 砂糖摂取制限
- c 口腔健康格差の是正
- d フッ化物歯面塗布事業

選択肢考察 答え a c

- a セルフケアの基本となる歯科健康教育は基本戦略の1つである。
- × b 砂糖摂取制限はう蝕予防の観点から重要ではあるが、開発途上国にとって砂糖は重要な栄養源であるため、う蝕予防のために砂糖摂取を制限することはできない。
- c 口腔保健の不均衡や口腔保健の不公平の是正は基本戦略の1つである。
- × d フッ化物歯面塗布事業は歯科専門医が必要であり、また費用がかかるため、開発途上国における口腔保健戦略としては適切でない。

ポイント

開発途上国の特性を考慮しながら口腔保健戦略を考える。

(問題 89) 高齢者総合機能評価 (CGA) の評価項目はどれか。2つ選べ。

- a IADL
- b 注意機能
- c 認知機能
- d 口腔関連 QOL

選択肢考察 答え a c

- a, ○ c 高齢者総合機能評価 (Comprehensive geriatric assessment: CGA) は高齢者の状態について医学的評価だけでなく、生活機能、精神機能、社会・環境の3つの面から総合的にとらえて問題を整理して評価を行うことで、QOLを向上させようとする方法である。IADLや認知機能、コミュニケーション能力はCGAの評価項目である。
- × b 注意機能は Trail Making Test (TMT) で評価する。
- × d 口腔関連 QOL は General Oral Health Assessment Index (GOHAI) や Oral Health Impact Profile (OHIP) で評価する。

ポイント

<高齢者総合機能評価の評価項目>
・ADL (日常生活動作)
・IADL (手段的日常生活動作)
・認知機能: 認知症など、精神面に関する評価
・コミュニケーション能力: 視力、聴力、構音、言語、理解などの評価
・情緒、気分、幸福度
・社会的環境、家庭環境: 家族構成や経済状況、介護認定の有無などに関する評価

(問題 90) Barthel Index (BI) で評価する項目はどれか。2つ選べ。

- a 入浴
- b 階段の昇降
- c 電話の使用
- d 外出時の移動

選択肢考察 答え a b

- a, ○ b 入浴や階段の昇降は日常生活動作 (ADL: Activities of Daily Living) の評価項目のため、Barthel Index (BI) で評価する項目である。
- × c, × d 電話の使用や外出時の移動は手段的日常生活動作 (IADL: Instrumental Activity of Daily Living) の評価項目である。

ポイント

<日常生活動作 (ADL)>
食事、移乗 (移動)、整容、トイレ、入浴、歩行、階段昇降、更衣、排便、排尿

(問題 91) ミュータンスレンサ球菌のブドウ糖転移酵素の基質はどれか。1つ選べ。

- a グルコース
- b マルトース
- c スクロース
- d フルクトース

選択肢考察 答え c

- × a グルコース (ブドウ糖) は不溶性グルカンの構成分子だが、ブドウ糖転移酵素の基質とはならない。
- × b マルトース (麦芽糖) はグルコース2分子からなる二糖である。ブドウ糖転移酵素の基質とはならない。
- c スクロース (ショ糖) はグルコース (ブドウ糖) とフルクトース (果糖) からなる二糖である。ブドウ糖転移酵素の触媒反応でグルコース分子のみが重合して不溶性グルカンが合成される。
- × d フルクトースはグルコースと同様に六炭糖の多糖である。ブドウ糖転移酵素の基質とはならない。

ポイント

ミュータンスレンサ球菌は不溶性グルカン合成が活発である。不溶性グルカンは口腔バイオフィームであるデンタルプラークの間質となる。不溶性グルカン合成はミュータンスレンサ球菌のもつブドウ糖転移酵素 (グルコシルトランスフェラーゼ) の酵素反応によって合成される。

(問題 92) 離乳期に摂食嚥下機能を獲得する段階の口唇の特徴的な動きを示す。

- ①飲むときは閉じる。
- ②ほとんど動かない。
- ③左右同時に伸縮する。
- ④片側に交互に伸縮する。

成長に伴い観察されるのはどれか。1つ選べ。

- a ① → ② → ③ → ④
- b ① → ② → ④ → ③
- c ② → ① → ③ → ④
- d ② → ① → ④ → ⑤

選択肢考察 答え c

- × a, × b, ○ c, × d 哺乳期では口唇は半開きでほとんど動かず (②)、離乳初期になると飲むときは口唇を閉じる (①) ようになる。離乳中期になると左右同時に伸縮する (③) ことができ、離乳後期になると片側に交互に伸縮できる (④) ようになる。

ポイント

離乳完了期には口唇は意識的に自由に形態が変えられるようになる。

(問題 93) NST における各職種と役割の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 言語聴覚士 —— 食器の調整
- b 歯科衛生士 —— 嚥下訓練
- c 作業療法士 —— 歩行訓練
- d 理学療法士 —— 姿勢の調整

選択肢考察 答え b d

- × a 言語聴覚士は歯科医師の指示のもと嚥下訓練などを行うが、食器の調整は作業療法士の役割である。
- b 歯科衛生士は歯科医師の指示のもと嚥下訓練などを行う。
- × c 作業療法士は利き手交換の訓練などを行うが、歩行訓練は理学療法士の役割である。
- d 理学療法士は姿勢の調整などを行う。

ポイント

<NST における歯科衛生士の役割>
・経口摂取の推進
・入院患者の口腔衛生状態の改善

(問題 94) 高齢者の誤嚥を防止する対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頸部を前突させる。
- b 一口量を少なくする。
- c 食事ペースを速くする。
- d 液体にはとろみをつける。

選択肢考察 答え b d

- × a 頸部を後屈 (前突) させると誤嚥しやすくなるため、頸部は前屈させる。
- b 一口量が多いと誤嚥しやすくなるため少なくする。
- × c 食事ペースを速くすると口に詰め込むようになるため、誤嚥するリスクが高くなる。
- d 液体は誤嚥しやすいため片栗粉などでとろみをつけることが適切である。

ポイント

介護施設で提供されることがあるきざみ食については、口腔内に運びにくい、口腔内で食塊をつくりにくい、こぼれやすい、咽頭に残留しやすいなどの理由で、嚥下障害のあるときには適さないといわれている。

(問題 95) 病診連携の目的はどれか。2つ選べ。

- a 医療の効率的提供
- b 専門的医療の普及
- c 医療機関の情報開示
- d 高額医療機器の共有

選択肢考察 答え a d

- a 効率的な医療の提供が病診連携の目的である。
- × b 専門的医療を普及することが病診連携の目的ではない。
- × c 診療情報を開示することが病診連携の目的ではない。
- d 高額医療機器を用いた検査、治療を病院が行うことで、より正確な診断が可能となる。

ポイント

<病診連携>
・患者によりよい医療を提供する。
・高額医療機器などの資源を共有できる。
・機能を活性化させ、地域医療を充実できる。
・連携促進のために診療報酬の優遇措置がある。
・開放型病院を利用して、地域の医師が診療できる。

(問題 96) 車椅子を使用している要介護高齢者をデンタルチェアに移乗する際の対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a フットレストは持ち上げる。
- b 介助者は腰を高くして患者を移動させる。
- c 介助者の両腕を患者の脇に入れて移動させる。
- d デンタルチェアは車椅子のシートより上げておく。

選択肢考察

答え a c

- a フットレストは持ち上げる。
- × b 介助者は腰を低くして患者を移動させる。
- c 介助者の両腕を患者の脇に入れて移動させる。
- × d デンタルチェアは車椅子のシートより下げておく。

ポイント

<車椅子患者の補助>

- ①フットレストは持ち上げる。
- ②介助者は腰を低くする。
- ③デンタルチェアは車椅子のシートより下げておく。
- ④患者の左側にユニットがくるように車椅子を寄せる。
- ⑤介助者の両腕を患者の脇に入れて移動させる。
- ⑥移乗する前にブレーキをかける。
- ⑦立位が可能な場合は自分で移乗してもらう。
- ⑧移乗後は深く座ってもらう。

(問題 97) ある装置の写真(別冊午前 No.26)を別に示す。

この装置を使用して吸引するのはどれか。2つ選べ。

- a 唾液
- b 注水噴霧
- c 抜歯時の出血
- d 切削時のエアロゾル

別冊 午前 No.26 写真

選択肢考察

答え b d



口腔外バキューム

- × a 写真は口腔外バキューム装置である。唾液は口腔内バキュームで吸引する。
- b 注水噴霧は口腔外にみられるので、口腔外バキュームを使用して吸引する。
- × c 抜歯時の出血は口腔内バキュームで吸引する。
- d 切削時のエアロゾルは口腔外にみられるので、口腔外バキュームを使用して吸引する。

ポイント

口腔外バキュームは院内感染防止策として有効である。

(問題 98) 36歳の女性。下顎右側犬歯部の審美障害を主訴として来院した。診査の結果、光重合型コンポジットレジン充填を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.27)を別に示す。

準備する器材はどれか。2つ選べ。

- a セパレーター
- b パーニッシュ
- c サービカルマトリックス
- d セルロイドストリップス

別冊 午前 No.27 写真

選択肢考察

答え a d



下顎右側犬歯の近心隣接面にう蝕がみられる

- a、○ d 犬歯の近心隣接面にう蝕がみられるので、3級窩洞となる。3級窩洞の場合は、1級窩洞で準備する器材にセパレーター、セルロイドストリップス、ウェッジなどが加わる。セパレーターで歯間分離を行い、セルロイドストリップスでレジンを押圧する。
- × b パーニッシュはグラスアイオノマーセメント修復の際に準備する。
- × c サービカルマトリックスは隔壁用器材であるが、5級窩洞の修復時に用いられる。

ポイント

<3級窩洞の光重合型コンポジットレジン修復で準備する器材>

- ①照射器
- ②セルロイドストリップス
- ③ウェッジ
- ④セパレーター
- ⑤切削器具
- ⑥裏層材
- ⑦エッチング材
- ⑧ボンディング材
- ⑨シールドガイド
- ⑩CRシリンジ
- ⑪成形充填器
- ⑫咬合紙
- ⑬研磨用器具

(問題 99) A-スプリントによる固定法で準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 既製レジン冠
- b ステンレスワイヤー
- c 接着性レジンセメント
- d オクルーザルスプリント

選択肢考察

答え b c

- × a 連続レジン冠固定の際に用いる。
- b、○ c 固定歯から隣在歯の数本の臼歯咬合面に窩洞形成を行い、その窩洞の中に補強線(ステンレスワイヤー)を埋入し、即時重合レジンあるいは接着性レジンセメントで固定する方法をA-スプリントという。
- × d 印象採得して製作するアクリルレジン製のマウスピースである。ブラキシズムの治療などに用いる。

ポイント

<歯周基本治療における暫間固定>

歯の動揺の軽減、咬合圧の分散、歯周組織の安静を図る。

外側性固定法	可撤式固定法	・可撤性義歯 ・ホーレー型固定 ・オクルーザルスプリント
	固定式固定法	・ワイヤー結紮レジン固定法 ・エナメルボンディングレジン固定(接着性レジン固定) ・舌面板による接着性レジン固定
内側性固定法	固定式	・A-スプリント(補強線を埋入)
プロビジョナル固定(プロビジョナルレストレーション)		・連続レジン冠固定(即時重合レジン=アクリルレジン)

(問題 100) 62歳の女性。下顎片側透離端欠損に対して部分床義歯を製作した。完成した義歯の写真(別冊午前 No.28)を別に示す。

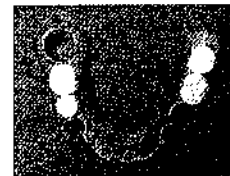
装着時に準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ゴードンプライヤー
- b パラフィンワックス
- c ホワイトシリコーン
- d カーボランダムポイント

別冊 午前 No.28 写真

選択肢考察

答え c d



ノンメタルクラスプデンチャー

- × a 部分床義歯の場合にはクラスプを屈曲するためにプライヤーを準備するが、今回はノンメタルクラスプデンチャーなのでプライヤーは必要ない。
- × b パラフィンワックスは咬合採得の時に使用する。
- c ホワイトシリコーン(床適合検査材)は義歯床粘膜面の適合性を診査するために使用する。
- d カーボランダムポイントを用いて、人工歯を削合し咬合調整を行う。

ポイント

<義歯装着時に準備する器具>

- ①咬合紙、咬合紙ホルダー
- ②カーボランダムポイント
- ③スタンパー(技工用カーバイドバー)
- ④ホワイトシリコーン(床適合検査材)
- ⑤PIP(プレッシャーインジケーターペースト)
- ⑥プライヤー(→クラスプのある部分床義歯の場合のみ)

(問題 101) 30歳の男性。上顎右側中切歯の歯肉の腫脹と疼痛を主訴として来院した。歯槽膿瘍を切開することになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.29A)とエックス線画像(別冊午前 No.29B)を別に示す。

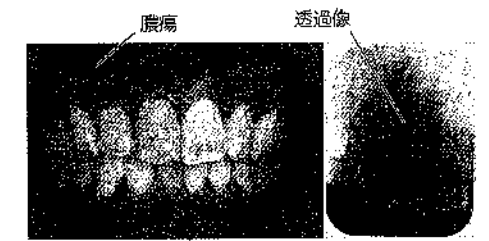
準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 持針器
- b 消息子
- c 尖刃刀
- d 破骨鉗子

別冊 午前 No.29A、B 写真

選択肢考察

答え b c



- × a 排膿のための切開なので縫合しない。持針器は不要である。
- b、○ c 切開・排膿では、ゾンデ(消息子)、メス(尖刃刀)、鋭匙、シリンジ、ドレーンガーゼなどが必要である。
- × d 破骨鉗子は歯槽骨整形や顎骨内に生じる嚢胞(歯根嚢胞、含歯性嚢胞など)の摘出に用いる。

ポイント

<切開・排膿での準備器具>

局所麻酔用器具一式、ゾンデ(消息子)、メス(尖刃刀)、鋭匙、シリンジ、ドレーンガーゼなど。

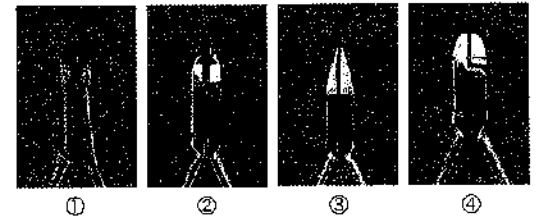
(問題 102) 器具の写真(別冊午前 No.30)を別に示す。プライヤーと用途の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①——リガチャーワイヤーの切断
- b ②——ラウンドワイヤーの屈曲
- c ③——角線へのループ付与
- d ④——アーチワイヤーの屈曲

別冊 午前 No.30 写真

選択肢考察

答え c d



- × a ①はディスタルエンドカッターである。口腔内でのアーチワイヤーの切断に用いる。
- × b ②はピンアンドリガチャーカッターである。リガチャーワイヤー、ロックピンなどの細いワイヤーの切断に用いる。

- c ③はツイードループベンディングプライヤーである。角線（レクトアンギュラーワイヤー）にループを付与するのに用いる。
- d ④はツイードアーチベンディングプライヤーである。角線（レクトアンギュラーワイヤー）の屈曲、アーチワイヤーの屈曲に用いる。

ポイント

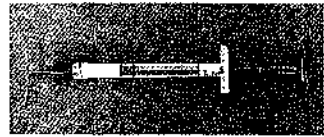
<ディスタルエンドカッター>
矯正用アーチワイヤーの末端を口腔内で切断するのに使用する。

【問題 103】 根管充填材の写真（別冊午前 No. 31A）と器具の写真（別冊午前 No. 31B）を別に示す。根管充填する際に用いるのはどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

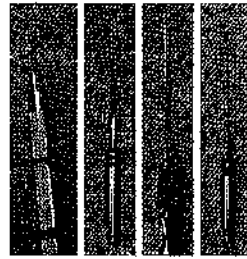
別冊 午前 No.31A, B 写真

選択肢考察

答え d



ヨードホルム・水酸化カルシウム糊剤



- ×a ①はスプレッターである。ガッタパーチャポイントで側方加圧根管充填する際に用いる。
- ×b ②はエンジンリーマーである。マイクロモーターに装着して用いるリーマーである。
- ×c ③はクレンザーである。抜髄する際に用いる。
- d ④はレンツ口である。写真 A はヨードホルム・水酸化カルシウム糊剤である。乳歯の歯内療法における根管充填で用いられる。レンツ口はこの糊剤を根管内に充填する際に用いる。

ポイント

<ヨードホルム・水酸化カルシウム糊剤>
・乳歯の歯内療法における根管充填材である。
・乳歯の生理的歯根吸収に伴って吸収される。
・適度な持続性殺菌作用がある。
・エックス線不透透性である。
・レンツ口を用いて根管内に充填する。

【問題 104】 リハビリテーションで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 一次予防に該当する。
- b ADL 能力の向上を目指す。
- c 歯科医師が最終目標を設定する。
- d 身体機能の正常化を主目的とする。

選択肢考察

答え b

- ×a リハビリテーションは三次予防に該当する。
- b リハビリテーションはADL（日常生活動作）能力の向上が目標である。

- ×c リハビリテーションは患者が行うことであり、歯科医師が最終目標を設定するわけではない。
- ×d 身体機能の正常化は治療の目的である。

ポイント

運動麻痺などの機能障害にアプローチして少しでも麻痺などを軽減する努力を行うと同時に、麻痺があるなりに動作練習してADL（日常生活動作）能力を高める。

【問題 105】 歯科用デジタルエックス線撮影システムのセンサーの写真（別冊午前 No. 32）を別に示す。

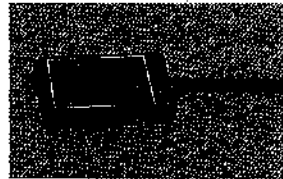
このシステムについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a スキャナーが不要である。
- b 撮影後直ちに画像が表示される。
- c センサーの大きさはフィルムより大きい。
- d レーザー光で情報を電気信号に変換する。

別冊 午前 No.32 写真

選択肢考察

答え a b



CCD センサー

- a 歯科用デジタルエックス線撮影システムには、CCD 方式と IP 方式がある。写真は CCD センサーである。スキャナーが必要なのは IP 方式で、CCD 方式では不要である。
- b CCD 方式は検出器とパソコンが直結しているため、撮影直後に画像が描出される。
- ×c センサーの大きさはフィルムより小さいが、厚くて、硬い。
- ×d レーザー光を用いるのは IP 方式である。

ポイント

< CCD 方式と IP 方式の違い >

	CCD 方式 (荷電結合素子)	IP 方式 (輝尽性蛍光体)
即時性 (撮影直後に画像表示可能)	○	×
装着がパソコンに直結	○	×
センサーの厚さ	厚い	薄い
センサーの大きさ (フィルムに比べて)	小さい	同じ
センサーの硬さ	硬い	軟らかい

【問題 106】 2 歳児に対する胸骨圧迫で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 片手で圧迫する。
- b 1 分間に 70 回圧迫する。
- c 呼吸の確認は 10 秒以内に行う。
- d 胸骨が約 5cm 沈む程度圧迫する。

選択肢考察

答え a c

- a 6 歳以下の場合、片手で圧迫する場合がある。
- ×b 1 分間に 100 ~ 120 回圧迫する。

- c 呼吸の確認は 10 秒以内に行う。
- ×d 胸の厚さの 1/3 まで圧迫する。成人の場合は約 5cm 沈む程度圧迫する。

ポイント

<小児の胸骨圧迫心マッサージ>
・胸の厚さの 1/3 まで圧迫する。
・1 分間に 100 ~ 120 回圧迫する。
・片手で圧迫する場合がある。
・胸骨圧迫 30 回と人工呼吸 2 回を交互に行う。
・剣状突起を圧迫しないように注意する。

【問題 107】 75 歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。嚥下機能を評価するために行った検査の写真（別冊午前 No. 33）を別に示す。

この検査法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 水分は温める。
- b 反復嚥下を促す。
- c 30mL を嚥下させる。
- d 最大 2 施行繰り返す。

別冊 午前 No.33 写真

選択肢考察

答え b d



改訂水飲みテスト

- ×a、×c 改訂水飲みテストでは冷水 3mL を用いる。
- b 改訂水飲みテストでは 1 回の嚥下後にさらに反復嚥下を促し評価する。
- d 改訂水飲みテストでは評価基準が 4 点以上のとき、最大 2 施行繰り返す。

ポイント

<改訂水飲みテストの方法>

- ・冷水 3mL をシリンジで口腔底に注ぎ嚥下を指示する。
- ・1 回の嚥下後にさらに反復嚥下を促し評価する。
- ・評価基準が 4 点以上のとき、最大 2 施行繰り返し、最も悪い嚥下活動を評価する。

【問題 108】 嚥下の口腔期の障害に対する構音訓練で有効なのはどれか。1つ選べ。

- a /ga/
- b /pa/
- c /ta/
- d /ra/

選択肢考察

答え a

- a 嚥下の口腔期に障害があるときは /ga/ や /ka/ が有効である。
- ×b、×c、×d 嚥下の準備期に障害があるときは /ma/ や /pa/、/ta/、/ra/ が有効である。

ポイント

<構音訓練>

- ・構音訓練することで嚥下に関連する器官の機能改善につながる。
- ・準備期に障害があるときは構音点が口唇である「バ行」「マ行」、構音点が舌尖、歯頸部、硬口蓋である「タ行」「ラ行」の発音が有効である。
- ・口腔期に障害があるときは構音点が舌根と軟口蓋である「カ行」「ガ行」の発音が有効である。

【問題 109】 スマイルケア食で飲み込みに問題がある際に選択するのはどれか。2つ選べ。

- a スマイルケア食 1
- b スマイルケア食 2
- c スマイルケア食 3
- d スマイルケア食 4

選択肢考察

答え a b

- a スマイルケア食 1 は「口の中で少しつぶして飲み込める性状のもの」で飲み込みに問題がある際に選択する。
- b スマイルケア食 2 は「少しそしゃくして飲み込める性状のもの」または「かまなくてよい食品」で飲み込みに問題がある際または嘔吐することに問題がある際に選択する。
- ×c スマイルケア食 3 は「舌でつぶせる食品」で嚥下することに問題がある際に選択する。
- ×d スマイルケア食 4 は「歯ぐきでつぶせる食品」で嘔吐することに問題がある際に選択する。

ポイント

農林水産省は介護食品をスマイルケア食と名称つけ分類している。

【問題 110】 78 歳の女性。食物が飲み込みにくいことを主訴として来院した。主訴を改善するために口腔内に装置を装着することとした。製作した装置の写真（別冊午前 No. 34）を別に示す。

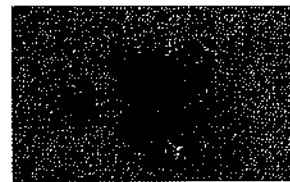
装置の調整に有用な検査法はどれか。1つ選べ。

- a 筋電図検査
- b ブローイング
- c パラトグラム検査
- d 反復唾液嚥下テスト

別冊 午前 No.34 写真

選択肢考察

答え b



軟口蓋挙上装置 (PLP)

- ×a 筋電図検査では筋の活動様式や活動量、活動時間などを検査するが、鼻咽腔閉鎖機能の検査ではない。
- b ブローイングは鼻咽腔閉鎖機能の検査のため、軟口蓋挙上装置 (PLP) の調整に有用な検査法である。

- × c パラトグラム検査は舌が口蓋に接触する範囲を評価する検査であり、鼻咽腔閉鎖機能の検査ではない。
- × d 反復唾液嚥下テストは摂食嚥下障害のスクリーニング検査であり、鼻咽腔閉鎖機能の検査ではない。

ポイント

<パラタルリフト (PLP)>

嚥下障害で鼻咽腔閉鎖機能不全を伴うときに有効である。硬口蓋を覆う床の部分、軟口蓋を後上方に挙上するための挙上子と、これらをつなぐ連結部からなる。軟口蓋部には床を大臼歯部に固定するための維持装置が組み込まれている。

解説 (午後問題)

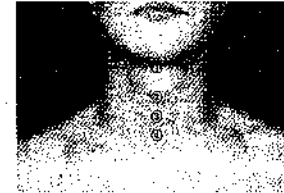
(問題 1) 前頸部の写真(別冊午後 No.1)を別に示す。甲状軟骨相当部はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.1 写真

選択肢考察

答え b



× a、○ b、× c、× d ②は“のど仏”である。“のど仏”とは甲状軟骨の前方にみられる喉頭隆起のことである。甲状軟骨の下(③)には輪状軟骨がある。

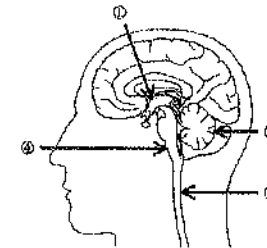
ポイント

喉頭は甲状軟骨と輪状軟骨が縦につながった管状の構造になっている。

(問題 2) 中枢神経の模式図を示す。

体温調節中枢が存在するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え a

- a ①は間脳(視床、視床下部)である。視床下部には体温調節中枢、摂食中枢、飲水中枢、睡眠中枢が存在する。
- × b ②は小脳である。小脳は平衡感覚や筋の緊張調節など全身運動の統合を行う。
- × c ③は脊髄である。脊髄は反射の中枢である。
- × d ④は延髄である。延髄は生命維持に重要な自律神経の中枢で、呼吸中枢、血圧調節中枢、唾液分泌中枢、嘔吐中枢、心臓抑制中枢、血管運動中枢などが存在する。

ポイント

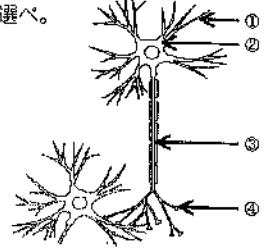
<中枢神経の分類とその機能>

延髄	生命維持に重要な自律神経の中枢。呼吸中枢、血圧調節中枢、唾液分泌中枢、嘔吐中枢、心臓抑制中枢、血管運動中枢などがある。
小脳	平衡感覚や筋の緊張調節など全身運動の統合を行う。
中脳	姿勢反射をつかさどり、身体の平衡を保持する。
間脳	視床と視床下部がある。視床下部は自律神経の統合中枢で、体温調節中枢、摂食中枢、飲水中枢、睡眠中枢が存在する。
大脳	運動、体性感覚、言語、味覚、連合など、新皮質の各部分で機能が局在する。
脊髄	反射の中枢

(問題 3) 神経細胞の模式図を示す。

樹状突起はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え a

- a ①は樹状突起である。
- × b ②は細胞体である。
- × c ③はランビエの絞輪で、跳躍伝導が起こる部位である。
- × d ④は軸索末端である。

ポイント

<神経細胞>

ニューロンともよばれ、細胞体、樹状突起、軸索(神経線維)からなる。

(問題 4) 上顎前歯の舌側面を図に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 介在結節
- b 基底結節
- c 中心結節
- d カラベリー結節



選択肢考察

答え b

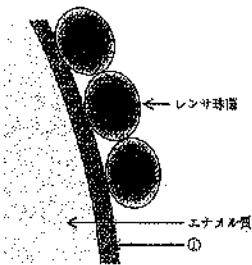
- × a 介在結節とは上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節である。
- b 基底結節とは上顎前歯の舌側面歯頸隆線の発育が明瞭な結節である。
- × c 中心結節とは下顎小臼歯の咬合面にみられる結節である。
- × d カラベリー結節とは上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

ポイント

<歯にみられる結節>

介在結節	上顎第一小臼歯の近心辺縁隆線にみられる結節。
基底結節	上顎前歯の舌側面歯頸隆線の発育が明瞭な結節。上顎犬歯で著明である。
中心結節	下顎小臼歯の咬合面にみられる結節。
カラベリー結節	上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節。
臼歯結節	上下顎乳臼歯頰面の近心歯頸部付近にみられる結節。
臼後結節	上下顎智歯の遠心隣接面にみられる小結節。
切歯結節	上顎中切歯の舌側にみられる結節。基底結節が大きくなったもの。

〔問題 5〕 口腔細菌の歯面への初期定着の状況を模式図に示す。



- ①について正しいのはどれか。1つ選べ。
- a 主成分はリポ多糖である。
 - b ブラッシングで除去できる。
 - c 厚さは10~20μmである。
 - d 細菌や有機物質を吸着しやすい。

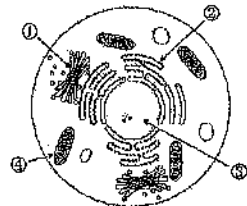
選択肢考察 **答え d**

- × a ①はペリクルを示している。主成分は唾液由来の糖タンパクで細胞を含まない有機性薄膜である。
- × b ペリクルはブラッシングでは除去できないが、PMTCによって除去できる。
- × c ペリクルは均一無構造で、厚さは1μmである。
- d ペリクルは細菌や有機物質を吸着しやすいので、歯垢形成の場となる。

ポイント
ペリクルは酸による脱灰から歯面を守るはたらきがある。

〔問題 6〕 細胞の模式図を示す。タンパク質を合成するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



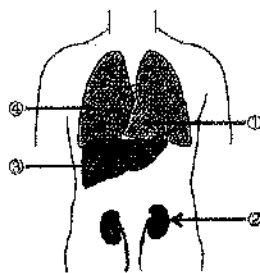
選択肢考察 **答え b**

- × a ①はゴルジ装置である。粗面小胞体で生合成され転送されてきた物質を加工、濃縮する。
- b ②は粗面小胞体である。リボソームが付着しており、tRNAの遺伝情報にしたがってタンパク質を合成する場である。
- × c ③は核である。核にはDNA、RNA、核タンパク質が含まれる。
- × d ④はミトコンドリアである。生体エネルギー源であるATP〈アデノシン三リン酸〉を産生し、クエン酸回路と電子伝達系が存在する。

ポイント
粗面小胞体の表面にはリボソームが付着している。

〔問題 7〕 内臓の模式図を示す。体液の電解質濃度を一定に保つのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 **答え b**

- × a ①は心臓である。心臓は循環器である。
- b ②は腎臓である。腎臓は尿の生成と関連して、体液中の電解質濃度の調節を尿管などからの再吸収によって調節している。
- × c ③は肝臓である。肝臓は解毒やグリコーゲンの貯蔵や様々な代謝などを行う臓器である。
- × d ④は肺である。肺は呼吸器である。

ポイント
＜腎臓の機能＞
腎臓からは尿中に水、電解質、各種老廃物などを排泄している。

〔問題 8〕 再生能力が強いのはどれか。1つ選べ。

- a 心筋
- b 表皮
- c 横紋筋
- d 脳神経

選択肢考察 **答え b**

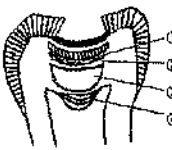
- × a 心筋は再生しない。
- b 表皮や粘膜上皮の細胞、結合組織、骨組織、血液細胞などは再生能力が強い。
- × c 横紋筋は再生能力が弱い。
- × d 脳神経は再生しない。

ポイント
＜再生＞

再生能力のないもの	脳神経細胞、心筋細胞
再生能力の弱いもの	肝臓、膵臓、腎臓、甲状腺などの実質細胞
再生能力が強いもの	結合組織、骨組織、表皮や粘膜上皮の細胞、血液細胞など

〔問題 9〕 う蝕の模式図を示す。生活反応層はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察 **答え c**

- × a ①は混濁層である。
- × b ②は透明層である。
- c ③は生活反応層である。

× d ④はう蝕ではなく、歯髄壁に形成された第三象牙質である。

ポイント
＜象牙質う蝕＞

多歯層	象牙質基質の軟化、崩壊、多数の細菌の存在。
霉菌層	象牙質基質に脱灰がみられる。象牙細管に少数の細菌の侵入。
先駆菌層	象牙質基質の変化はほとんどない。象牙細管に少数の細菌の侵入。
混濁層	象牙細管の線維に脂肪変性が生じる。細菌の侵入はない。
透明層	トームス線維が石灰化されることによって象牙細管が閉鎖され、透明に見える。
生活反応層	歯髄の生活反応として、歯髄壁に第三象牙質を形成する。

〔問題 10〕 ニコルスキー現象がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌癌
- b 天疱瘡
- c 帯状疱疹
- d エナメル上皮腫

選択肢考察 **答え b**

- × a 舌癌は表面に潰瘍を形成し、周囲組織に硬結を触れ、浸潤性に発育するが、ニコルスキー現象はみられない。
- b 天疱瘡は自己免疫疾患の1つで、皮膚や粘膜に水疱を形成する。一見正常にみえる皮膚や粘膜を擦過すると容易に剥離する現象（ニコルスキー現象）がみられる。
- × c 帯状疱疹は水痘一帯状疱疹ウイルス〈VZV〉が原因で、口唇、歯肉、舌、頬粘膜に小水疱がみられるが、ニコルスキー現象はみられない。
- × d エナメル上皮腫は良性歯源性腫瘍の1つである。顎骨の膨隆はみられるが、ニコルスキー現象はみられない。

ポイント
＜ニコルスキー現象＞
一見正常にみえる皮膚や粘膜に軽度の圧力をかけると表皮が剥離し、びらんを生じる現象。この現象は天疱瘡でみられる。

〔問題 11〕 プリオンの本体はどれか。1つ選べ。

- a 糖質
- b 核酸
- c 脂質
- d タンパク質

選択肢考察 **答え d**

- × a、× b、× c、○ d プリオンは「感染性異常タンパク質 (proteinaceous infectious particle)」のことをいう。したがって、プリオンはタンパク質である。

ポイント
＜プリオン (prion)＞
・タンパク質性感染性粒子 (proteinaceous infectious particle) を縮めた造語。

・プリオンはタンパク質だけからなる病原物質である。
・プリオンにはDNAやRNAなどの核酸はない。

〔問題 12〕 *Streptococcus mutans* の産生する不溶性グルカンで正しいのはどれか。1つ選べ。

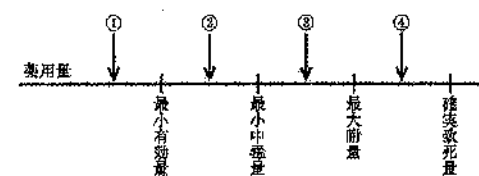
- a スクロースが連結している。
- b デキストラナーゼで合成される。
- c グルコースを基質として合成する。
- d 不溶性はα-1-3結合の存在による。

選択肢考察 **答え d**

- × a グルカンはグルコースが連結している。
- × b グルコシルトランスフェラーゼで合成される。
- × c スクロース (ショ糖) を基質として合成する。
- d グルカンはα-1,6結合の水溶性グルカン (デキストラン) と、α-1,6結合にα-1,3結合の枝分かれをもった不溶性のグルカン (ムタン) の2種類がある。

ポイント
Streptococcus mutans はグルコシルトランスフェラーゼ (酵素) によりスクロースを基質として不溶性グルカンを産生する。

〔問題 13〕 薬用量の用語を用量順に並べた図を示す。



LD₅₀が示すのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

選択肢考察 **答え d**

- × a ①は無効量の中の1点である。
- × b ②は50%有効量 (ED₅₀) である。最小中毒量と最大有効量ともいう。
- × c ③は50%中毒量 (TD₅₀) である。最大耐量は最小致死量とほぼ同じである。
- d ④は50%致死量 (LD₅₀) である。

ポイント
＜安全域 (治療係数)＞
薬物の安全性を示す指標で、50%致死量 (LD₅₀) / 50%有効量 (ED₅₀) で表される。

〔問題 14〕 薬物の副作用で顎骨壊死がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b アトロピン
- c ニフェジピン
- d ビスホスホネート

選択肢考察 **答え d**

- × a アスピリンは酸性非ステロイド性抗炎症薬で、副作用は喘息や血小板機能の低下、ライ症候群などである。

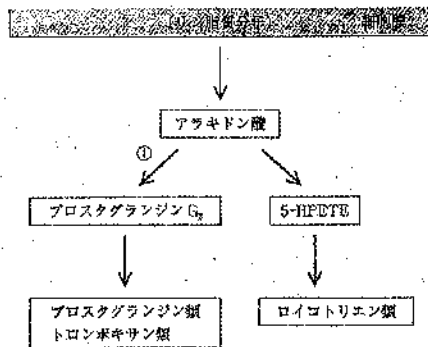
- × b アトロピンは副交感神経遮断薬で、副作用は口渇や気管支、結膜の乾燥などである。
- × c ニフェジピンは降圧薬（カルシウム拮抗薬）で、副作用は歯肉肥大である。
- d ビスホスホネートは骨粗鬆症治療薬で、副作用は顎骨壊死である。

ポイント

<薬物の副作用>

薬物	副作用
ステロイド系抗炎症薬	感染症の増悪、満月様顔貌、骨粗鬆症
ペニシリン系抗菌薬	アレルギー、アナフィラキシーショック
クロラムフェニコール	再生不良性貧血
アミノグリコシド系抗菌薬	第8脳神経障害（聴覚）、腎障害
テトラサイクリン系抗菌薬	エナメル質形成不全、歯の着色
キノロン系・ニューキノロン系抗菌薬	けいれん、めまい、しびれ
マクロライド系抗菌薬	肝障害、腎障害
抗ヒスタミン薬	眠気、口渇
アスピリン	出血傾向、胃腸障害
ニフェジピン（カルシウム拮抗薬）	歯肉肥大
フェニトイン（抗けいれん薬）	歯肉肥大
シクロスポリン（免疫抑制剤）	歯肉肥大
ビスホスホネート	顎骨壊死

(問題 15) アラキドン酸カスケードを図に示す。



- ①の反応を抑制するのはどれか。1つ選べ。
- a アンピシリン
 - b アジスロマイシン
 - c ジフェンヒドラミン
 - d ジクロフェナクナトリウム

選択肢考察

答え d

- × a アンピシリンはペニシリン系抗菌薬である。
- × b アジスロマイシンはマクロライド系抗菌薬である。
- × c ジフェンヒドラミンやクロルフェニラミンは抗ヒスタミン薬である。H₁遮断薬で抗アレルギー作用がある。
- d ①の反応には酵素であるシクロオキシゲナーゼが関与する。この活性を抑制するのが酸性非ステロイド性抗炎症薬（アスピリン、ロキソプロフェンナトリウム、ジクロフェナクナトリウムなど）である。

ポイント

<酸性非ステロイド性抗炎症薬>

アラキドン酸からプロスタグランジンを生成するのに必要な酵素であるシクロオキシゲナーゼの活性を抑制する。

例) アスピリン、ロキソプロフェンナトリウム、ジ

クロフェナクナトリウム、インドメタシンなど。

(問題 16) 歯科口腔保健の推進に関する法律で規定されているのはどれか。2つ選べ。

- a 歯科医療費の適正化
- b 口腔保健センターの設置
- c 口腔の健康に関する調査・研究の推進
- d 障害者が定期的に歯科検診を受けるのに必要な施策

選択肢考察

答え c d

- × a 医療費適正化計画は「高齢者の医療の確保に関する法律」に規定されている。
- × b 「歯科口腔保健の推進に関する法律」では口腔保健支援センターの設置が規定されている。
- c、○ d 口腔の健康に関する調査・研究の推進や障害者が定期的に歯科検診を受けるのに必要な施策は「歯科口腔保健の推進に関する法律」に規定されている。

ポイント

<口腔保健支援センター>

- ・都道府県、保健所を設置する市および特別区は、口腔保健支援センターを設けることができる。
- ・口腔保健支援センターは、歯科医療など業務に従事する者などに対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行う機関とする。

(問題 17) 3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型でう蝕が急速に広がる可能性が高く永久歯列にも影響する状態はどれか。1つ選べ。

- a A型
- b B型
- c C₁型
- d C₂型

選択肢考察

答え d

- × a A型はこのままではう蝕が広がる可能性がある状態である。
- × b B型は将来C₂型に移行する可能性が高い状態である。
- × c C₁型は比較的軽度な状態である。
- d C₂型はう蝕が急速に広がる可能性が高く、永久歯列にも影響する状態である。

ポイント

<う蝕罹患型 C₂型に対する対応>

- ・ただちに歯科医院で可能な限り未処置う蝕を治療するよう勧める。全身的背景がある場合は、小児科医にも相談することを勧める。
- ・一般的事項を徹底するよう指導する。甘い飲食物の摂取は十分注意するよう指示する。必要に応じて歯の清掃指導を行う。

(問題 18) 労働安全衛生法で、取り扱う労働者に歯科医師による健康診断が義務付けられているのはどれか。

- 2つ選べ。
- a 塩酸
 - b リン酸
 - c カドミウム
 - d フッ化水素

選択肢考察

答え a d

- a、○ d 塩酸やフッ化水素は「労働安全衛生法」で取り扱う労働者に歯科医師による健康診断が義務付けられている。
- × b、× c リン酸やカドミウムは特殊健康診断の対象ではない。

ポイント

<特殊健康診断の対象者>

塩酸、硝酸、硫酸、亜硫酸、フッ化水素、黄リン、そのほか歯またはその支持組織に有害なもののガス、蒸気または粉じんを発生する場所における業務に従事する労働者

(問題 19) 歯磨剤の薬用成分で口臭の減弱効果を有するのはどれか。1つ選べ。

- a 硝酸カリウム
- b 乳酸アルミニウム
- c ピロリン酸ナトリウム
- d 銅クロロフィリンナトリウム

選択肢考察

答え d

- × a、× b 硝酸カリウムや乳酸アルミニウムは知覚過敏抑制作用がある。
- × c ピロリン酸ナトリウムは歯石沈着防止作用がある。
- d 銅クロロフィリンナトリウムは口臭減弱作用がある。

ポイント

<口臭の減弱効果>

- ・塩化亜鉛
- ・銅クロロフィリンナトリウム

(問題 20) 歯周プローブを用いて評価するのはどれか。1つ選べ。

- a GI
- b OHI
- c PMA Index
- d O' Leary の PCR

選択肢考察

答え a

- a GIは歯周プローブを用いて評価する。
- × b、× c、× d これらの指標は評価のために歯周プローブは用いない。

ポイント

<GI>

- ・歯肉の炎症の広がりや程度と炎症の強さを表す指標である。
- ・歯周プローブを用いて評価する。

(問題 21) う蝕発生の宿主要因はどれか。1つ選べ。

- a 歯垢の量
- b 唾液の緩衝能
- c う蝕原因菌の数
- d 含糖食品の摂取頻度

選択肢考察

答え b

- × a、× c 歯垢の量やう蝕原因菌の数はう蝕発生の微生物要因である。
- b 唾液の緩衝能はう蝕発生の宿主要因である。
- × d 含糖食品の摂取頻度はう蝕発生の食事要因である。

ポイント

<う蝕発生の要因>

- ・宿主要因
- ・微生物要因
- ・食事要因

(問題 22) 口臭の官能検査で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 来院日を変えて複数回検査する。
- b スコア1は悪臭と容易に判定できる。
- c 患者はチューブをくわえ呼吸を吐き出す。
- d 硫化水素の嗅覚閾値はメチルメルカプタンより低い。

選択肢考察

答え a c

- a 官能検査は1回では判断できないため、来院日を変えて複数回検査する。
- × b スコア1は嗅覚閾値以上の臭いを感知するが、悪臭と認知できない（検知閾値）。
- c 官能検査では患者はチューブをくわえ呼吸を吐き出す。
- × d 硫化水素の嗅覚閾値はメチルメルカプタンより高い。

ポイント

<口臭の原因となる揮発性硫黄化合物>

- ・硫化水素
- ・メチルメルカプタン
- ・ジメチルサルファイド

(問題 23) 平成28年歯科疾患実態調査で前回調査（平成23年）と比較して減少したのはどれか。1つ選べ。

- a 25～34歳の1人平均DMF歯数
- b 40～44歳で喪失歯のない者の割合
- c 55～64歳で4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合
- d 60～64歳で20本以上の歯を有する者の割合

選択肢考察

答え a

- a 25～34歳の1人平均DMF歯数は平成23年と比較して減少した。
- × b 40～44歳で喪失歯のない者の割合は平成23年と比較して増加した。
- × c 55～64歳で4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合は平成23年と比較して増加した。

× d 60～64歳で20本以上の歯を有する者の割合は平成23年と比較して増加した。

ポイント

<歯科疾患実態調査>

我が国の歯科保健状況を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的に、平成28年より5年ごと「横断調査」を実施している一般統計である。調査対象は1歳以上である。

(問題 24) 母子健康手帳で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 喫煙状況を記載する。
b 都道府県が交付する。
c 予防接種歴を記載する。
d 出産の届け出時に交付される。

選択肢考察 答え a c

- a 母子健康手帳には喫煙状況や飲酒状況を記載する。
× b 母子健康手帳は市町村が交付する。
○ c 母子健康手帳には予防接種歴を記載する。
× d 母子健康手帳は妊娠の届け出時に交付される。

ポイント

<母子健康手帳の記載事項>

- ・日常生活上の注意(喫煙・飲酒について)、健康診査の受診勧奨、栄養の摂取方法、歯科衛生など妊産婦の健康管理にあたり必要な情報
・育児上の注意、疾病予防、栄養の摂取方法など新生児の養育にあたり必要な情報
・育児上の注意、疾病予防、栄養の摂取方法、歯科衛生など乳幼児の養育にあたり必要な情報
・予防接種の種類、接種時期、接種にあたっての注意など予防接種に関する情報
・母子保健に関する制度の概要、児童憲章など母子保健の向上に資する情報
・母子健康手帳の再交付に関する手続など、母子健康手帳を使用するにあたっての留意事項

(問題 25) 医療施設における感染制御チームが行うのはどれか。2つ選べ。

- a 定期的な院内の巡回
b 人の監視能力への依存
c 輸入感染症患者の検疫
d 適正な微生物検査の推進

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 医療施設における感染制御チームは定期的な院内の巡回や適正な微生物検査の推進を行う。
× b ヒューマンエラー対策は個人の研鑽や努力のみで成し得るものではない。人の監視能力への依存は避けるべきである。
× c 医療施設における感染制御チームは輸入感染症患者の検疫を行わない。

ポイント

<感染制御委員会(ICC)>

「医療法」で、病床を有する医療機関において、院内感染対策のための委員会の設置が義務付けられており、この委員会を感染制御委員会(ICC)という。

(問題 26) 地球温暖化の原因はどれか。2つ選べ。

- a メタン
b 一酸化炭素
c 二酸化炭素
d 光化学オキシダント

選択肢考察 答え a c

- a、○ c メタンや二酸化炭素は温室効果ガスのため、地球温暖化の原因となる。
× b、× d 一酸化炭素や光化学オキシダントは大気汚染物質である。

ポイント

<温室効果ガス>

二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六フッ化硫黄、三フッ化窒素。

(問題 27) 食育基本法の基本理念で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 食料自給率の向上
b 特別用途食品の許可
c アレルゲンの表示義務
d 伝統的食文化への配慮

選択肢考察 答え a d

- a、○ d 食料自給率の向上や伝統的食文化への配慮は「食育基本法」の基本理念である。
× b 特別用途食品の許可は「健康増進法」に規定されている。
× c アレルゲンの表示義務は「食品表示法」に規定されている。

ポイント

<食育基本法>

- ・国民の心身の健康の増進と豊かな人間形成
・食に関する感謝の念と理解
・食育推進運動の展開
・子どもの食育における保護者、教育関係者などの役割
・食に関する体験活動と食育推進活動の実践
・伝統的な食文化、環境と調った生産などへの配慮および農山漁村の活性化と食料自給率の向上への貢献
・食品の安全性の確保などにおける食育の役割
・保健医療福祉従事者の責務

(問題 28) 地域包括ケアシステムで互助に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 介護保険
b 虐待対策
c 生活保護
d ボランティア活動

選択肢考察 答え d

- × a 介護保険に代表される社会保険制度は互助に含まれる。
× b 虐待対策や人権擁護は公助に含まれる。
× c 生活保護は公助に含まれる。

○ d ボランティア活動や住民組織の活動は互助に含まれる。

ポイント

<地域包括ケアシステム>

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続することができるような包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指す「地域包括ケアシステム」。

(問題 29) 医療保険制度で地域保険の保険者はどれか。2つ選べ。

- a 市町村
b 共済組合
c 都道府県
d 健康保険組合

選択肢考察 答え a c

- a、○ c 市町村や都道府県は地域保健(国民健康保険)の保険者である。
× b 共済組合は共済組合保険の保険者である。
× d 健康保険組合は被用者保険(健康保険)の保険者である。

ポイント

<国民健康保険の保険者>

- ・市町村
・都道府県
・国民健康保険組合

(問題 30) 我が国の年金保険制度で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 負担は所得に応じて行う。
b 保険者は日本年金機構である。
c 受給開始時期は75歳から選択できる。
d 国民年金は20歳以上の国民が加入する。

選択肢考察 答え a d

- a 負担は所得に応じて行う。
× b 保険者は国であり、日本年金機構は年金を運営している。
× c 受給開始時期は60歳から75歳で選択できる。
○ d 国民年金は20歳以上の国民が加入する。

ポイント

<我が国の年金制度>

- ・我が国の年金制度は2階建ての体系となっている。
1. 国民年金(基礎年金)
20歳以上の国民が加入する。
* 自営業者は国民年金のみに加え、私的年金に加入することもできる。
2. 厚生年金
被用者(会社員<サラリーマン>)、公務員および私学教職員が加入する。

(問題 31) 我が国における歯科衛生士に関わる事項で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 昭和20年に歯科衛生士法が制定された。
b 昭和30年に歯科診療の補助業務が法制化された。
c 平成元年に資格試験が歯科衛生士国家試験となった。
d 平成20年に全養成機関での修業年限が3年以上となった。

選択肢考察 答え b

- × a 昭和23年に「歯科衛生士法」が制定された。
○ b 昭和30年に「歯科衛生士法」の業務に「歯科診療の補助」が加えられた。
× c 第1回全国統一歯科衛生士試験は平成4年(1992年)に実施された。平成21年(2009年)「歯科衛生士法」の一部が改正され、「歯科衛生士試験」の名称を「歯科衛生士国家試験」とした。
× d 平成22年に全養成機関での修業年限が3年以上となった。

ポイント

<歯科衛生士の歴史>

Table with 2 columns: 年代, 事項. Rows include昭和23年(1948), 昭和30年(1955), 平成元年(1989), 平成4年(1992), 平成21年(2009), 平成22年(2010), 平成26年(2014).

(問題 32) 令和2年の就業場所別(病院、診療所、市町村、介護保険施設等)の歯科衛生士数を表に示す。

Table with 2 columns: 就業場所, 就業歯科衛生士数. Rows include ①, ②, ③, ④, 歯科衛生士学校.

病院に該当するのはどれか。1つ選べ。
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b

- × a ①は診療所である。
○ b ②は病院である。
× c ③は市町村である。
× d ④は介護保険施設等である。

ポイント

歯科衛生士の就業先で最も多いのは診療所である。

(問題 33) インフォームド・コンセントで正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 病状を説明する。
 b 守秘義務を守る。
 c 治療計画を提示する。
 d 既往歴について質問する。

選択肢考察 答え a c
 ○a、○c インフォームド・コンセントは「説明と同意」と訳されており、疾病やその治療法などについて十分な説明を行い、その内容についての理解を得て、その上で同意を得ることである。
 ×b 歯科衛生士の守秘義務（職業上知り得た情報の守秘義務）は歯科衛生士法の第13条の5（秘密保持義務の項）に定められている。歯科衛生士の守秘義務はインフォームド・コンセントではない。
 ×d 既往歴などの問診事項を整理することは、治療計画の立案には役立つが、インフォームド・コンセントではない。

ポイント
 <インフォームド・コンセント>
 病状を説明し、治療の同意を得ること。

(問題 34) 疾患と血液検査の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 貧血 —— 血小板数
 b 肝疾患 —— アルブミン値
 c 蜂窩織炎 —— CRP 値
 d 出血性素因 —— ヘモグロビン量

選択肢考察 答え b c
 ×a 血小板数は止血に関係しており、出血性素因などでの検査対象である。
 ○b 肝疾患で肝機能が低下すると、タンパク合成が低下するため、総タンパクやアルブミンが減少する。
 ○c CRP 値は炎症や梗塞などで増加するため、蜂窩織炎で高値を示す。
 ×d ヘモグロビン量は赤血球の検査であり、貧血では減少する。

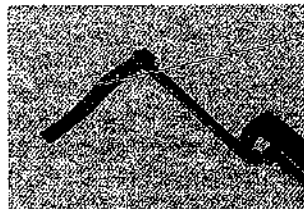
ポイント
 <血液検査>
 ・血液学的検査：赤血球や白血球、血小板など
 ・血液凝固・線溶系検査：出血性素因など
 ・生化学検査：肝機能や腎機能など
 ・免疫・血清検査：炎症、感染症、アレルギーなど
 ・血液型検査

(問題 35) 咬合検査に用いる器材の写真(別冊午後 No. 2)を別に示す。
 使用目的はどれか。1つ選べ。
 a 咬合力の測定
 b 顎間関係の記録
 c 咬合接触の評価
 d 早期接触部位の印記

別冊 午後 No2 写真

選択肢考察

答え c



咬合検査用ストリップス

×a 咬合力の測定は感圧フィルムなどを用いた咬合圧検査で行う。
 ×b 顎間関係の記録はチェックバイト材を用いる。
 ○c 咬合検査用ストリップスは上下顎歯列に介在させた状態で咬合させ、引き抜くことにより咬合接触の評価を行う。
 ×d 早期接触部位の印記は咬合紙を用いる。

ポイント
 <咬合接触検査に用いるもの>
 ・咬合紙
 ・咬合検査用ワックス
 ・咬合検査用ストリップス
 ・咬合検査用シリコーン印象材

(問題 36) エックス線画像(別冊午後 No.3)を別に示す。
 評価できるのはどれか。1つ選べ。
 a Angle 分類
 b 過剰歯の有無
 c 関節円板の転位
 d アーチレングスディスクレパンシー

別冊 午後 No3 写真

選択肢考察

答え b



パノラマエックス線画像

×a Angle 分類は口腔内や模型の観察で評価する。パノラマエックス線画像では評価できない。
 ○b 過剰歯の有無はパノラマエックス線画像では評価できる。
 ×c 関節円板の転位は MRI で評価する。パノラマエックス線画像では評価できない。
 ×d アーチレングスディスクレパンシーは模型分析で評価する。パノラマエックス線画像では評価できない。

ポイント
 <パノラマエックス線画像>
 すべての歯と上下顎骨を撮影対象としており、顎関節も観察できる。
 歯の疾患や顎骨の疾患などに用いられる。

(問題 37) 象牙質知覚過敏症の検査に用いられるのはどれか。2つ選べ。
 a 打診
 b 温度診
 c 擦過診
 d 透照診

選択肢考察 答え b c
 ×a 象牙質知覚過敏症は打診に反応しない。
 ○b、○c 象牙質知覚過敏症は冷水痛や歯ブラシによる擦過痛などが生じるため、温度診や擦過診を用いて検査する。
 ×d 象牙質知覚過敏症は透照診で判断できない。

ポイント
 <象牙質知覚過敏症>
 根面露出やくさび状欠損などにより象牙質が口腔内に露出することで生じる。
 一過性の冷水痛や送気痛、擦過痛などがみられる。

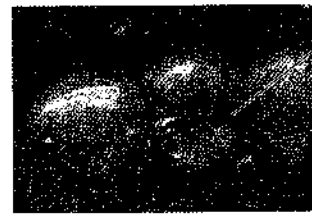
(問題 38) 46歳の男性。上顎左側第一小臼歯の冷水痛を全訴として来院した。2週前から症状を自覚するようになったという。他の症状は認められない。検査の結果、修復処置を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.4)を別に示す。
 考えられる処置はどれか。2つ選べ。

- a コンポジットレジン修復
- b コンポジットレジンベニア修復
- c グラスアイオノマーセメント修復
- d コンポジットレジンインレー修復

別冊 午後 No.4 写真

選択肢考察

答え a d



隣接面う蝕

○a、○d 小臼歯の隣接面う蝕であり、修復処置としてコンポジットレジン修復やコンポジットレジンインレー修復が考えられる。
 ×b コンポジットレジンベニア修復は前歯・小臼歯の唇側側面に適用する。小臼歯の隣接面う蝕には用いられない。
 ×c グラスアイオノマーセメント修復は機械的強度が低いため、臼歯の咬合面にかかる窩洞には用いられない。

ポイント
 <2級修復>
 臼歯の隣接面に起始する窩洞に対する修復を2級修復という。
 2級修復にはコンポジットレジン修復やコンポジットレジンインレー修復、メタルインレー修復、セラミックインレー修復が用いられる。

(問題 39) 従来型グラスアイオノマーセメント修復で感水防止に用いるのはどれか。2つ選べ。
 a ラバーダム
 b パーニッシュ
 c マトリックス
 d コンディショナー

選択肢考察 答え a b
 ○a 従来型グラスアイオノマーセメント修復時の感水防止にはラバーダム防湿が有用である。
 ○b 従来型グラスアイオノマーセメント修復時の感水防止にはパーニッシュが有用である。
 ×c マトリックスは形態付与に用いる。
 ×d コンディショナーは歯質への接着性向上に用いる。

ポイント
 <グラスアイオノマーセメント修復>
 セメント硬化中に唾液などに触れると感水し白濁が生じる。したがって、修復時には防湿を行い、充填後にパーニッシュを塗布するとよい。

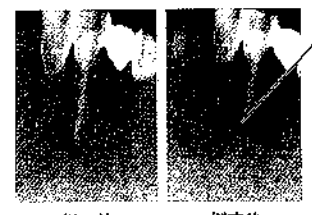
(問題 40) 60歳の男性。下顎左側中切歯に感染根管治療を行ったが症状が軽減しないため、外科的歯内療法を行うことになった。術前および術直後のエックス線画像(別冊午後 No.5)を別に示す。
 行ったのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根分離
- b 切開排膿
- c 歯根尖切除
- d ルートリセクション

別冊 午後 No.5 写真

選択肢考察

答え c



術前 術直後

術前と比較して歯根尖が短くなっている

×a 歯根分離は複根歯の髄床底で歯を分割するものである。下顎中切歯には用いられない。
 ×b 切開排膿は歯肉腫脹部を切開して排膿させるものである。歯根尖の切除は行わない。
 ○c 術直後のエックス線画像をみると、術前より歯根尖が短くなっている。歯根尖切除を行ったと考えられる。
 ×d ルートリセクションは上顎大臼歯の歯根を切除するものである。

ポイント
 <歯根尖切除>
 感染根管治療で治癒しない症例や感染根管治療が不可能な症例などに適用する。
 歯肉を剥離し、歯根尖を切除する。逆根管充填を併用することが多い。

(問題 41) 根管治療に使用する Ni-Ti ロータリーファイルの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 柔軟性に優れる。
- b 切削効率が低い。
- c 根管内で破折しにくい。
- d エアタービンに装着する。

選択肢考察 答え a b

- a Ni-Ti ロータリーファイルはステンレススチールファイルより柔軟性に優れる。
- b Ni-Ti ロータリーファイルは手用ファイルより切削効率が低い。
- × c Ni-Ti ロータリーファイルは根管内で破折しやすいので、回転数などに留意して使用しなければならない。
- × d Ni-Ti ロータリーファイルは低速回転のマイクロモーターに装着して使用する。

ポイント

- < Ni-Ti ロータリーファイル >
- ・ステンレススチールファイルと異なり、ISO 規格に準拠していない。
 - ・低速回転のマイクロモーターで回転させるため切削効率が低く、柔軟性に優れるため、彎曲根管の形成を効率的に行うことができる。
 - ・根尖方向に無理に加圧しないよう注意する。

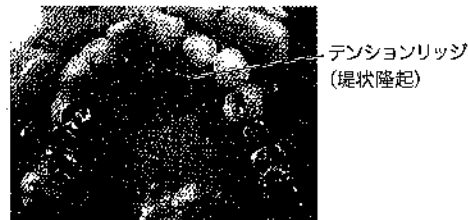
(問題 42) 48 歳の女性。歯肉の腫脹と歯の離開を主訴として来院した。数年前より自覚していたが放置していたという。口唇の乾燥を認める。プロービング深さは全顎的に 4 ~ 5mm であり、動揺は認めない。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.6) を別に示す。

矢印が示す徴候の原因と考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 擦過
- b 口呼吸
- c 食片圧入
- d ブラキシズム

別冊 午後 No.6 写真

選択肢考察 答え b



- × a 歯ブラシなどによる擦過はテンションリッジの原因として考えられない。
- b テンションリッジの原因として口呼吸が考えられる。
- × c 食片圧入はテンションリッジの原因として考えられない。
- × d ブラキシズムはテンションリッジの原因として考えられない。

ポイント

< 口呼吸の患者にみられやすい所見 >

- ・口呼吸線
- ・口輪筋の弛緩
- ・乳頭歯肉の腫脹
- ・テンションリッジ (堤状隆起)
- ・上顎前歯の唇側傾斜や上顎歯列弓の狭窄

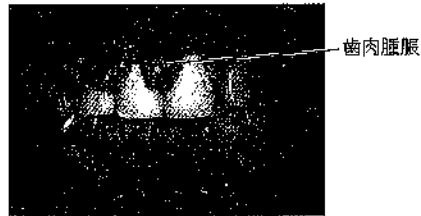
(問題 43) 33 歳の男性。歯肉の腫脹を主訴として来院した。10 年前に腎移植の既往があり、高血圧症の治療を受けているという。歯周ポケットの深さは全顎的に 4 ~ 6mm である。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.7) を別に示す。

症状に影響していると考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 利尿薬
- b β 遮断薬
- c 免疫抑制薬
- d カルシウム拮抗薬

別冊 午後 No.7 写真

選択肢考察 答え c d



- × a、× b 利尿薬やβ遮断薬は降圧薬として用いられるが、服用により歯肉腫脹が生じるとは考えにくい。
- c 免疫抑制薬のシクロスポリン A は歯肉増殖の副作用が報告されている。腎移植の既往があり、免疫抑制薬の服用が疑われる。
- d カルシウム拮抗薬は降圧薬として用いられるが、歯肉増殖の副作用が報告されている。服用が疑われる。

ポイント

< 歯肉増殖のリスクがある薬剤 >

- ・抗てんかん薬：フェニトイン
- ・免疫抑制薬：シクロスポリン
- ・カルシウム拮抗薬：ニフェジピンなど

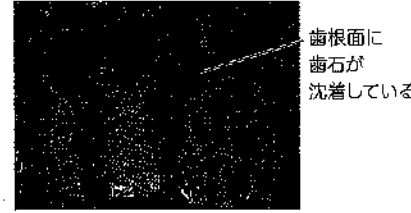
(問題 44) 56 歳の男性。上顎前歯部の腫脹と動揺を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療後に残存した深い歯周ポケットに対してフラップ手術が行われることになった。歯周外科治療時の口腔内写真 (別冊午後 No.8) を別に示す。

次に行う処置で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 縫合
- b 歯肉剥離
- c 結合組織移植
- d スケーリング・ルートプレーニング

別冊 午後 No.8 写真

選択肢考察 答え d



- × a まだ歯石が残存しており、縫合を行うとは考えられない。
- × b すでに歯肉剥離は終了している。
- × c 結合組織移植は歯周形成手術で行われる。深い歯周ポケットに対するフラップ手術で行うとは考えにくい。
- d 口腔内写真をみると、歯肉が剥離されているが歯根面に歯石が残存している。したがって、スケーリング・ルートプレーニングを行うと考えられる。

ポイント

< フラップ手術の一般的な術式 >

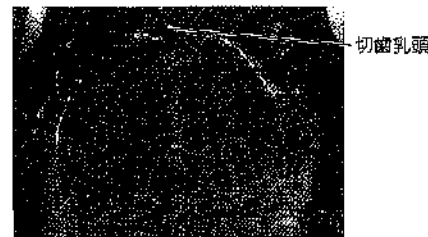
歯肉の切開・剥離後、肉芽の除去を行う。続いてスケーリング・ルートプレーニングを行う。歯肉の形態を整形し、創面を生理食塩液で洗浄後、歯肉の縫合を行う。

(問題 45) 口腔内写真 (別冊午後 No.9) を別に示す。観察されるのはどれか。1つ選べ。

- a 頬棚
- b 白後三角
- c 切歯乳頭
- d 顎舌骨筋線

別冊 午後 No.9 写真

選択肢考察 答え c



- × a 頬棚とは歯槽堤、頬小帯、外斜線、白後三角 (レ

トロモラーパッド、白後パッド) に囲まれた領域のことである。下顎全部床義歯の咬合圧負担域として重要である。

- × b 白後三角はレトロモラーパッドとよばれ、下顎顎堤の後方にみられる。仮想咬合平面の決定の際や人工歯排列の際の基準となる。
- c 切歯乳頭は上顎前歯部に存在する。切歯乳頭の下には神経、脈管の出入り口である切歯孔が存在する。
- × d 顎舌骨筋線は下顎骨体舌側を近遠心的に走行する骨の隆線であり、顎舌骨筋が付着している。

ポイント

< 無歯顎患者の解剖 >

上顎	切歯乳頭、口蓋隆起、口蓋ヒダ、口蓋小窩、上顎結節
下顎	頬棚、外斜線、顎舌骨筋線、下顎隆起、白後隆起 (白後三角、レトロモラーパッド)

(問題 46) 小臼歯に用いる部分被覆冠はどれか。1つ選べ。

- a ビンレッジ
- b 3/4 クラウン
- c 4/5 クラウン
- d プロキシマルハーフクラウン

選択肢考察 答え c

- × a ビンレッジは前歯部に用いられる部分被覆冠である。
- × b 3/4 クラウンは前歯部に用いられる部分被覆冠である。
- c 4/5 クラウンは小臼歯および大臼歯部に用いられる部分被覆冠である。
- × d プロキシマルハーフクラウンは大臼歯部に用いられる部分被覆冠である。

ポイント

< 適応部位における被覆冠の種類 >

	前歯部	白歯部
全部被覆冠	陶材焼付金属冠 レジン前装金属冠 ハイブリッドセラミッククラウン オールセラミッククラウン	陶材焼付金属冠 レジン前装金属冠 ハイブリッドセラミッククラウン オールセラミッククラウン
部分被覆冠	3/4 クラウン ビンレッジ ラミネートベニア	4/5 クラウン プロキシマルハーフクラウン

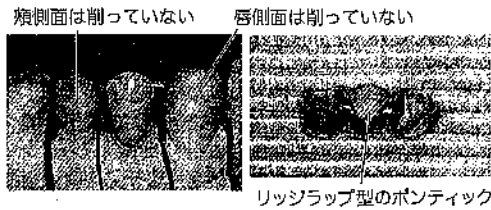
(問題 47) 製作した捕綴装置の写真 (別冊午後 No.10) を別に示す。

本装置に該当するのはどれか。2つ選べ。

- a 接着ブリッジ
- b 可撤性ブリッジ
- c 固定性ブリッジ
- d 半固定性ブリッジ

別冊 午後 No.10 写真

選択肢考察 答え a c



- a 接着ブリッジとは、1～2歯欠損において支台歯の歯質削除量を少なくして製作された金属のフレームワークを接着性材料によって装着するブリッジのことである。写真は支台歯の唇側面、頬側面を削除していない接着ブリッジである。
- ×b、○c 可撤性ブリッジは取り外し可能なブリッジで、有床型、鞍状型のボンティックが用いられる。写真のブリッジのボンティックはリッジラップ型で固定性ブリッジである。固定性ブリッジは最も一般的に用いられるブリッジである。
- ×d 半固定性ブリッジではキーアンドキーウェイ（鍵と鍵穴の関係）の連結部が認められる。

ポイント

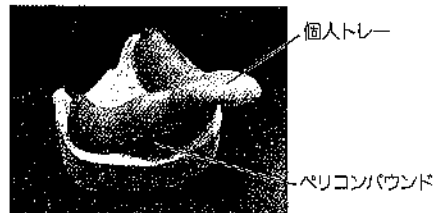
- <接着ブリッジの特徴>
- ①支台歯の歯質削除量が少ない。
 - ②歯周組織への影響が少ない。
 - ③接着性レジンセメントの接着力に依存している。
 - ④維持力が低いので脱離しやすい。
 - ⑤支台装置の強度が不足しやすい。

(問題 48) 70歳の男性。下顎部分床義歯の不適合による咀嚼障害を主訴として来院した。義歯製作過程で用いる器材の写真(別冊午後 No.11)を別に示す。これを用いて行うのはどれか。2つ選べ。

- a 概形印象
- b 機能印象
- c 筋圧形成
- d 粘膜調整

別冊 午後 No.11 写真

選択肢考察



- ×a 概形印象を行って研究用模型を製作する。
- b、○c 写真は個人トレーに盛ったペリコンパウンドで、筋圧形成を行うために用いる。筋圧形成は顎堤粘膜形態の再現と顎堤粘膜翻転部の機能印象のために行う。
- ×d 顎堤部の粘膜調整のために使用するのは粘膜調整材(ティッシュコンディショナー)である。

ポイント

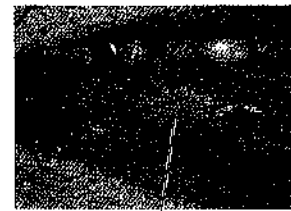
義歯の辺縁封鎖性向上のために筋圧形成を行う。

(問題 49) 62歳の女性。右側舌縁部の異常を主訴として来院した。約3年前から同部の白斑に気づいたが、無痛性で擦過しても除去できないという。所属リンパ節を触知しない。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

- 疑われるのはどれか。1つ選べ。
- a 天疱瘡
 - b 白板症
 - c 扁平苔癬
 - d 口腔カンジダ症

別冊 午後 No.12 写真

選択肢考察



- ×a 天疱瘡は上皮内水泡を特徴とする自己免疫疾患である。一見正常な皮膚・粘膜を擦過すると、容易に剥離するニコルスキー現象がみられる。
- b 白板症は舌、歯肉などに好発する。擦過によって除去できない板状あるいは斑状の白色病変である。
- ×c 扁平苔癬は両側の頬粘膜に好発する。接触痛を伴うレース状白斑がみられるのが特徴である。
- ×d 急性偽膜性口腔カンジダ症では、擦過すると白斑は除去できる。

ポイント

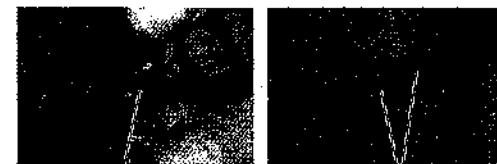
- <白板症>
- ・擦過によって除去できない白斑がみられる。
 - ・頬粘膜、舌、歯肉に好発する。

(問題 50) 34歳の男性。頬粘膜のアфтаを主訴として来院した。診断の結果、慢性再発性アфтаと判明した。初診時の口腔内写真と足背の写真(別冊午後 No.13A、B)を別に示す。

- 考えられる疾患はどれか。1つ選べ。
- a 麻疹
 - b 再生不良性貧血
 - c ペーチェット病
 - d 全身性エリテマトーデス

別冊 午後 No.13A、B 写真

選択肢考察



慢性再発性アфта 結節性紅斑

- ×a 麻疹(はしか)では頬粘膜にコプリック斑がみられる。アфтаはみられない。
- ×b 再生不良性貧血ではアфтаはみられない。
- c ペーチェット病では、口腔粘膜の再発性アфта、皮膚の結節性紅斑、眼のブドウ膜炎、外陰部潰瘍がみられる。
- ×d 全身性エリテマトーデスは、自己免疫疾患の一つである。顔面の蝶形紅斑はみられるが、アフトはみられない。

ポイント

- <ペーチェット病>
- ・口腔粘膜の再発性アフト、皮膚の結節性紅斑、眼のブドウ膜炎、外陰部潰瘍などがみられる。

(問題 51) 血管迷走神経反射を起こした患者に現れるのはどれか。2つ選べ。

- a 顔面蒼白
- b 血圧上昇
- c じん麻疹
- d 脈拍数減少

選択肢考察

- a、×b、×c、○d 血管迷走神経反射(神経性ショック)の症状は、顔面蒼白、血圧低下、徐脈(脈拍数の減少)、呼吸数の減少、嘔気、悪心、冷感、意識消失、四肢の無力状態、チアノーゼなどである。

ポイント

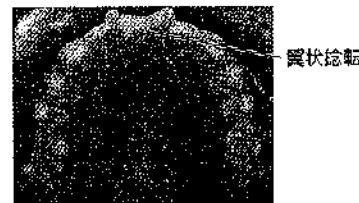
- <神経性ショックへの対応>
- ①身体を水平位にして下肢を高くする。
 - ②着衣をゆるめる。
 - ③脈拍を測定する。
 - ④やさしく話しかけて安心感を与える。
 - ⑤深呼吸をすすめる。
 - ⑥酸素吸入を開始する。

(問題 52) 口腔内写真(別冊午後 No.14)を別に示す。両側中切歯の状態を表すのはどれか。1つ選べ。

- a 近心傾斜
- b 正中離開
- c 舌側転位
- d 翼状捻転

別冊 午後 No.14 写真

選択肢考察



- ×a 歯軸が近心に傾斜した状態を近心傾斜という。
- ×b 両側中切歯間に空隙がある状態を正中離開という。
- ×c 歯列弓内の正常な位置から舌側方向に位置が変化している状態を舌側転位という。

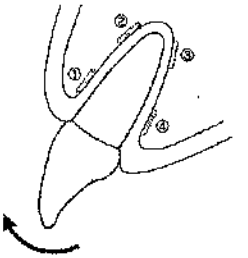
- d 両側中切歯が対称的に近心舌側に捻転しているため、翼状捻転の状態である。

ポイント

- <捻転>
- 捻転とは、歯の長軸(歯軸)を中心に回転した状態をいう。
 - 上顎中切歯が対称的に捻転したものを対称捻転といい、特に近心舌側に捻転したものを翼状捻転という。

(問題 53) 矯正力による歯の傾斜移動を図に示す。矢印で示す歯の移動で歯槽骨の添加が生じる部位はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

- ×a、○b、×c、○d 図をみると、唇側に傾斜移動していることがわかる。そのとき、図の①と③が圧迫側となり、②と④が牽引側となる。歯槽骨の添加が生じるのは牽引側であるため、bとdが正しい。

ポイント

- <歯の移動時の骨吸収と骨添加>
- ・骨吸収：歯根膜の圧迫側で生じる。
 - ・骨添加：歯根膜の牽引側で生じる。

(問題 54) 口腔内写真(別冊午後 No.15)を別に示す。Angleの分類はどれか。1つ選べ。

- a I 級
- b II 級1類
- c II 級2類
- d III 級

別冊 午後 No.15 写真

選択肢考察



- ×a I 級は上下顎第一大臼歯の近遠心的関係が正常である。
- ×b II 級1類は下顎第一大臼歯が遠心に位置しており、上顎前歯の唇側傾斜がみられるものである。
- ×c II 級2類は下顎第一大臼歯が遠心に位置しており、上顎前歯の舌側傾斜がみられるものである。
- d 口腔内写真から、下顎第一大臼歯が近心に位置しているためIII級である。

ポイント

<Angleの分類>

上顎の第一大臼歯の咬合状態で判断する。上顎第一大臼歯近心傾側咬頭頂が下顎第一大臼歯の頰面溝に位置するものをAngle I級といい、上下歯列弓の近遠心的関係が正常としている。

(問題 55) 8歳の女児。上顎前歯が目立つことを主訴として来院した。矯正装置を装着したときの写真(別冊午後 No.16)を別に示す。

装置の治療効果はどれか。1つ選べ。

- a 下顎前歯の舌側移動
- b 下顎骨の前方成長促進
- c 上顎骨の前方成長抑制
- d 上顎大臼歯の近心移動

別冊 午後 No.16 写真

選択肢考察

答え c



ヘッドギア

- × a ヘッドギアで下顎前歯の舌側移動を行うとは考えられない。
- × b ヘッドギアで下顎骨の前方成長促進を行うとは考えられない。
- c ヘッドギアを用いると上顎骨の前方成長抑制が期待できる。
- × d ヘッドギアで上顎大臼歯の近心移動を行うとは考えられない。

ポイント

<ヘッドギアの治療効果>

- ・ 加齢固定
- ・ 上顎骨の前方成長抑制
- ・ 上顎大臼歯の遠心移動や挺出

(問題 56) 乳歯の外傷の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 男児に多い。
- b 学童期に多い。
- c 歯の破折が多い。
- d 上顎前歯部に多い。

選択肢考察

答え a d

- a 乳歯の外傷は男児に多い。
- × b 乳歯の外傷は幼児期初期に多い。
- × c 乳歯の外傷は転位や脱臼が多い。
- d 乳歯外傷では上顎前歯部に多い。

ポイント

<乳歯の外傷の特徴>

- ・ 男児に多い。
- ・ 上顎前歯部に多い。

- ・ 転位や脱臼が多い：永久歯では歯の破折が多い。
- ・ 幼児期初期に多い：永久歯では学童期初期に多い。

(問題 57) 4歳の女児。上顎前歯部の審美不良を主訴として来院した。他院にてう蝕を指摘され、薬物塗布を受けたところ歯の変色が生じたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.17)を別に示す。

塗布されたと考えられる薬物について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 苦味がある。
- b 劇薬である。
- c 褐色である。
- d 無臭である。

別冊 午後 No.17 写真

選択肢考察

答え a b



中切歯が黒変しており、フッ化ジアンミン銀溶液塗布が考えられる

- a フッ化ジアンミン銀溶液は強い苦味がある。
- b フッ化ジアンミン銀溶液は劇薬である。
- × c フッ化ジアンミン銀溶液は無色透明である。
- × d フッ化ジアンミン銀溶液はアンモニア臭がある。

ポイント

<フッ化ジアンミン銀溶液>

- ・ 38% Ag (NH₃)₂F である。
- ・ 無色透明で苦味がある。
- ・ 劇薬に指定されている。
- ・ う蝕進行抑制に用いる。
- ・ う蝕に塗布すると歯質が黒変する。

(問題 58) 舌の加齢変化はどれか。2つ選べ。

- a 舌粘膜の肥厚
- b 筋線維量の増加
- c 脂肪浸潤の増加
- d 味覚閾値の上昇

選択肢考察

答え c d

- × a 加齢に伴い舌粘膜は菲薄化する。
- × b 加齢に伴い筋線維量は減少する。
- c 加齢に伴い筋組織への脂肪浸潤が増加する。
- d 加齢に伴い味覚閾値は上昇する。

ポイント

<舌の加齢変化>

- ・ 糸状乳頭は萎縮・短縮する。
- ・ 味蕾は減少する。
- 味覚は低下する。
- 味覚閾値は上昇する(鈍くなる)。

- ・ 筋線維量が減少する。
- 筋組織への脂肪浸潤がみられる。
- 緊張度は低下する。
- ・ 上皮は菲薄化する。
- ・ 上皮突起は減少する。

(問題 59) 高齢者の健康障害の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 個人差が少ない。
- b 環境変化への適応性が高い。
- c 症状が非定型的に出現する。
- d 薬物で副作用を生じやすい。

選択肢考察

答え c d

- × a 個人差は大きい。
- × b 環境変化への適応性は低い。
- c 高齢者は他疾患を有することが多く、同じ疾患でも若年者の場合と異なる症状を示し、非定型的である。
- d 高齢者は他疾患を有することが多く、様々な薬物を服用しているため、薬物で副作用を生じやすい。

ポイント

<高齢者の病態の特徴>

- ・ 個人差が大きい。
- ・ 症状が非定型的である。
- ・ 複数の疾患を有している。
- ・ 電解質異常を起こしやすい。
- ・ 慢性的疾患が多い。
- ・ 免疫力の低下によって疾患が治りにくい。

(問題 60) Revised Oral Assessment Guide (ROAG) の評価項目はどれか。2つ選べ。

- a 嚥下
- b 義歯
- c 構音
- d 咀嚼

選択肢考察

答え a b

- a、× d 嚥下は ROAG の評価項目の1つであるが、咀嚼は評価項目ではない。
- b 歯・義歯は ROAG の評価項目の1つである。
- × c 声は ROAG の評価項目の1つであるが、構音は評価項目ではない。

ポイント

<ROAGの評価項目>

- 声、嚥下、口唇、歯・義歯、粘膜、歯肉、舌、唾液(口腔乾燥)

(問題 61) 筋肉の緊張による姿勢の異常がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a アカシジア
- b アキネジア
- c ジストニア
- d シスキネジア

選択肢考察

答え c

- × a アカシジアは静坐不能(そわそわ落ち着かない、足がむずむずする、絶えず歩きまわる)がみられる。
- × b アキネジアは無動症(動きが少なくなる、動きが鈍くなる、運動ができない)がみられる。
- c ジストニアは筋肉の緊張による姿勢の異常がみられる。
- × d シスキネジアは無意識に口が動く、舌のもつれ、手足が勝手に動くなどの症状がみられる。

ポイント

<ジストニア>

- 目が上を向く、舌が口から飛び出る、呂律が回らない、首がそり返る、体が傾く。

(問題 62) うつ病で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 励ますことが重要である。
- b パニック症状がみられる。
- c 疼痛多発は歯科診療の妨げとなる。
- d 高齢者では気分の落ち込みが目立つ。

選択肢考察

答え c

- × a うつ病患者を励ますと症状が悪化する。
- × b うつ病患者ではパニック症状はみられない。
- c うつ症状のうち疼痛多発は歯科診療の妨げとなる。
- × d 高齢者は身体的にも社会的にも喪失に関連したさまざまなストレスを感じることが多く、うつ状態になりやすいため、高齢者では気分の落ち込みが目立たない。

ポイント

<老年期うつ病評価尺度(GDS)>

- ・ この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつになったりすることがよくありましたか。
- ・ この1か月間、どうも物事に対して興味がわかない、または心から楽しめない感じがよくありましたか。

(問題 63) 歯肉の異常と関連する要因の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a クレフト ——— 食片圧入
- b フェストゥーン ——— 咬合性外傷
- c テンションリッジ ——— 喫煙
- d メラニン色素沈着 ——— 不適切なブラッシング

選択肢考察

答え b c

- × a クレフトは不適切なブラッシングなどが関連している。
- b フェストゥーンは咬合性外傷などが関連している。
- c テンションリッジは口呼吸や喫煙が関連している。
- × d メラニン色素沈着は喫煙が関連している。

ポイント

<歯肉の形態異常>

- ・ クレフト：辺縁歯肉のV字型またはU字型の裂け目
- ・ フェストゥーン：辺縁歯肉のロール状肥厚
- ・ テンションリッジ：上顎口蓋側の堤状の隆起
- ・ ブラックトライアングル：乳頭歯肉の退縮

(問題 64) 歯周治療により改善が期待されるのはどれか。

- 1つ選べ。
- a 肝炎
- b 胃潰瘍
- c 糖尿病
- d 高血圧症

選択肢考察 答え c

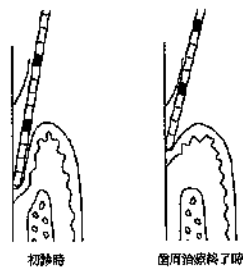
- × a 肝炎は歯周病との関連は明らかでなく、歯周治療により改善が期待されるとは考えにくい。
- × b 胃潰瘍は歯周病との関連は明らかでなく、歯周治療により改善が期待されるとは考えにくい。
- c 糖尿病は歯周病に影響されることが報告されており、歯周治療により改善が期待される。
- × d 高血圧症は歯周病との関連は明らかでなく、歯周治療により改善が期待されるとは考えにくい。

ポイント

<歯周病と糖尿病>
 歯周病と糖尿病は相互に影響を及ぼしており、歯周治療により糖尿病の改善が期待されるだけでなく、糖尿病の治療により歯周病の改善が期待される。

(問題 65) 初診時と歯周治療終了時の同一歯に対するポケットプローピング時の模式図を示す。プローブの目盛りは1mmである。

- アタッチメントゲイン (mm) はどれか。1つ選べ。
- a 0
 - b 1
 - c 2
 - d 3



選択肢考察 答え d

- × a, × b, × c, ○ d 模式図から、初診時のアタッチメントレベルは6mm、歯周治療終了時のアタッチメントレベルは3mmと判断できるため、アタッチメントゲインは3mmである。

ポイント

<アタッチメントゲインとアタッチメントロス>
 ある一定の期間においてアタッチメントレベルが増加することをアタッチメントロス、減少することをアタッチメントゲインという。

(問題 66) 垂直性骨吸収の進行に関与するのはどれか。2つ選べ。

- a 食片圧入
- b 外傷性咬合
- c くさび状欠損
- d 歯肉縁上歯石

選択肢考察 答え a b

- a, ○ b 垂直性骨吸収の形成や進行には食片圧入や外傷性咬合などが関与している。
- × c, × d くさび状欠損や歯肉縁上歯石が垂直性骨吸収の進行に関与しているとは考えられない。

ポイント <骨吸収のタイプ>

水平性骨吸収	隣在歯間のセメントエナメル境を結んだ線と平行に歯槽骨辺縁の吸収が生じたもの。
垂直性骨吸収	隣在歯間のセメントエナメル境を結んだ線と角度をもって歯槽骨吸収が生じたもの。

(問題 67) 歯石を評価指標に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a GI
- b PHP
- c OHI-S
- d CPI (2013年、WHO)

選択肢考察 答え c

- × a GIは歯肉の状態から歯肉炎の広がりや程度の強さを評価する。
- × b PHPはブラークの付着状態から口腔衛生状態を評価する。
- c OHI-Sはブラークと歯石を評価指標に用いる。
- × d CPI (2013年、WHO)はCPIプローブを用いて歯肉出血とポケットを評価する。

ポイント

<OHI-S>
 OHIを簡略化したものである。特定歯の特定歯面のブラークと歯石の付着・沈着状態から口腔衛生状態を評価する。

(問題 68) 45歳の男性。下顎右側第一大臼歯部の咬合時違和感を主訴として来院した。Bは軽度の打診がある。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

付着	アタッチメントレベル (mm)	6	5	6
深	プローピングデプス (mm)	3	2	④
歯石				
深	プローピングデプス (mm)	3	⑧	④
付着	アタッチメントレベル (mm)	5	4	7
①印：プローピング時の出血				
* : Millerの分類				
** : Lindhe & Nymanの分類				
歯根度*		1		
根分岐部病変**		1		

- 得られた情報から判断できるのはどれか。2つ選べ。
- a 生理的動揺
 - b 根分岐部の骨吸収
 - c 3~4mmの歯肉退縮幅
 - d 歯周ポケット内面の炎症

選択肢考察 答え b d

- × a 生理的動揺は動揺度がMillerの分類0度であるため、得られた情報から生理的動揺であるとは考えられない。
- b Lindhe & Nymanの分類で1度の根分岐部病変であるため、プローブが歯冠幅径1/3以内まで挿

- 入できる。したがって、根分岐部に軽度の骨吸収があると判断できる。
- × c アタッチメントレベルからプローピングデプスを減じた値が歯肉退縮幅である。したがって、歯肉退縮幅は1~3mmであると判断できる。
- d プローピング時の出血がみられる部位があるため、歯周ポケット内面に炎症が存在すると判断できる。

ポイント

<歯肉退縮幅>
 セメントエナメル境から歯肉辺縁までの距離を歯肉退縮幅という。
 口腔内で歯周プローブを用いて直接計測できるが、アタッチメントレベルからプローピングデプスを減じることで算出できる。

(問題 69) 55歳の女性。上顎左側白歯部歯肉の出血を主訴として来院した。慢性歯肉炎と診断され、口腔清掃指導後にグレータイプキュレットを用いてスケーリングを行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.18)を別に示す。

- 写真で示す部位の処置に適するのはどれか。1つ選べ。
- a #7 #11 #14
 - b #7 #12 #13
 - c #8 #11 #14
 - d #8 #12 #13

別冊 午後 No.18 写真

選択肢考察 答え d



上顎左側白歯部の口蓋側面

- × a, × b, × c, ○ d グレータイプキュレットの#7/8は白歯部頬舌側面、#11/12は白歯部近心面、#13/14は白歯部遠心面に用いる。今回は上顎左側白歯部の口蓋側のスケーリングであるので、#8、#12、#13となる。

ポイント

<上顎白歯部のスケーリング>
 上顎左側白歯部の頬側および上顎右側白歯部の口蓋側：#7、#11、#14
 上顎左側白歯部の口蓋側および上顎右側白歯部の頬側：#8、#12、#13

(問題 70) う蝕活動性試験で乳酸菌数を評価するのはどれか。1つ選べ。

- a Hadley test
- b Dentocult®-SM
- c Dentobuff®-Strip
- d グルコースクリアランステスト

選択肢考察 答え a

- a Hadley testは乳酸菌数を評価するう蝕活動性試験である。
- × b Dentocult®-SMはミュータンス連鎖球菌数を評価するう蝕活動性試験である。
- × c Dentobuff®-Stripは唾液緩衝能を評価するう蝕活動性試験である。
- × d グルコースクリアランステストはグルコース消失までの時間を測定するう蝕活動性試験である。

ポイント

<細菌数を評価するう蝕活動性試験>
 ・レサズリン還元性細菌数の評価：RDテスト®
 ・乳酸菌数の評価：Hadley test、Dentocult®-LB
 ・ミュータンス連鎖球菌数の評価：ミューカウント、Dentocult®-SM、サリパチェック®-SM

(問題 71) PTCに用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 咬合紙
- b スケーラー
- c ポイントカップ
- d ホワイトポイント

選択肢考察 答え b c

- × a PTCに咬合紙は用いられない。
- b スケーラーはスケーリング・ルートプレーニングに用いる器具であり、PTCに用いられる。
- c ポイントカップは歯面研磨に用いる器具であり、PTCに用いられる。
- × d PTCにホワイトポイントは用いられない。

ポイント

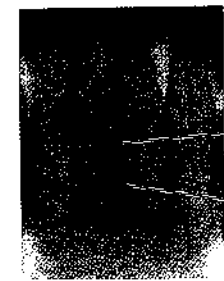
<PTC(プロフェッショナルトゥースクリーニング)>
 歯科医師や歯科衛生士によるブラーク除去、スケーリング・ルートプレーニング、歯面研磨のことをPTCという。

(問題 72) エックス線画像(別冊午後No.19)を別に示す。

- 観察できるのはどれか。2つ選べ。
- a う蝕
 - b 歯石
 - c 根尖病巣
 - d 歯槽骨吸収

別冊 午後 No.19 写真

選択肢考察 答え b d



歯石
歯槽骨吸収

- × a う蝕は明らかではない。

- b 歯根面に歯石が観察できる。
- ×c 根尖病巣はみられない。
- d 歯槽骨吸収が観察できる。

ポイント

<エックス線画像>
 ・歯や歯槽骨などの硬組織や歯石などの石灰化物はエックス線不透過像として観察される。
 ・う蝕や歯髄腔、歯根膿腔、歯槽骨吸収、根尖病巣などはエックス線透過像として観察される。

(問題 73) グレータイプキュレットのシャープニングで [] に入る組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

キュレットの内面を床に平行にし、砥石を刃部の側面に [①] 度傾けて合わせ、刃部内面と砥石のなす角度を 100~110 度にする。また、砥石は [②] cm 程度の幅で上下運動させ、 [③] に向かってまっすぐ研ぐ。

① ② ③

a 10~20 4 トウからヒール
 b 10~20 2 ヒールからトウ
 c 30~40 2 ヒールからトウ
 d 30~40 4 トウからヒール

選択肢考察 答え b

×a、○b、×c、×d グレータイプキュレットのシャープニングでは、キュレットの内面を床に平行にし、砥石を刃部の側面に 10~20 度傾けて合わせ、刃部内面と砥石のなす角度を 100~110 度にする。また、砥石は 2cm 程度の幅で上下運動させ、ヒールからトウに向かってまっすぐ研ぐ。したがって、b が正しい。

ポイント

<グレータイプキュレットの刃部側面のシャープニング>
 ・奇数番号を研ぐ場合、スケーラーを左手で固定し、先端を自分の方向に向ける。
 ・偶数番号を研ぐ場合、スケーラーを左手で固定し、先端を自分と反対に向ける。

(問題 74) グリシンパウダーを用いた歯面清掃器を使用できるのはどれか。2つ選べ。

- a 呼吸器疾患の患者
- b 高ナトリウム血症の患者
- c 心臓ペースメーカー装着の患者
- d エアゾールによる伝播性感染症の患者

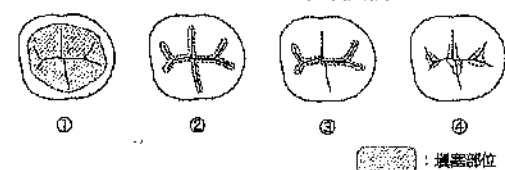
選択肢考察 答え bc

×a 呼吸器疾患の患者には、グリシンパウダーを用いた歯面清掃器の使用を避けた方がよい。
 ○b 高ナトリウム血症の患者には、グリシンパウダーを用いた歯面清掃器を使用できる。
 ○c 心臓ペースメーカー装着の患者には、グリシンパウダーを用いた歯面清掃器を使用できる。
 ×d エアゾールによる伝播性感染症の患者には、グリシンパウダーを用いた歯面清掃器の使用を避けた方がよい。

ポイント

<グリシンパウダーを用いた歯面清掃器>
 炭酸水素ナトリウム(重曹)を用いた歯面清掃器と比較して、ナトリウム摂取制限を必要とする患者に使用できる。また、歯肉縁下にも使用できる。

(問題 75) 7歳の男児。下顎右側第一大臼歯咬合面に小窩裂溝充填を行うことになった。充填領域を図に示す。



正しいのはどれか。1つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b

×a ①は小窩裂溝から大きくはみ出しており不適切である。
 ○b 小窩裂溝を過不足なく充填している②が正しい。
 ×c、×d ③、④は小窩裂溝を完全に充填しておらず不適切である。

ポイント

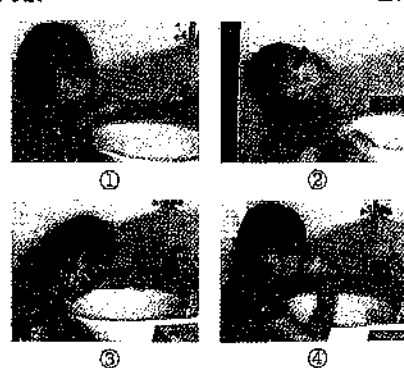
<小窩裂溝充填>
 充填材を小窩裂溝に流し込む際は、探針を使用して確実に誘導し、気泡が入らないように注意する。過剰に流し込むと、咬合によって破折する可能性があるため注意する。

(問題 76) 6歳の女児。う蝕予防を希望して母親と来院した。家庭内で就寝前にフッ化物洗口を実施するように指導した。洗口液準備から復習させたときの一連の動作写真(別冊午後 No.20)を別に示す。

改善すべき点はどれか。2つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.20 写真

選択肢考察 答え bd



×a ①は洗口直前に洗口液を準備しているところである。プラスチック容器であり、とくに改善すべき点はない。
 ○b ②はフッ化物洗口時である。洗口時は上を向かず下を向いたほうがよい。改善すべきである。

×c ③は洗口液を吐き出しているところである。洗口液はそのまま排水口に流してよい。とくに改善すべき点はない。

○d ④はフッ化物で洗口後にコップでうがいしている。フッ化物洗口後 30 分はうがいや飲食は避けた方がよい。改善すべきである。

ポイント

<フッ化物洗口の対象者>
 洗口可能な 4 歳以降に適用するが、特に 4~14 歳まで継続することが望ましい。その後も成人、高齢者まで広く用いられる。

(問題 77) フッ化ナトリウムによるフッ化物歯面塗布法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 4 歳以降に適用する。
- b う蝕の二次予防に用いる。
- c プロフェッショナルケアである。
- d フッ化物配合歯磨剤と併用できる。

選択肢考察 答え cd

×a フッ化物歯面塗布法は乳前歯が萌出する 1 歳頃から適応できる。
 ×b フッ化ナトリウムによるフッ化物歯面塗布法はう蝕の第一次予防に用いる。
 ○c フッ化物歯面塗布法は専門家が行うプロフェッショナルケアである。
 ○d フッ化物歯面塗布法はフッ化物配合歯磨剤と併用できる。

ポイント

<フッ化物の局所応用>
 プロフェッショナルケアとして行う局所応用
 ・フッ化物歯面塗布
 ・セルフケアに利用できる局所応用
 ・フッ化物洗口、フッ化物配合歯磨剤

(問題 78) 現病歴の聴取において閉ざされた質問はどれか。1つ選べ。

- a 「どのような痛みでしたか」
- b 「ものを噛んだ時に痛みを感じましたか」
- c 「痛みには喫煙が関係していると思いますか」
- d 「痛み止めでアレルギーが出たことはありますか」

選択肢考察 答え b

×a 開放型質問である。
 ○b 現病歴の聴取における閉ざされた質問である。
 ×c 患者の解釈モデルの聴取に適した質問である。
 ×d 既往歴の聴取における閉ざされた質問である。

ポイント

現病歴 ・患者の来院動機となった症状の病歴である。
 既往歴 ・出生から現在までの全体的健康状態の経過である。
 ・特異体質、出血性素因、全体的既往疾患などを聴取する。

(問題 79) ノーマライゼーションの目的はどれか。2つ選べ。

- a 障害者の自立
- b 身体機能の正常化
- c 経済的支援の推進
- d 社会的理解の促進

選択肢考察 答え ad

○a 障害者が自立し、一般市民と同様に地域社会での生活をともに送ることがノーマルであるという概念である。
 ×b ノーマライゼーションは身体機能の正常化が目的ではない。
 ×c 経済的支援の推進はノーマライゼーションに含まれない。
 ○d 社会のバリアフリー化に繋がるものであり、ノーマライゼーションにおいては重要である。

ポイント

<ノーマライゼーション>
 障害者の自立と社会参加を基本概念とする。すなわち、バリアフリー化の推進による障害者の不自由・参加制約の緩和である。

(問題 80) 口腔清掃の自立度判定基準(BDR 指標)のうち、歯磨き状況の判定項目はどれか。2つ選べ。

- a 認知度
- b 巧緻度
- c 習慣性
- d 効率性

選択肢考察 答え bc

×a、×d 自立度判定基準(BDR 指標)で歯磨き状況の判定項目では、認知度や効率性は判定しない。
 ○b、○c 自立度判定基準(BDR 指標)で歯磨き状況の判定項目では、巧緻度や習慣性を判定する。

ポイント

<歯磨き状況の判定項目>
 ・自発性
 ・習慣性
 ・有効性

(問題 81) Oral Health Impact Profile (OHIP) の領域はどれか。2つ選べ。

- a 活力
- b 不快感
- c 全体的健康感
- d ハンディキャップ

選択肢考察 答え bd

×a、×c 活力や全体的健康感 The MOS 36-Item Short-Form Health Survey(SF-36)の領域である。
 ○b、○d 不快感やハンディキャップは Oral Health Impact Profile (OHIP) の領域である。

ポイント

< OHIP の領域 >

「機能的な問題」、「痛み」、「不快感」、「身体的困りごと」、「心理的困りごと」、「社会的困りごと」、「ハンディキャップ」

< SF-36 の領域 >

「身体機能」、「日常役割機能」、「身体の痛み」、「全体的健康感」、「活力」、「社会生活機能」、「日常役割機能」、「心の健康」

(問題 82) 口腔内の清掃に用いる器具の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。

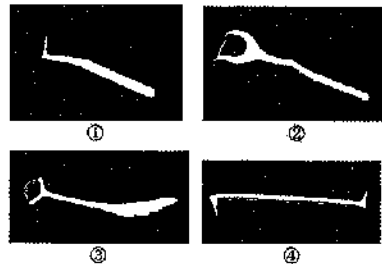
固定性ブリッジのポンティック基底面の清掃に適しているのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.21 写真

選択肢考察

答え a d



- a ①の歯間ブラシは患者が操作しやすく、ポンティック基底面の清掃も可能である。
×b ②のホルダー付きフロス(糸ようじ)はポンティック基底面の清掃に適していない。
×c ③の舌ブラシはポンティック基底面の清掃に適していない。
○d ④のタフトブラシは患者が操作しやすく、ポンティック基底面の清掃も可能である。

ポイント

< ポンティック基底面の清掃に使用する補助的清掃用具 >

- ・歯間ブラシ
・タフトブラシ
・デンタルフロス

(問題 83) 79歳の女性。ベッド上での生活が主で、60歳代より慢性関節リウマチを発症している。日常生活の介助は同居の長男が行っている。自分で車椅子に移乗し、排泄はベッドから離れて行うことが可能である。

「障害高齢者の日常生活自立度判定基準」のランクはどれか。1つ選べ。

- a A-2
b B-1
c B-2
d C-1

選択肢考察

答え b

- ×a A-2は何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出し、隣近所へなら外出する。

○b B-1は屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。

×c B-2は屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。介助により車いすに移乗する。

×d C-1は1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要し、自力で寝返りをうつ。

ポイント

< 障害高齢者の日常生活自立度判定基準 >

Table with 3 columns: 生活自立, 準寝たきり, 寝たきり and 4 rows: ランク J, A, B, C. Each row contains a description of the patient's condition and a list of activities.

(問題 84) 1歳6か月児健康診査の結果の一部を図に示す。

Table showing dental examination results for a 1-year-old child, including categories like 歯の状況 and 歯の腐れ.

問診で留意すべき項目はどれか。2つ選べ。

- a 間食時刻
b 歯の清掃
c よく飲むもの
d 哺乳ピンの使用

選択肢考察

答え c d

- ×a 間食時刻については記載されていない。
×b 歯の汚れは「ふつう」であり、特に留意すべき項目ではない。

○c、○d 1歳6か月ということ、上顎乳前歯部に「C」がみられることから哺乳ピンう蝕が考えられるため、哺乳ピンの使用とよく飲むものが炭酸飲料などではないかを問診時に留意すべきである。

ポイント

上顎乳前歯部にう蝕が多数みられる場合には哺乳ピンう蝕を疑う。

(問題 85) 3歳の男児。健康診査に来所した。う蝕罹患型の判定はO型である。安静時の顔面写真(別冊午後 No.22A)と咬合時の写真(別冊午後 No.22B)を別に示す。

優先すべき対応はどれか。2つ選べ。

- a 開咬の改善
b 口腔習癖の確認
c 正中離開の改善
d 呼吸器系疾患の確認

別冊 午後 No.22 写真

選択肢考察

答え b d



×a、×c 乳歯列期のため、開咬や正中離開の改善を優先する必要はない。

○b 口腔内写真から開咬がみられるため、吸指癖や舌突出癖がないかを確認する必要がある。

○d 写真から口唇閉鎖不全や口唇粘膜の角化がみられ口呼吸が疑われるため、呼吸器系疾患の確認をする必要がある。

ポイント

乳歯列期では発育空隙や霊長空隙がみられるのが一般的なため、矯正治療を優先する必要はない。

(問題 86) 筋緊張が強く、誤嚥性肺炎を繰り返している施設入居の脳性麻痺患者に対して口腔衛生管理を行うことになった。抗てんかん薬を幼少期から服用しているという。初診時の最大開口時の口腔内写真(別冊午後 No.23)を別に示す。

用意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 含嗽剤
b 吸引器
c 保湿剤
d 開口保持器

別冊 午後 No.23 写真

選択肢考察

答え b d



口腔内の汚れが目立つ

×a 口腔衛生管理として含嗽剤を使用することはあるが、誤嚥性肺炎を繰り返している脳性麻痺患者のため適切ではない。

○b 口腔衛生管理では水を使用することが多く、また唾液の誤嚥の可能性もあるため、誤嚥性肺炎を繰り返している脳性麻痺患者の口腔衛生管理では吸引器を用意すべきである。

×c 口腔内写真から口腔乾燥はみられないため、保湿剤を用意する必要はないと考えられる。

○d 脳性麻痺患者ではてんかん発作がみられることがあり、また口腔内写真から有歯顎のため、開口保持器を用意すべきである。

ポイント

誤嚥性肺炎を繰り返している患者の口腔衛生管理では、水(液体)を用いる口腔清掃は避け、吸引器を併用したり、吸引付き歯ブラシ・スポンジなどを利用したりしながら行うことが適切である。

(問題 87) 84歳の男性。市の訪問事業で保健師とともに訪問した。5年前に脳梗塞の既往があり、ADLは全介助である。家族から上下顎義歯が揺れるため、軟らかいものしか食べられないと相談された。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.24A)と義歯の写真(別冊午後 No.24B)を別に示す。

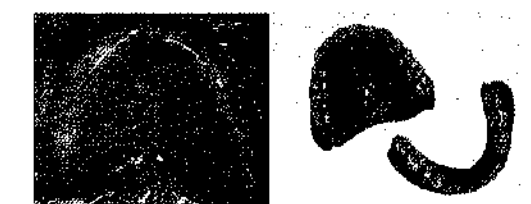
家族にまず指導するのはどれか。2つ選べ。

- a 義歯の清掃方法
b ペースト食への変更
c 経鼻経管栄養への変更
d 歯科医師への往診の依頼

別冊 午後 No.24A、B 写真

選択肢考察

答え a d



義歯の汚れによる義歯性口内炎

○a、○d 写真から口腔内や義歯に汚れが目立つため清掃指導を行う。歯科医師への往診も依頼すべきである。

×b、×c 軟らかいものしか食べられない理由は上下顎義歯の咬合が不均衡であり、まずは義歯調整を行うべきである。よって、現時点でペースト食への変更や経鼻経管栄養への変更を指導する必要はない。

ポイント

< 少量の水による口腔内の湿潤 >
高齢者の口腔内は乾燥していることが多いため、最初に少量の水で口腔内を湿潤させ、必要に応じて保湿剤を塗布する。

(問題 88) 喫煙関連歯周炎の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 発熱
b 乳頭歯肉の潰瘍
c 浮腫性の歯肉腫脹
d 歯肉上皮の角化亢進

選択肢考察

答え d

- × a 発熱は急性炎症で生じやすい。喫煙関連歯周炎の特徴とはいえない。
- × b 乳頭歯肉の潰瘍は壊死性歯周疾患で生じやすい。喫煙関連歯周炎の特徴とはいえない。
- × c 浮腫性の歯肉腫脹は通常の歯肉炎や歯周炎で生じやすいが、喫煙関連歯周炎患者では歯肉の浮腫は生じにくく、線維性の腫脹が生じやすい。
- d 喫煙関連歯周炎患者は歯肉上皮の角化が亢進しやすい。

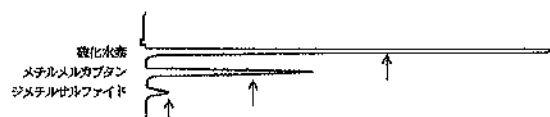
ポイント

<歯周組織に及ぼす喫煙の影響>

タバコの煙には様々な有害物質が含まれており、それらが歯周組織に作用することにより、歯肉血流量が低下して組織酸素分圧の低下などが生じたり、免疫担当細胞の機能が低下したりすることで、嫌気性菌の増加や創傷治癒の遅延などが起こるとされている。

喫煙習慣のある歯周炎患者では歯槽骨吸収やアタッチメントロスが大きくなりやすく、歯肉の線維性肥厚やメラニン色素の沈着なども生じやすい。

【問題 89】 27歳の男性。口臭を主訴として来院した。官能検査で強い口臭を認めるが、う蝕や歯周炎は認めない。初診時のガスクロマトグラフィー検査結果を図に示す。ただし矢印は各成分の嗅覚閾値を示す。



適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 口腔清掃指導
- b 内科への紹介
- c 唾液分泌量の評価
- d 精神科の受診勧奨

選択肢考察

答え a c

- a 官能検査で強い口臭を認め、ガスクロマトグラフィー検査では硫化水素やメチルメルカプタンが閾値を超えているため、他覚的症状のある口臭と判断できる。口臭の原因は口腔清掃状態が悪いことが考えられるため、口腔清掃指導を行うのが適切である。
- × b 全身由来の口臭とは考えにくい。
- c 口臭の原因は口腔内にあると考えられる。唾液分泌量の減少は自浄性の低下にもつながるため、唾液分泌量を評価するのも1つの方法である。
- × d 他覚的症状のある口臭のため、精神科の受診勧奨を行う必要はない。

ポイント

口臭を主訴とした患者が来院したときは、他覚的症状があるのかないのかを確認することが重要である。

【問題 90】 成人の栄養評価で有用性が高いのはどれか。2つ選べ。

- a 血糖値
- b 血小板数
- c 血清アルブミン
- d BMI (Body Mass Index)

選択肢考察

答え c d

- × a 血糖値はインスリンの指標であり、栄養状態の評価法として有用ではない。
- × b 血小板数は栄養状態の評価法として有用ではない。
- c 低栄養状態では血清アルブミン値の低下を伴うため、栄養状態の評価法として有用である。
- d BMI (Body Mass Index) 18.5未満を低体重と評価するため、栄養状態の評価法として有用である。

ポイント

<成人の栄養状態の評価法>

- ・身体計測
- ・食事摂取量調査
- ・生化学検査

【問題 91】 必須アミノ酸で含硫アミノ酸はどれか。1つ選べ。

- a リシン
- b メチオニン
- c トリプトファン
- d フェニルアラニン

選択肢考察

答え b

- × a リシンは必須アミノ酸で、塩基性アミノ酸である。
- b メチオニンは必須アミノ酸で、含硫アミノ酸である。
- × c トリプトファンは必須アミノ酸で、芳香族アミノ酸である。
- × d フェニルアラニンは必須アミノ酸で、芳香族アミノ酸である。

ポイント

<含硫アミノ酸>

- ・メチオニン
- ・システイン

【問題 92】 経鼻経管栄養と比較した胃瘻の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 侵襲が少ない。
- b 長期の使用に適している。
- c 半固形化栄養材を用いる。
- d 嚥下機能への悪影響が多い。

選択肢考察

答え b c

- × a 経鼻経管栄養と比較して胃瘻は侵襲が多い。
- b 経鼻経管栄養と比較して胃瘻は長期の使用に適している。
- c 胃瘻では半固形化栄養材を用いる。
- × d 経鼻経管栄養と比較して胃瘻は嚥下機能への悪影響がない。

ポイント

<胃瘻>

- ・カテーテルの先端を胃に留置する。
- ・カテーテルは必ず持続的に留置する。
- ・カテーテルの存在は苦痛ではなく、嚥下機能への悪影響や外観の問題もない。
- ・経管栄養を4~6週間以上行うときは、胃瘻が第1選択となる。
- ・内視鏡的に容易に胃瘻を造設できるが手術のため、大出血などの合併症を起こすこともある。

【問題 93】 NSTで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 診療科毎に組織する。
- b 栄養障害に伴う合併症を予防する。
- c 管理栄養士を指示体制の長とする。
- d 経口摂取から経管栄養への移行を目指す。

選択肢考察

答え b

- × a 診療科毎に組織する必要はない。
- b NSTは栄養障害に伴う合併症を予防する。
- × c 管理栄養士を指示体制の長とする必要はない。
- × d NSTは経管摂取から経口栄養への移行を目指す。

ポイント

<NST>

栄養障害の状態にある患者や栄養管理をしなければ栄養障害になることが見込まれる患者に対し、QOLの向上、原疾患の治癒促進および感染症などの合併症予防などを目的として、栄養管理を行う専門的知識を有した多職種からなるチームである。

【問題 94】 81歳の女性。感音性難聴である。

話しかける際の配慮で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 耳元で大きな声で話す。
- b 静かな場所で説明する。
- c 絶え間なく話し続ける。
- d 声のトーンを抑えて話す。

選択肢考察

答え b d

- × a 伝音性難聴の患者には耳元で大きな声で話す効果的であるが、感音性難聴の患者には効果はない。
- b 感音性難聴は騒音下での聴取が困難となるため、静かな場所で説明する。
- × c 感音性難聴は聴覚情報の中核処理が遅延するため、ゆっくり話すと効果的である。
- d 感音性難聴は声のトーンを抑えて話すと効果的である。

ポイント

外耳および中耳の機能低下による難聴を伝音性難聴といい、内耳から聴神経の機能低下による難聴を感音性難聴という。加齢変化による難聴は感音性難聴をさす。感音性難聴は、最小可聴閾値の上昇(高周波帯域から)や聴覚情報の中核処理の遅延、音源定位の悪化などが特徴で、一般に騒音下での聴取が困難となる。

【問題 95】 ある地域の母子歯科保健事業の評価に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 両親の職業
- b 事業の受診率
- c 歯科医療施設数
- d 次回へのフィードバック

選択肢考察

答え b d

- × a, × c 両親の職業や歯科医療施設数は関係がない。
- b 事業の受診率は地域の保健事業を評価するうえで重要である。
- d 地域の保健事業の評価では、次回へのフィードバックが重要である。

ポイント

<母子歯科保健事業の評価>

- ・効果測定
- ・企画、実施の検討
- ・次回へのフィードバック

【問題 96】 消毒薬の適応を表に示す。

	消毒の対象			
	金属製器具	非金属製器具	手指	粘膜
①	○	○	×	×
②	×	○	△	×
③	×	×	○	○
④	○	○	○	×

○:有効, ×:無効, △:注意が必要

グルタルアルデヒドはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え a

- a ①はグルタルアルデヒドである。
- × b ②は次亜塩素酸ナトリウムである。
- × c ③はポビドンヨードである。
- × d ④はクロルヘキシジングルコン酸塩あるいは消毒用エタノールである。

ポイント

<消毒薬の適応>

消毒薬	使用濃度	消毒の対象			
		金属製器具	非金属製器具	手指・皮膚	粘膜
グルタルアルデヒド	1~2%	○	○	×	×
次亜塩素酸ナトリウム	0.02~0.05%	×	○	△	×
消毒用エタノール	70%	○	○	○	×
ポビドンヨード	0.25~0.5%	×	×	○	○
ベンザルコニウム塩化物	1~2%	○	○	○	○
クロルヘキシジングルコン酸塩	0.05~0.5%	○	○	○	×

(問題 97) セメントスパチュラと練板の写真(別冊午後 No.25)を別に示す。

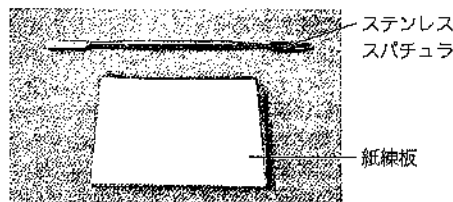
これらを用いて練和するのはどれか。1つ選べ。

- a リン酸亜鉛セメント
- b グラスアイオノマーセメント
- c 酸化亜鉛ユーージノールセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

別冊 午後 No.25 写真

選択肢考察

答え c



- × a リン酸亜鉛セメントはガラス練板とステンレススパチュラで練和する。
- × b グラスアイオノマーセメントは紙練板とプラスチックスパチュラで練和する。
- c 酸化亜鉛ユーージノールセメントは紙練板とステンレススパチュラで練和する。
- × d ポリカルボキシレートセメントは紙練板とプラスチックスパチュラで練和する。

ポイント

＜各種セメントにおける練板とスパチュラの組合せ＞

セメント	練板	スパチュラ
グラスアイオノマーセメント	紙	プラスチック
リン酸亜鉛セメント	ガラス	ステンレス
ポリカルボキシレートセメント	紙	プラスチック
酸化亜鉛ユーージノールセメント	紙	ステンレス
接着性レジンセメント	紙	プラスチック

(問題 98) 歯髄検査機器の写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

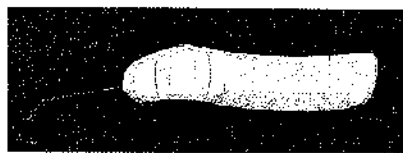
診査時に準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 冷水
- b ペースト材
- c ロールワッテ
- d テンポラリーストッピング

別冊 午後 No.26 写真

選択肢考察

答え b c



- × a 冷水を使用するのは温度診である。
- b ペースト材を歯面に塗布して、弱い電流を通電して歯髄に電氣的刺激を与える。誘発させた痛みによって、歯髄の生死を診査する。

- c ロールワッテで簡易防湿を行う。
- × d テンポラリーストッピングは温度診である。

ポイント

歯髄電気診で歯髄の生死を診断する。

(問題 99) 40歳の男性。支台築造中の口腔内写真(別冊午後 No.27A)とパーの写真(別冊午後 No.27B)を別に示す。

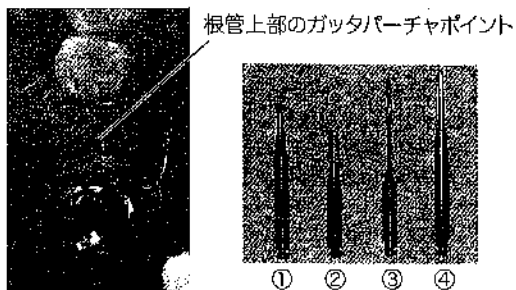
次に行う操作で使用するのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.27A,B 写真

選択肢考察

答え c



- × a ①はラウンドバーである。軟化象牙質を除去するのに用いる。
- × b ②はフィッシャーバーである。インレーの高洞形成に用いる。
- c ③はピーソーリーマーである。根管上部の根管充填材(ガッタパーチャポイント)を除去するのに用いる。
- × d ④は根管形成バーである。根管を漏斗状に形成するのに用いる。ピーソーリーマーの次に使用する。

ポイント

＜メタルコアの高洞形成を行うときに準備する器具＞
ラウンドバー、ピーソーリーマー、根管形成バーなど。

(問題 100) 器具の写真(別冊午後 No.28)を別に示す。

この器具の用途はどれか。1つ選べ。

- a 切開・排膿
- b 残根の抜去
- c 歯槽骨の削除
- d 不良肉芽組織の除去

別冊 午後 No.28 写真

選択肢考察

答え b



- × a 切開・排膿するためには、メス、ゾンデ(=消息子)などを用いる。

- b 写真はルートチップである。残根を抜去するために用いる。
- × c 歯槽骨を削除するには、マイセル、マレット、骨バーなどを用いる。
- × d 不良肉芽を除去するには、鋭匙、ペアンなどを用いる。

ポイント

＜口腔外科用器具とその用途＞

①メス	切開
②骨膜剥離子	骨膜剥離
③マイセル、マレット、骨バー	歯槽骨の削除
④鋭匙	不良肉芽の除去
⑤エレベーター	歯の脱臼、抜歯
⑥抜歯鉗子	抜歯
⑦スポンゼル、オキシセル	局所的止血
⑧縫合用器具一式	縫合
⑨ルートチップ	残根の抜去

(問題 101) 21歳の男性。矯正装置装着後の口腔内写真(別冊午後 No.29)を別に示す。

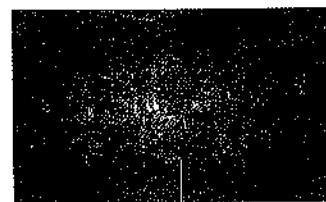
装着後の患者指導で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 軟らかい粘着性の食物を食べるように指導した。
- b リリーフワックスでの応急処置について指導した。
- c 運動時には外してケースに保管するように指導した。
- d 装着後1か月間の疼痛は生理的なものであると説明した。

別冊 午後 No.29 写真

選択肢考察

答え b



- × a ブラケットに付着するので、軟らかい粘着性の食物は控えてもらう。
- b マルチブラケット装置装着後には、ワイヤー、ブラケット、チューブなどで舌や頬粘膜を損傷することがある。そこで、リリーフワックスを予め患者に渡しておき、応急処置について指導しておく。
- × c マルチブラケット装置は固定式矯正装置なので、患者自身で着脱しない。
- × d 装着後1か月間も疼痛は続かない。長くて1週間程度である。

ポイント

＜マルチブラケット装置装着後の患者指導＞

- ①リリーフワックスを予め患者に渡しておき、応急処置について指導する。
- ②装着後1週間程度の疼痛はあり得ると説明する。
- ③ブラッシング指導を行う。

(問題 102) 正の強化による行動調整法はどれか。1つ選べ。

- a HOM法
- b TSD法
- c タイムアウト法
- d トークンエコノミー法

選択肢考察

答え d

- × a HOM (Hand Over Mouth) 法とは、号泣する小児の口を手で覆い、術者の言うことを守ったら手で口を覆うのを中止しながらコントロールする方法である。抑制法である。
- × b TSD (Tell Show Do) 法は系統的脱感作法で、恐怖を与えているものについて説明し、見せて、治療する方法である。
- × c タイムアウト法とは、問題行動を起こした場合に、その場から隔離し興奮した気を静める方法である。抑制法である。
- d トークンエコノミー法とは、うまくできた時にトークン(シールなどのご褒美)を与える方法で、正の強化による行動調整法である。

ポイント

＜小児の歯科的対応法＞

正の強化による行動調整法	トークンエコノミー法 シェイピング法
抑制法	タイムアウト法 レスポンスコスト法 HOM法

(問題 103) 自閉スペクトラム症のある患児への対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 絵カードを利用する。
- b 理解できるまで話す。
- c ゼスチャーで説明する。
- d ゆっくり大きな声で話す。

選択肢考察

答え a c

- a 絵を上手に描いたり、途方もない記憶力を示したりすることがある。絵カードを利用するのは有効である。
- × b 言葉を理解できない。
- c ゼスチャーで説明するのは有効である。
- × d ゆっくり大きな声で話しても、対話が成立しない。

ポイント

＜自閉スペクトラム症＞

- ①中枢神経系の微細な機能的・器質的な障害から起こる知覚や認知の障害、その発達の障害がみられる。
- ②顔貌、口腔内などは健常人と変わらない。
- ③自閉スペクトラム症の3徴
視線を合わせない、問いかけにおうむ返し、一定の行動様式(儀式化)。
- ④行動特徴
周囲からの極端な孤立、言語発達の遅れ(=対話が成立しない)、強迫的な同一行動の保持、ある物事への極端な興味。
- ⑤てんかん
脳波異常、けいれん、異常咬耗。

⑥対応のしかた

絵カード、写真などを利用する、ゼスチャーで説明する。

〔問題 104〕 23歳の女性。嘔吐反射が強い。下顎右側歯の口内法エックス線撮影を行うことになった。

準備するのはどれか。2つ選べ。

- a 万能開口器
- b 表面麻酔薬
- c ペアン鉗子
- d 滅菌ガーゼ

選択肢考察

答え bc

- × a 万能開口器を装着した状態でエックス線撮影を行うことはない。
- b 表面麻酔をして嘔吐反射を防止する。
- c ペアン鉗子のハンドル部がフィルム面と垂直になるように保持する。開口障害患者や嘔吐反射が強い場合に用いると有効である。
- × d 滅菌ガーゼは抜歯後に噛ませて、止血させるために用いる。

ポイント

＜嘔吐反射の強い患者のデンタルエックス線撮影＞
表面麻酔薬の使用、ペアン鉗子の応用、撮影補助器具の使用。

〔問題 105〕 体表から脈拍を触れるのはどれか。2つ選べ。

- a 顎動脈
- b 総頸動脈
- c 橈骨動脈
- d 内頸動脈

選択肢考察

答え bc

- × a 顎動脈は心臓から口腔へ向かう動脈経路である外頸動脈の分岐の1つである。
- b 総頸動脈は心臓から脳および口腔へ向かう動脈経路で、脈拍の測定ができる。
- c 脈拍の測定は通常、橈骨動脈で行う。
- × d 内頸動脈は心臓から脳へ向かう動脈経路である。

ポイント

＜脈拍の測定＞
・脈拍の測定は通常、橈骨動脈で行う。
・脈拍の測定は足背動脈、上腕動脈、総頸動脈でも行える。

〔問題 106〕 嚥下時の運動と収縮がその運動に関わる筋の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 喉頭挙上 ————— 甲状舌骨筋
- b 舌骨挙上 ————— 輪状咽頭筋
- c 鼻咽腔閉鎖 ————— 上咽頭収縮筋
- d 食道入口部開大 ———— 顎舌骨筋

選択肢考察

答え ac

- a 喉頭挙上では喉頭最大の軟骨である甲状軟骨が喉頭蓋とともに上に引き上げられるが、甲状舌骨筋は喉頭挙上では甲状軟骨を舌骨に引き付ける最も重要

な筋として関わる。

- × b 舌骨挙上には舌骨上筋群（顎二腹筋、莖突舌骨筋、顎舌骨筋、オトガイ舌骨筋）が関わる。
- c 鼻咽腔閉鎖には口蓋帆挙筋と上咽頭収縮筋が関わる。
- × d 食道入口部開大には輪状咽頭筋が関わる。

ポイント

＜嚥下反射＞
・舌がもち上がるにより口腔と咽頭の通路が閉じ、食塊が中咽頭に追いやられる。
→ 舌根部は下前方に移動し、その結果、中咽頭以下の咽頭腔は開大する。
・口蓋帆挙筋や上咽頭収縮筋は、鼻腔と口腔・咽頭間の遮断にはたらく。
→ 軟口蓋が咽頭に向けて押し付けられ、口腔・咽頭と鼻腔との交通が断たれる。
・喉頭が前上方に移動して喉頭蓋は反転し、喉頭の入り口を塞ぐ。
→ この時、喉頭最大の軟骨である甲状軟骨は、喉頭蓋とともに上に引き上げられる（喉頭挙上）。
→ 甲状舌骨筋は喉頭挙上では甲状軟骨を舌骨に引き付ける最も重要な筋としてはたらく。
・咽頭と食道との境（食道入口部）にある輪状咽頭筋がはたらく。
・上咽頭収縮筋、中咽頭収縮筋、下咽頭収縮筋がはたらく、食塊を食道へ送る。

〔問題 107〕 76歳の女性。経口摂取再開を希望する家族から入居施設への歯科訪問診療の依頼があった。脳梗塞の既往があり、ADLはリクライニング車椅子で1～2時間程度は座位保持可能である。摂食嚥下リハビリテーションにおいて直接訓練を行うこととした。

訓練開始前の対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a RSST
- b 咳テスト
- c 咬合力検査
- d 発話機能検査

選択肢考察

答え ab

- a RSST（反復唾液嚥下テスト）は随意的な嚥下反射惹起を定量的に評価する摂食嚥下障害のスクリーニング検査であり、直接訓練開始前に行う。
- b 咳テストはムセのない誤嚥（不顕性誤嚥）を評価する摂食嚥下障害のスクリーニング検査であり、直接訓練開始前に行う。
- × c 患者は脳梗塞発症後のため咬合力検査が必要と考えられるが、摂食嚥下リハビリテーションの直接訓練開始前に行う必要はない。
- × d 患者は脳梗塞発症後のため発話機能検査が必要と考えられるが、摂食嚥下リハビリテーションの直接訓練開始前に行う必要はない。

ポイント

摂食嚥下リハビリテーションでは直接訓練開始前に摂食嚥下障害に対するスクリーニング検査を行っておく必要がある。

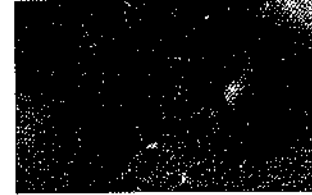
〔問題 108〕 82歳の女性。3年前に脳梗塞を起こし、後遺症として軽い左片麻痺がある。食事は楽しみにしており自分で食べるが、一口量が多く、食事中にむせることがよくある。ある検査を行ったところ基準値よりも低値を示した。検査中の写真（別冊午後 No.30）を別に示す。適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 脱感作療法を行う。
- b 舌可動域訓練を行う。
- c 食形態はきざみ食とする。
- d スプーンは小さいものを用いる。

別冊 午後 No.30 写真

選択肢考察

答え d



舌圧測定

- × a 脱感作訓練は口腔周囲に対する刺激不足や感覚運動の体験不足による顎顔面領域の触刺激に対する過敏を除去する訓練である。
- × b 舌可動域訓練は拘縮を予防してスムーズに嚥下動作できるように保つ訓練である。
- × c むせており誤嚥が疑われるため、食形態はとろみ食とするべきである。
- d 一口量が多く、むせているため、スプーンは小さいものを用いて誤嚥を予防する。

ポイント

きざみ食は口の中に運びにくい、食塊をつくりにくい、こぼれやすい、咽頭に残りやすい。

〔問題 109〕 嚥下障害の間接訓練で食道入口部の開大を促すのはどれか。2つ選べ。

- a 裏声発声法
- b フローイング
- c バルーン拡張法
- d チューブ嚥下訓練

選択肢考察

答え ac

- a 裏声発声法は喉頭挙上量を増加させることで、嚥下時に食道入口部の開大を促す。
- × b フローイングは吹く動作（口腔気流）により鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖に関わる神経・筋群の機能を改善させる。
- c バルーン拡張法はバルーンを用いて、おもに食道入口部（輪状咽頭筋部）を繰り返し拡張する。
- × d チューブ嚥下訓練は繰り返しチューブ（カテーテル）を嚥下することにより、嚥下反射の惹起性を改善させ、喉頭挙上運動の速度および距離（変位量）を改善させる。

ポイント

＜裏声発声法＞
ファルセットで高い声を出すことで喉頭を挙上する。

→喉頭挙上量を増加させることで、嚥下時に食道入口部の開大を促す。
→咽頭部残留を改善できる。

〔問題 110〕 認知期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練はどれか。2つ選べ。

- a 交互嚥下
- b 嚥下の意識化
- c 味覚刺激嚥下
- d ペーシング訓練

選択肢考察

答え cd

- × a 交互嚥下は咽頭期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。
- × b 嚥下の意識化は口腔期や咽頭期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。
- c 味覚刺激嚥下は認知期や準備期、口腔期、咽頭期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。
- d ペーシング訓練は認知期や準備期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練である。

ポイント

＜認知期に障害がある摂食・嚥下障害患者に行う直接訓練＞
・一口量の調整
・ペーシング訓練
・捕食訓練
・味覚刺激嚥下